

平成24年度
教育に関する事務の管理及び執行
の状況の点検並びに評価結果報告書
(平成23年度対象)

平成24年8月

高石市教育委員会

目 次

1 . 点検・評価の概要	2
2 . 点検・評価の手法	2
3 . 教育委員会委員	4
4 . 教育委員会会議状況	4
5 . その他教育委員の活動について	7
6 . 教育委員会事務局の組織	8
7 . 事務局事務分掌	8
8 . 決算額の推移	1 2
9 . 平成 23 年度点検評価シート	
点検評価一覧表	1 3
健康教育（中学校給食実施に向けて）	1 4
小学校の空調設備の整備	1 5
幼稚園の再編及び耐震化（耐震二次診断総合判定の実施）	1 6
確かな学力の定着と向上	1 7
人権教育・道徳教育の充実と推進	1 8
教職員の資質と指導力の向上	1 9
健康・安全教育の推進	2 0
支援教育の充実	2 1
生徒指導の充実	2 2
信頼される学校づくり（学校・家庭・地域の連携協力の向上）	2 3
就学前教育の取組推進と充実	2 4
中学校区を単位とする連携教育の推進	2 5
青少年の健全育成	2 6
生涯学習の推進	2 7
生涯スポーツの振興	2 8
文化財の保護と市民の郷土愛の高揚	2 9
読書活動の推進	3 0
文化・芸術の振興	3 1
高石市教育委員会における教育に関する事務の管理 及び執行の状況の点検並びに評価委員	3 2
【委員からのご意見】	3 3
【教育委員会としての総括】	3 3
資料目次	3 4

1 . 点検・評価の概要

【経緯】

平成 18 年 12 月に教育基本法の改正が行われ、更に平成 19 年 3 月に出された中央教育審議会答申などを踏まえて「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(以下「地教行法」という。)が改正されました。(平成 20 年 4 月施行。)

この改正の趣旨は、「教育委員会の責任体制の明確化」とされており、その一つとして、同法第 27 条の規定により、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検並びに評価(以下「点検・評価」という。)を行うこととされました。

これを受け、高石市教育委員会としても教育行政の点検・評価を行うこととするものです。

【目的】

教育委員会は、市長から独立した立場から教育に関する事務を担当する機関として、地方自治体に設置されているものであり、複数の教育委員による合議により意思決定を行い、事務職員等により構成される教育委員会事務局に対し、指揮監督を行っているものです。

今般行おうとしている点検・評価は、地教行法第 27 条に基づき、教育委員会が事務の管理及び執行の状況を自らチェックし、併せて学識経験者等による意見も聴取するものです。

そして、その結果を公表することにより、市民への説明責任を果たすと共に、点検・評価の結果を受け、必要に応じ事務事業の見直しに反映するなど、効果的な教育行政の推進に資するものです。

2 . 点検・評価の手法

【対象事業】

今回の点検評価の対象は、地教行法で教育委員会の職務権限とされている事務のうち、平成 23 年度に実施されたものとします。

また、評価の単位は、主に本市教育委員会が策定した平成 23 年度の教育基本方針に掲げた施策体系を基に、教育委員会事務局各担当課の主要な施策・事業を抽出整理したものとします。

平成 23 年度教育基本方針施策体系

学 校 教 育

- 1 . 適正な学校経営の確立について
- 2 . 教職員の服務規律について
- 3 . 教職員の資質の向上について
- 4 . 人権尊重の教育について
- 5 . 支援を必要とする幼児・児童・生徒の教育の充実について
- 6 . 学習指導について
- 7 . 道徳教育について
- 8 . 安全教育について
- 9 . 生徒指導について
- 10 . 進路指導の充実について

11. 健康教育について
12. 幼稚園教育について

社 会 教 育

1. 生涯学習の推進について
2. 青少年の健全育成について
3. 文化・芸術の振興について
4. 読書活動の推進について
5. 社会教育施設の連携について
6. 人権啓発の推進について
7. 文化財の保護について
8. 高石市ふるさと村の活用について
9. スポーツの普及振興について

【実施方法】

施策ごとに目標の設定を行い、目標に対する主な取組、実績、それによる効果及び課題について整理したうえで、施策の達成度を各担当課において自己評価するとともに、学識経験者等の意見（評価）も踏まえながら、今後の教育行政に生かすために総括を行うこととします。

点検・評価の年次

前年度（平成23年度）の事務の管理及び執行状況についての点検・評価

点検・評価の単位

施策単位に評価

点検・評価の分類

主に教育基本方針に掲げた施策体系を基に、教育委員会事務局各担当課の懸案事項など主要な施策・事業を抽出整理し、点検評価シートを作成する。

点検・評価の観点

- ・個々の取り組みや事業全体の実施状況及び進捗状況はどうか
- ・施策目標に対する実績及び成果、効率性はどうか
- ・今後の課題や改善策について検討しているか

なお、目標に対する達成度（自己評価）については、以下の通りの基準で行う。

- A（達成）：事業の内容が評価年度に予定していた計画どおり実行されている。
- B（ほぼ達成）：事業の内容が評価年度に予定していた計画どおりほぼ実行されている。
- C（達成に向け進捗）：事業の内容が評価年度に予定していた計画どおり実行できていないが、方向性を確認したうえで達成にむけて進んでいる。
- D（未達成）：事業の内容が評価年度に予定していた計画どおり実行されていない。

3. 教育委員会委員

役 職	氏 名		任 期
委員長	宇田川 誠一	うだがわ せいいち	H26.10.1 まで
委員長職務代理者	西中 隆	にしなか たかし	H27.6.17 まで
委員	原田 文壽	はらだ ふみとし	H28.3.5 まで
委員	西村 陽子	にしむら ようこ	H24.9.30 まで
教育長	佐野 慶子	さの けいこ	H24.9.30 まで

4. 教育委員会会議状況

区分	開催日	議決内容
4月定例会	4月13日	承認 6件 報告 職員の人事異動について 平成23年度全国学力・学習状況調査実施の延期について 高石市社会教育委員の委嘱について 高石市公民館運営審議会委員の委嘱について 教育委員会の後援等に関する報告について 教育委員会関係諸行事等の報告について
5月定例会	5月11日	原案可決 2件 承認 3件 議案 平成24年度大阪府学力・学習状況調査への参加について 高石市文化・スポーツ・国際交流振興基金運営委員会委員の委嘱について 報告 職員の人事異動について 教育委員会の後援等に関する報告について 教育委員会関係諸行事等の報告について
5月臨時会	5月30日	承認 1件 報告 高石市立中学校給食の導入について
6月定例会	6月6日	原案可決 1件 承認 6件 議案 平成23年度高石市学校評議員の委嘱について 報告 市長からの意見聴取について 高石市立幼稚園再編等検討委員会設置要綱の制定について 平成24年度使用教科用図書採択に係る選定委員会委員の任命等について 高石市社会教育委員の委嘱について 学校教育施設等耐震化の状況について 教育委員会の後援等に関する報告について 教育委員会関係諸行事等の報告について

7月定例会	7月13日	<p>原案可決 1件 承認 4件</p> <p>議案 高石市就学援助費支給規則の一部を改正する規則について</p> <p>報告 高石市立幼稚園再編等検討委員会委員の委嘱について 教育基本法・学習指導要領の目標を達成するため、最も適した教科書の採択を求める決議について 教育委員会の後援等に関する報告について 教育委員会関係諸行事等の報告について</p>
8月定例会	8月10日	<p>原案可決 5件 承認 2件</p> <p>議案 平成24年度使用高石市立公立小・中学校教科用図書採択について 高石市立幼稚園再編等について 郷土史研究委員の委嘱について スポーツ基本法の施行に伴う関係規則の整理に関する規則について</p> <p>報告 教育委員会の後援等に関する報告について 教育委員会関係諸行事等の報告について</p>
8月臨時会	8月24日	<p>承認 1件</p> <p>報告 平成23年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検並びに評価結果報告書（平成22年度対象）について</p>
9月定例会	9月7日	<p>選挙 1件 原案可決 1件 承認 5件</p> <p>選挙 高石市教育委員会委員長の選挙について</p> <p>議案 高石市公民館運営審議会委員の委嘱について</p> <p>報告 高石市立幼稚園条例施行規則の一部を改正する規則について 市長からの意見聴取について（第3回臨時会） 市長からの意見聴取について（第3回定例会） 教育委員会の後援等に関する報告について 教育委員会関係諸行事等の報告について</p>
10月定例会	10月6日	<p>原案可決 3件 承認 3件</p> <p>議案 高石市教育委員会表彰について 高石市立幼稚園条例施行規則の一部を改正する規則について 平成23年度大阪府学力・学習状況調査結果公表について</p> <p>報告 平成23年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検並びに評価結果報告書の修正について 教育委員会の後援等に関する報告について 教育委員会関係諸行事等の報告について</p>
11月定例会	11月10日	<p>原案可決 3件 承認 2件</p> <p>議案 高石市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について 高石市立体育館の管理方法の変更について たかいし市民文化会館市民文化ホール及び生涯学習センター指定管理者の指定について</p> <p>報告 教育委員会の後援等に関する報告について 教育委員会関係諸行事等の報告について</p>

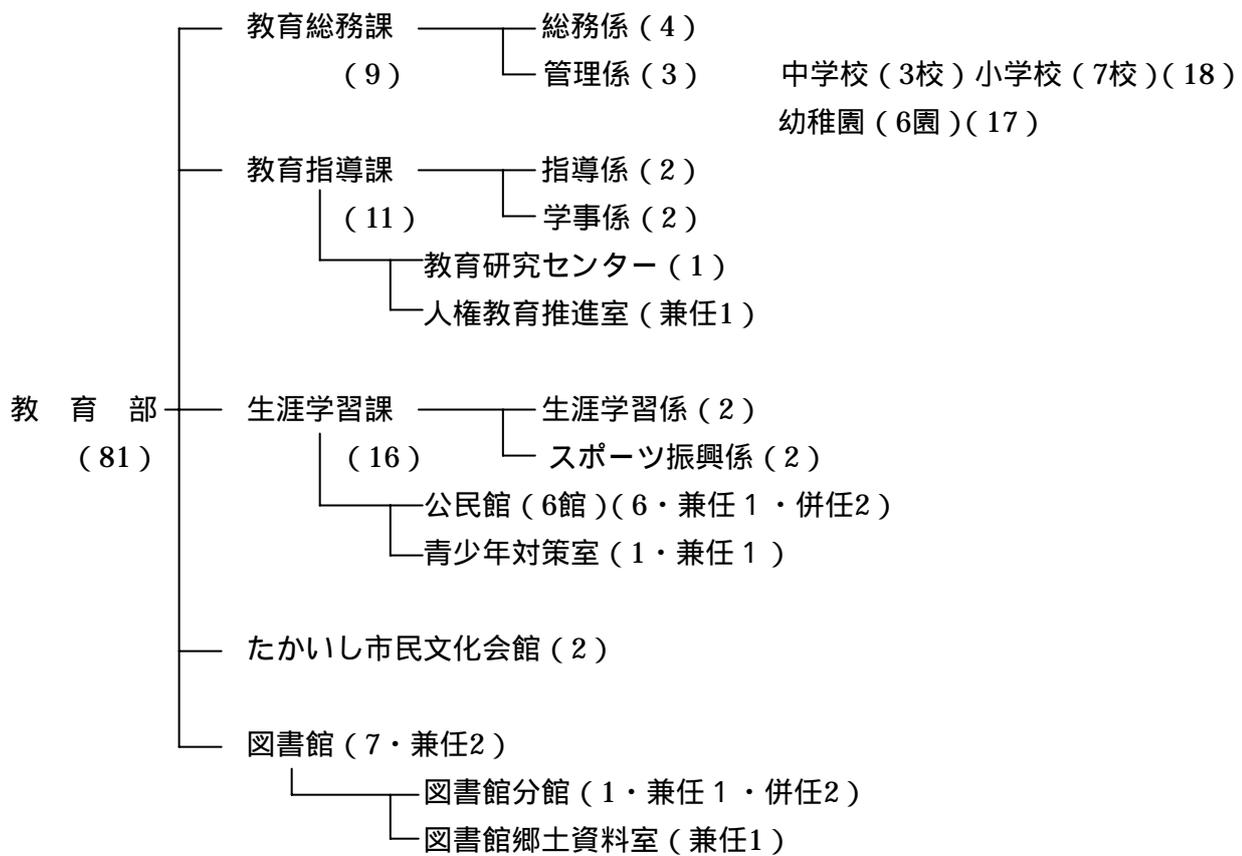
12月定例会	12月14日	<p>原案可決 1件 承認 3件</p> <p>議案 平成24年度高石市立小中学校教職員人事基本方針及び取扱い上の留意事項の策定について</p> <p>報告 市長からの意見聴取について 教育委員会の後援等に関する報告について 教育委員会関係諸行事等の報告について</p>
1月定例会	1月11日	<p>原案可決 1件 承認 2件</p> <p>議案 平成24年度教育費予算の要求について</p> <p>報告 教育委員会の後援等に関する報告について 教育委員会関係諸行事等の報告について</p>
2月定例会	2月8日	<p>原案可決 1件 承認 3件</p> <p>議案 公民館運営審議会の委員の委嘱の基準を条例に定める件について</p> <p>報告 小学校給食費の改定について 教育委員会の後援等に関する報告について 教育委員会関係諸行事等の報告について</p>
3月定例会	3月14日	<p>原案可決 9件 承認 3件</p> <p>議案 平成24年度教育基本方針について 平成23年度末及び平成24年度当初の教育委員会事務局職員及び委員会の所管に係る学校その他の教育機関の職員の人事異動について 高石市教育委員会公印規則の一部改正について 平成24年度大阪府学力・学習状況調査への参加について 高石市立体育館条例施行規則の一部改正について 高石市教育委員会スポーツ施設情報システム利用に関する規則の一部改正について 高石市教育委員会事務局事務専決規程及び高石市教育委員会事務局処務規程の一部改正について 高石市スポーツ推進委員の委嘱について たかいし市民文化会館市民文化ホール及び生涯学習センター利用料金について</p> <p>報告 市長からの意見聴取について 教育委員会の後援等に関する報告について 教育委員会関係諸行事等の報告について</p>
3月臨時会	3月28日	<p>原案可決 1件</p> <p>議案 平成24年度大阪府学力・学習状況調査への参加・不参加について</p>

5. その他教育委員の活動について

月 日	場 所	行 事 名
4月5日	アウィーナ大阪	平成23年度市町村教育委員会委員長・教育長会議
4月6日	市立小学校	平成23年度入学式
4月7日	市立中学校	平成23年度入学式
4月8日	市立幼稚園	平成23年度入園式
4月21日	アウィーナ大阪	大阪府都市教育長協議会 平成23年度総会・4月定例会・送別会及び懇談会
4月27～28日	ホテルサンルート関空	平成23年度近畿都市教育長協議会定期総会
5月17日	アウィーナ大阪	大阪府都市教育委員会連絡協議会第3回役員会
5月23日	アウィーナ大阪	大阪府都市教育委員会連絡協議会定期総会
5月26～27日	じゅうろくプラザ他	第63回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究会大会
5月29日	各小学校（羽衣小除く）	運動会
6月2日	加茂小・羽衣小 羽衣幼	転任校園長・新任教頭 学校園訪問
6月10日	中学校	体育大会
6月6日～13日	各幼稚園	第1回教育課程に係る幼稚園訪問（ヒアリング）
6月15日 ～6月28日	各小中学校	第1回教育課程に係る学校訪問（ヒアリング）
7月1日	アウィーナ大阪	大阪府都市教育長協議会7月定例会
7月22日	アウィーナ大阪	大阪府都市教育長協議会夏季研修会
7月29日	KKRホテル大阪	中学校給食に関する府教育委員と市町村教育委員の意見 交換会
8月25日	アウィーナ大阪	平成23年度大阪府都市教育長協議会夏季研修会 （第2日目）定例会及び教育長OB懇談会
10月7日	アウィーナ大阪	大阪府都市教育長協議会10月定例会
10月12日	岸和田市立浪切ホール	平成23年度近畿市町村教育委員研修会シンポジウム
10月20日 ～21日	千里阪急ホテル	平成23年度近畿都市教育長協議会研修協議会
11月7日	アウィーナ大阪	平成23年度大阪府市町村教育委員研修会
11月10日	取石小・北幼	学校園訪問
11月15日	高石小	学校訪問
1月13日	アウィーナ大阪	大阪府都市教育長協議会 1月定例会
1月25日	津波・高波ステーション	平成23年度大阪府都市教育委員会委員長研修会
2月7日	ホテルレイクアルスター アルザ泉大津	平成23年度大阪府都市教育委員会連絡協議会 泉北・泉南ブロック都市教育委員研修会

6 . 教育委員会事務局の組織

()内は、平成23年5月1日現在の職員数。なお、部長・課長等を部・課レベルに含むため、各々の計が一致しない部分がある。また、再任用(9)・再雇用(2)職員を含む。



7 . 事務局事務分掌

教育部

教育総務課

総務係

- (1) 教育委員会の会議に関すること。
- (2) 教育委員会の規則の制定及び改廃の事務に関すること。
- (3) 公印の保管に関すること。
- (4) 文書及び物品の收受並びに発送に関すること。
- (5) 情報公開の総合調整に関すること。
- (6) 証書及び公文書の保管に関すること。
- (7) 表彰に関すること。
- (8) 教育行政に係る広報及び公聴に関すること。
- (9) 人事(府費負担職員を除く。)に関すること。
- (10) 幼稚園児の募集及び入退園に関すること。
- (11) 就園奨励事業に関すること。
- (12) 学校給食に関すること。
- (13) 部及び課の庶務に関すること。

管理係

- (1) 学校施設の整備計画及び事業の推進に関すること。
- (2) 学校の設置及び廃止に関すること。
- (3) 学校施設の管理に関すること。

教育指導課

指導係

- (1) 学校教育の企画に関すること。
- (2) 学校教育計画(教育課程、組織及び編成)の指導に関すること。
- (3) 学校教育における研究会、研修会等に関すること。
- (4) 特別支援教育に関すること。
- (5) 学校行事に関すること。
- (6) 教科用図書及び教材の採択並びに取扱いの指導に関すること。
- (7) 教職員の指導及び研修に関すること。
- (8) 生徒指導に関すること。
- (9) 進路指導に関すること。
- (10) 安全教育に関すること。
- (11) 教育相談に関すること。
- (12) 高石市立教育研究センターに関すること。
- (13) 学校教育についての専門事項に関すること。
- (14) 課の庶務に関すること。

学事係

- (1) 学籍及び就学に関する事。
- (2) 通学区域の設定及び変更に関する事。
- (3) 学校の統計及び調査に関する事。
- (4) 就学援助及び扶助に関する事。
- (5) 教科用図書等の給与事務に関する事。
- (6) 学級編成に関する事。
- (7) 人事(市費負担職員を除く。)に関する事。
- (8) 奨学金の貸付に関する事。
- (9) 学校保健に関する事。
- (10) 学校園災害共済給付に関する事。
- (11) 学校医の委嘱及び連絡調整に関する事。

人権教育推進室

- (1) 同和問題をはじめとする学校の人権教育(以下この項において「人権教育」という。)における総合企画調整及び推進に関する事。
- (2) 人権教育における指導及び研修に関する事。
- (3) 人権教育における関係機関との連絡調整に関する事。
- (4) その他人権教育における専門事項に関する事。

教育研究センター

- (1) 教育に関する専門的事項の調査研究
- (2) 教育関係職員の研修
- (3) 教育に関する資料の収集及び作成
- (4) 教育相談
- (5) その他教育委員会が必要と認める事項

生涯学習課

生涯学習係

- (1) 社会教育委員等に関する事。
- (2) 生涯学習の企画、立案及び推進に関する事。
- (3) 社会教育における同和問題をはじめとする人権教育に関する事。
- (4) 社会教育関係団体の事務及び指導助言に関する事。
- (5) 社会教育関係事業に関する事。
- (6) 社会教育施設の建設計画等に関する事。
- (7) 社会教育施設の設置及び廃止に関する事。
- (8) 郷土史研究及び市史に関する事。
- (9) 文化財の発掘、保存等に関する事。
- (10) 課の庶務に関する事。

スポーツ振興係

- (1) スポーツ振興のための各種教室及び事業に関する事。
- (2) 体育指導委員等に関する事。

- (3) スポーツ振興関係団体の事務及び指導助言に関する事。
- (4) 体育相談事業に関する事。
- (5) 社会体育施設の建設計画等に関する事。
- (6) 社会体育施設の設置及び廃止に関する事。
- (7) 高石市立体育館に関する事。

青少年対策室

- (1) 青少年指導員等に関する事。
- (2) あおぞら児童会の管理運営に関する事。
- (3) 子ども元気広場推進事業に関する事。
- (4) 青少年関係団体に関する事。
- (5) 青少年健全育成に関する事。
- (6) その他青少年対策に関する事。

たかいし市民文化会館

- (1) 文化会館の総合管理に関する事。
- (2) 市民文化ホール及び生涯学習センターに関する事。
- (3) 生涯学習施設・機関の情報収集及び提供等に関する事。
- (4) 生涯学習ネットワークに関する事。
- (5) 文化及び芸術の振興に関する事。
- (6) 文化会館の市長の所管に属する施設との連絡調整に関する事。
- (7) アブラたかいし管理協議会との連絡調整に関する事。

図書館

- (1) 図書館の図書、記録その他資料の収集、整理及び保存
- (2) 個人貸出し及び団体貸出し
- (3) 読書案内、読書相談及び参考調査
- (4) 読書会、研究会、講演会、鑑賞会、資料展示会等の主催及び奨励
- (5) 読書団体との連絡、協力及び団体活動の促進
- (6) 他の図書館、学校、公民館等との連絡及び協力
- (7) 郷土資料の収集、保管、展示等
- (8) その他図書館の目的達成のための必要な事業

8 . 決算額の推移 (平成 21 年度 ~ 平成 23 年度)

(単位:円)

款	項	目	21 年度	22 年度	前年度比較	23 年度	前年度比較
10		教育費	2,981,394,543	5,350,653,869	2,369,259,326	1,796,662,919	3,553,990,950
	1	教育総務費	353,527,116	311,091,392	42,435,724	318,416,983	7,325,591
		1 教育委員会費	10,182,557	10,471,074	288,517	10,419,956	51,118
		2 事務局費	247,072,645	209,598,590	37,474,055	197,929,393	11,669,197
		3 教育指導費	92,168,065	87,921,648	4,246,417	102,831,533	14,909,885
		4 教育研究センター費	4,103,849	3,100,080	1,003,769	7,236,101	4,136,021
	2	小学校費	1,221,778,032	2,858,789,067	1,637,011,035	589,211,154	2,269,577,913
		1 学校管理費	975,502,972	2,804,125,173	1,828,622,201	534,767,049	2,268,358,124
		2 教育振興費	246,275,060	54,663,894	191,611,166	54,444,105	219,789
	3	中学校費	527,076,693	1,242,002,942	714,926,249	126,184,817	1,115,818,125
		1 学校管理費	432,089,513	1,214,235,911	782,146,398	95,867,228	1,118,368,683
		2 教育振興費	94,987,180	27,767,031	67,220,149	30,317,589	2,550,558
	4	幼稚園費	264,714,552	354,788,836	90,074,284	229,293,697	125,495,139
		1 学校管理費	217,995,691	305,376,742	87,381,051	172,909,258	132,467,484
		2 教育振興費	46,718,861	49,412,094	2,693,233	56,384,439	6,972,345
	5	社会教育費	485,483,221	492,492,347	7,009,126	450,849,990	41,642,357
		1 社会教育総務費	138,813,343	159,006,148	20,192,805	143,018,905	15,987,243
		2 公民館費	93,766,446	82,477,148	11,289,298	66,089,422	16,387,726
		3 遺跡事業費	4,154,824	3,202,226	952,598	5,387,496	2,185,270
		4 図書館費	109,185,612	115,188,738	6,003,126	105,779,203	9,409,535
		婦人文化センター費	9,601,583	2,439,020	7,162,563	0	2,439,020
		5 ふるさと村費	9,193,393	9,265,626	72,233	9,019,929	245,697
		6 市民文化会館費	120,768,020	120,913,441	145,421	121,555,035	641,594
	6	保健体育費	128,814,929	91,489,285	37,325,644	82,706,278	8,783,007
		1 保健体育総務費	39,515,550	22,763,419	16,752,131	23,196,443	433,024
		2 社会体育施設費	89,299,379	68,725,866	20,573,513	59,509,835	9,216,031

9 . 平成 23 年度点検評価シート

点 検 ・ 評 価 一 覧 表		
課 名	項 目	達 成 度
教育総務課	健康教育（中学校給食実施に向けて）	A
	小学校の空調設備の整備	A
	幼稚園の再編及び耐震化 （耐震二次診断総合判定の実施）	B
教育指導課	確かな学力の定着と向上	B
	人権教育・道徳教育の充実	A
	教職員の資質と指導力の向上	B
	健康・安全教育の推進	B
	支援教育の充実	A
	生徒指導の充実	B
	信頼される学校づくり （学校・家庭・地域の連携協力の向上）	B
	就学前教育の取組推進と充実	A
	中学校区を単位とする連携教育の推進	A
生涯学習課	青少年の健全育成	B
	生涯学習の推進	B
	生涯スポーツの普及振興	B
	文化財の保護と市民の郷土愛の高揚	B
図 書 館	読書活動の推進	B
たかいし市民文化会館	文化・芸術の振興	B

項 目	健康教育（中学校給食実施に向けて）
-----	-------------------

担当課	教育総務課
-----	-------

【目標】

生徒の健全な発達及び食に関する正しい理解と適切な判断力を養い、健康の保持増進を図り、正しい食の知識や食習慣を身に付け食育を推進することにより、豊かな人間性を育むため、平成24年度2学期から高南中学校を皮切りに全ての中学校に自校単独方式による中学校給食を順次導入する。これに向けて給食実施に必要となる給食調理場を整備するための実施設計を行い、年度中の着工を目指す。

【主な取組み及び実績】

- ・平成23年3月から5月にかけて中学校長からの意見聴取及び他市への現地調査を行い、中学校給食の実施を検討し、情報収集を行った。
- ・平成23年6月には高石市立中学校給食導入検討専門員設置要領に基づき、高石市立中学校給食導入検討専門員を設置し、中学校給食導入に係る課題等に対し専門的立場から助言等を受け、中学校給食導入について検討を進めた。
- ・中学校給食の導入にあたり、生徒・児童及び保護者の方々に対して「よりよい中学校給食実施のためのアンケート」を実施し、結果を市ホームページに公表した。（資料P.35～40）

【取組みの効果】

- ・中学校給食導入について検討を進めた結果、給食の方式については、小学校と同様に生徒等全員が喫食する完全給食とし、また適温での給食提供が可能となること、学校の行事等に合わせた柔軟な対応が可能となること及び配送が不要となることから、自校方式を採用することとした。そして調理方法については、安全で安心なおいしい給食を基本とし、効率的・効果的な運営を行うため、民間業者に委託するものとした。
- ・高南中学校の給食調理棟について実施設計を行い、平成24年2月に給食調理棟建築工事を着工した。

【達成度】

A

【今後の課題】

- ・中学校給食の導入に向けて、給食施設だけではなく、献立作成事務の合理化やアレルギー対応等について充実させていく。
- ・残る高石中学校・取石中学校についても、平成25年度導入に向けて実施設計を進めていく。

項 目	小学校の空調設備の整備
-----	-------------

担当課	教育総務課
-----	-------

【目標】

夏季・冬季の教育環境の向上を図るため、各小学校の普通教室及び音楽室に空調設備を設置する。

【主な取組み及び実績】

高石小学校	普通教室	12室	音楽室	1室	計 13室
羽衣小学校	普通教室	18室	音楽室	1室	計 19室
高陽小学校	普通教室	19室	音楽室	0室	計 19室
取石小学校	普通教室	19室	音楽室	1室	計 20室
東羽衣小学校	普通教室	19室	音楽室	1室	計 20室
清高小学校	普通教室	13室	音楽室	1室	計 14室
加茂小学校	普通教室	19室	音楽室	1室	計 20室
	教室計	119室	音楽室計	6室	合計 125室
	事業費計	190,894,200 円（安全・安心な学校づくり交付金及びきめ細かな交付金事業）			

【取組みの効果】

全ての普通教室に空調設備を設置することにより、夏季・冬季の学習環境の向上が図れた。

【達成度】

A

【今後の課題】

各小学校の全普通教室に空調設備を設置することができたが、今後は支援教室についてもすべて設置していく。

項目	確かな学力の定着と向上
----	-------------

担当課	教育指導課
-----	-------

【目標】

「高石っ子元気っ子プラン」がめざす『生きる力』を育むため、一人ひとりの個性や能力を伸ばし、基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、さらに活用できる力を養う。また、豊かな表現力を育成し、「確かな学力」の定着と向上に努める。

このため、学校では、基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用を図る学習を充実させるとともに、体験的な学習や問題解決的な学習を重視し、児童・生徒が知的好奇心を持って主体的に学習に取り組む態度とともに、総合的な学習の時間を中心とした探究的な学習を通して思考力・判断力・表現力の育成に努める。特に、学力面、生活面での課題を受け、各校での取組みが連携して行えるよう中学校区を単位とした取組みを進める。

【主な取組み及び実績】

- ・実施された学力・学習状況調査等の結果分析から本市並びに各校で取り組むべき課題を明確にし、リーフレット「高石の子どもたちの学力向上に向けて」を作成した。また「高石っ子元気っ子プラン」に基づき、各学校の学校訪問や教育課程ヒアリングを通して、指導・助言を行った。

(資料 P.41)

- ・各校から要請を受け、授業研究及び校内研究協議における指導・助言を行い、授業改善への取組みを進めていけるよう支援した。また、大阪府教育委員会が実施する各事業に係る研修等と連携し、学校が専門家による指導・助言を受けることができるように支援した。

- ・学力向上担当者会を定期的に行うことで、各校の取組みを発信できる機会を設け、会で共有し、話し合える場にした。

- ・各校での取組みが連携して行えるよう中学校区を単位とした高石市新教育課程推進事業を実施した。各中学校区独自の取組みが進められ、合同研修会等が実施された。

- ・高石っ子まなび舎事業として、各中学校に放課後自習教室を設置した。その際、学生ボランティア等の学習支援アドバイザーが来室した生徒に学習支援を行うことで、学習機会の提供を行った。

- ・学力の基礎となる基本的生活習慣の改善を重視し、保護者・家庭啓発用リーフレット「高石市三つの朝運動」を幼・小・中学校園の保護者へ配布した。また、家庭学習啓発のため、リーフレット「高石っ子の学びをはぐくむ 家庭での過ごし方」を作成した。

(資料 P.42～49)

【取組みの効果】

- ・各学校が学力向上に向けた取組みのプランを児童・生徒の実態に即した形で策定し、授業力改善に向けて、学年ごと・ブロックごとに研究授業・研究協議会を行ったり、外部から専門家等を招いて校内研修会を実施するなど充実した取組みを進めた。その結果、子どもたちにとって「わかる授業」をめざす教員の授業力向上が見られ、授業内容の視覚支援につながる教師・子どもの ICT 機器等の活用時数、事例も増えた。

(資料 P.50)

- ・定期的実施した学力向上担当者会や中学校区を単位とした合同研修会が実施される中で、各校の課題及び取組みの内容や様子などの情報の発信や共有が行われた。

(資料 P.51)

- ・高石っ子まなび舎事業における放課後学習の取組み等により、学力・学習状況調査等のアンケート結果でも 34%の生徒から「役にたった」と肯定的な意見が出された。

【達成度】

B

【今後の課題】

- ・学力・学習状況調査等の結果を分析・考察した結果、全体的な無解答率の高さ、就寝時間の遅さなど学力面、生活面での課題は依然として見られる。市としては、各校での取組みを推進していく一方、小・中学校が共通認識をもって連携していけるよう中学校区を単位とした取組みを進めていく。

- ・基礎・基本の力、活用する力については、一定の成果も見られるが、まだまだ十分とは言えない。継続的な取組みを進めていくとともに、効果検証に努めたい。

項 目	人権教育・道徳教育の充実と推進
-----	-----------------

担当課	教育指導課
-----	-------

【目 標】

「高石っ子元気っ子プラン」がめざす『生きる力』を育み、将来の夢や志を育むため、すべての教育活動を通じて、体験活動等を取り入れながら生命尊重の精神、規範意識の醸成、伝統や文化を尊重する心、郷土を愛する態度等、一人ひとりに豊かな人間性を育む心の教育・道徳教育の充実を図る。また、すべての教育活動の中に、人権尊重の理念を正しく位置づけ、幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権学習等の充実を図り人権教育の充実に努める。特に、今年度は、人権教育では、人権課題を網羅した研修の実施、道徳教育では、これまでの実践を活かした資料活用の充実を図る。

【主な取組み及び実績】

(人権教育)

- ・人権教育においては、年間5回の人権教育研修会と3回の人権教育担当者会を実施した。特に、人権教育担当者会では、さまざまな人権課題に共通する問題点を考えるための概念・構造・視点について深く考えた。
- ・子どもの人権・女性の人権・同和問題学習等の研修を実施した。人権教育の課題に対して、学術的な資料による内容等を学校園の教職員へ伝えた。
- ・近年の人権教育における新たな課題を考察し、平成24年度4月配付予定の「高石市人権教育基本方針(改訂版)」を作成した。

(道徳教育)

- ・今年度、教育委員会主催の研修を年間5回開催した。各校の道徳教育推進教師のみならず、教職経験の浅い教員が多く参加し、読み物資料の分析を行った。
- ・研修会では、参加教員による模擬授業と研究討議を実施した。資料活用については、高石市教育委員会が作成に協力した大阪府教育委員会発行の冊子を活用し、資料作成段階の内容を熟知した上での指導助言等を行った。
(資料 P.52～55)

【取組みの効果】

(人権教育)

- ・人権教育担当者会を通して、人権教育について、学術的な資料を十分に活用し、学校園の教職員へ周知することができた。その際、網羅すべき課題が多種多様であったものを系統的に分析したことにより、深く人権教育を進める土台の形成に役立った。また、担当者会で得たこのような知識理解を活用できるよう、研修会を企画したことにより、より有効的に各校の人権教育への取組みが進んだことが各校へのヒアリング等で確認できた。

(道徳教育)

- ・年間5回の道徳の授業づくりを考える道徳研修会を行うことによって、各校が、道徳の授業実践を進めることができた。また、毎回、資料分析を行った結果、教職経験の浅い教員のスキルアップが指導案等の充実により示された。模擬授業では、活発な意見交換を引き出し、教職員の道徳教育に対する意欲向上が見られた。

【達成度】

A

【今後の課題】

- ・人権教育においては、在日外国人教育の充実が必要である。今後、より学校園での取組みが進むよう図っていきたい。
- ・道徳教育においては、道徳教育の充実により、各学校の道徳的実践意欲の高まりがみられたが、今後、子どもによる道徳的実践力が高まるよう、教育委員会からの働きかけを進めたい。
- ・人権教育、道徳教育ともに今後も、学校園が自主的に活動する機会をより増やしていくことを目標に取組みを進める。

項 目	教職員の資質と指導力の向上
-----	---------------

担当課	教育指導課
-----	-------

【目 標】

信頼される学校園づくりのためには、教職員の指導力や教育にかける情熱はもとより、個々の教職員の専門性や意欲を生かしながら、学校園全体の教育力の向上を図り、学校園教育の質を高めることが重要である。そのために、教職員は常に広い視野から社会の変化や時代のニーズを的確に把握する感性を持ち、新たな教育諸課題に機敏に対応できるよう研修に励み、豊かな人間性と高い識見を備え、専門職としての知識・技能を身につけることができるよう指導力の向上に努める。

今年度も経験の浅い教職員が増えている中、さらなる研修機会を確保し、教師力の向上を図る。

また、資質向上が授業改善に結びつく必要があることから、幼・小・中学校園での授業内容、保育内容の改善に取り組み、子どもたちが楽しくわかる授業・保育を行えるように研修の充実を図る。

【主な取り組み及び実績】

- ・さまざまな教育課題に対応できるよう、府教育センター実施の研修については各学校園に周知を図り、積極的な参加を促している。また市としても教員の資質や指導力向上のため、人権教育、支援教育、道徳教育、教科指導、情報教育、子ども理解についての研修などさまざま分野の研修を企画運営した。
- ・初任者研修や10年経験者研修などの総合研修についても、年間を通じて計画的に研修が実施され、対象者はそれぞれのキャリアに応じた教員としての知識、技能の向上に努めた。
- ・新学習指導要領に対応するための武道研修や、防災教育研修など、新たな教育課題について研修会を実施した。
- ・ICT活用による授業改善の推進のため、情報教育研修会を、活用術と情報モラルの両面において研修会を実施できた。また、初任者についてもセキュリティポリシーの伝達等を含めた研修を実施できた。
- ・府教育センターのパッケージ研修支援を多くの学校が実施し、表現力の向上に取り組んだ研究授業はもちろん、そこに至るまでの指導案の検討や授業後の研究協議の進め方等、校内研究について総合的な支援を受け、学校全体の活性化に取り組んだ。

【取組みの効果】

- ・府や市の研修には各校からの参加があり、研修で得たものを受講者のみのものとせず、校内全体に広め共有することにより、経験の浅い教員の学びの場ともなっている。
- ・初任者研修では学期に一度研究授業を実施し、そのうち1回は道徳の授業を行ってきた。また、市主催の研修会としては、初任者研修に支援教育と情報教育を取り入れ、個別支援やICTによる授業改善についても伝達できた。
- ・ICT教育については、授業での活用時数が増加している。 (資料 P.50)
- ・パッケージ研修に関しては、校内研修の実施のみならず、実施後の研究討議についても進歩が見られた (グループ討議を取り入れた検討会の形式の増加)

【達成度】

B

【今後の課題】

- ・全校で研修に参加した教員が伝達講習を行っているが、今後より一層研修内容が各校で充分活用されるよう取り組む。
- ・情報教育について市による研修会の開催にとどまらず、さらに学校現場が主体的に研修会を開催できるよう進める。

項目	健康・安全教育の推進
----	------------

担当課	教育指導課
-----	-------

【目標】

子どもの体力を向上させることは、生きる力を育むための極めて重要な課題であり、生活の基本となる健康3原則(食事、運動、休養)の理念に基づき、『はやね・はやおき・朝ごはんキャンペーン』を奨励し、幼児・児童・生徒が自ら健康を保持増進していくことができる実践力を身に付けるよう健康教育の充実を図る。また、体を動かす時間を多く確保し、運動に親しむ習慣を身につけさせる等、幼児・児童・生徒の体力の向上に取り組む。

特に今年度は、家庭と連携し基本的な生活習慣の確立を重点的に取り組みを進める。

【主な取り組み及び実績】

- ・「高石っ子元気っ子プラン」に基づき、『はやね・はやおき・朝ごはんキャンペーン』リーフレットを配布し、食育の充実を家庭・地域と一体となって推進している。さらに、リーフレット『高石っ子の学びを育む 家庭での過ごし方について』を児童・生徒に配布し、食生活に加えて、家庭における正しい生活習慣を身につけ、子どもたちの健康な心身を育む取り組みへとつなげている。(資料 P.42～49)
- ・各中学校でのクラブ活動の活性化を図る取り組みとして、「全国大会等出場助成金交付事業」として、全国大会などに出場する際に支援を行っている。
- ・平成24年度から開始される中学校体育授業での武道必修化に向けて、剣道と柔道の指導者講習会を実施した。中学校武道場を使用して、剣道と柔道の専門的な講師を招き、実技講習を行った。また、『中学校 武道の授業の安全な実施について』を作成し、中学校の教員へ配布した。(資料 P.56、57)
- ・薬物乱用の防止の取り組みでは、全小中学校で、外部講師を活用した薬物乱用防止教室を実施した。

【取り組みの効果】

- ・『はやね・はやおき・朝ごはんキャンペーン』運動では、継続して家庭での食生活を中心とした啓発運動を行ってきた。さらに、家庭でのルールや学習習慣など、家庭生活全般についての学校と家庭の連携をつくる取り組みができた。
- ・平成23年度に、高南中学校ハンドボール部が全国大会に出場した際に、助成金交付事業により市としても支援を行い、クラブ活動の活性化につながった。
- ・中学校体育授業での武道必修化については、事故を防止するための生徒の技術習得の段階に応じた指導の実際について、安全面の講習会を実施した。『中学校 武道の授業の安全な実施について』とあわせて、武道の安全な実施についての取り組みができた。
- ・薬物乱用防止教室では、児童・生徒に薬物についての正しい知識・理解の定着を図ることができた。

【達成度】

B

【今後の課題】

- ・学力・学習状況調査では、依然として、朝食の摂取率が大阪府の平均を下回っている状況である。今後も、朝食をはじめとする家庭での正しい生活習慣の重要性と、規範意識の醸成を図るため、中学校区で学校と家庭が協力する取り組みを継続させていきたい。
- ・「高石市新教育課程推進事業」で実施している幼小中連携しためざす子どもの育成に向けて、子どもの体力向上に連携した取り組みを進めるに努めたい。

項 目	支援教育の充実
-----	---------

担当課	教育指導課
-----	-------

【目 標】

ノーマライゼーションの理念の下、一人ひとりの障がいの実情や教育的ニーズを把握し適切な相談・支援を行う支援教育を積極的に推進することが重要である。このため、学校園では、全ての教職員が支援教育についての正しい理解と認識を深め、幼児・児童・生徒の自立と社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、生活や学習上の困難を改善・克服するための校園内支援体制の充実を図る。

特に今年度は、支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会の機能の充実、子どもの育ちの連続性や学びの系統性を重視した学校園間の連携に向けた取り組みの充実、障がいのある子どもへの理解を深めるための指導者の育成の充実を図る。

【主な取組み及び実績】

- ・支援教育担当者会（支援学級担当、通級指導教室担当及び支援教育コーディネーター等）を7回開催した。講師：府教委指導主事、和泉支援学校首席、大学准教授及び市教委指導主事
 第1回 4月14日（木） 第2回 7月21日（木） 第3回及び第4回 7月22日（金）
 第5回 7月26日（火） 第6回 11月10日（木） 第7回 3月2日（金）
- ・各学校園の支援教育の取組みを紹介する「情報紙・支援教育」を発行し、幼・小・中学校園長及び支援担当者等に配布した。（資料 P.58）
- ・進路指導担当者会において、支援学級在籍生徒の進路状況や「たまがわ高等支援学校」等についての情報提供を行った。
- ・医療的ケアを必要とする児童への看護師配置に向けて取組んだ。

【取組みの効果】

- ・支援教育担当者に対し、「個別の指導計画の作成」・「支援教育の観点を活かした子ども理解」等についての研修を実施したことで、支援を必要とする子どもたち一人ひとりに応じた「個別の指導計画」等の充実がより一層図られた。
- ・今年度より、各学校園の支援教育の取組みを紹介する「情報紙」を各学校園へ配布（情報発信）したことにより、各学校園での取組みの共有、各学校園での校種間連携の活性化、小・中学校での長期休業期間中（夏季・冬季・春季）における補充学習会の実施校の増加など、子どもの育ちと学びを支える支援教育の充実につながった。

【達成度】

A

【今後の課題】

- ・一人ひとりの子どもたちの自立と社会参加をめざす教育の推進や一人ひとりの子ども理解に基づく教育の充実のため、中学校区内の幼・小・中連携の深化充実を図る。
- ・障がいの種別に応じた専門性が求められる担当教員の資質向上を図るため、支援教育に関する専門性及び指導力の向上を図る研修の充実にも努めるとともに、一人ひとりの子どもたちに応じた支援内容・支援方法等についての研修を深める。
- ・各学校園の支援教育コーディネーターが推進役を果たし、校内委員会の機能の充実を図る。

項目	生徒指導の充実
----	---------

担当課	教育指導課
-----	-------

【目標】

一人ひとりの児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、生きる力を育み、社会的資質や行動力を高めるように指導、支援する。

また、児童生徒間や児童生徒と教職員間の信頼関係を構築し、心に触れる指導を徹底し、保護者との連携を深める。

特に今年度も、小中学校間や関係機関との連携を深めるとともに、教職員がカウンセリングマインドを持って、いじめや不登校、問題行動等の背景や要因を的確に把握し、児童生徒に寄り添った支援を行い、教育課題に対して未然防止と早期対応の取組みを推進する。

【主な取組み及び実績】

・校内ケース会議において、スクールソーシャルワーカーを活用した学校が増え、社会福祉との連携もスムーズになり、子どもの背景を理解した上で、保護者も含めた支援が実施できた。また、兄弟姉妹関係や校種間の引き継ぎを意識した小中合同ケース会議も行った。
(資料 P.59)

・各校で定期的に行われている校内問題行動対策委員会や不登校対策委員会を、スクールカウンセラーの勤務日に合わせて開催し、専門家の立場から個々の児童生徒へのアセスメントを行った。

・教職員の指導力と資質の向上を目的とした「子ども理解のための研修会」を開催し、「ピアサポート」「キャリアカウンセリング」「発達障がいと生徒指導」等について見識を深めた。
(資料 P.59)

・各小中学校生徒指導担当者が集まる連絡協議会を定期的で開催したり、学校訪問（不登校ヒアリング）等を行うことにより、課題のある児童生徒の実態把握に努め、いじめ・不登校の未然防止に向けた取組みを推進した。
(資料 P.60)

【取組みの効果】

・校内ケース会議や校内委員会にスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等の専門家が入り、アセスメントとプランニングを行うことで、心理面や家庭状況等もふまえた支援ができるようになり、児童生徒の状況が好転したケースがあった。

・小中合同のケース会議を行うことで、児童生徒の兄弟姉妹関係や保護者を含めた家庭状況について、多面的にとらえることができ、児童生徒理解が深まり、効果的な支援が実施された。

・「ピアサポート」「キャリアカウンセリング」について、教職員がワーキングを通して研修することで、児童生徒への効果的な声かけの仕方や児童生徒同士を結び付ける活動の仕方を学び、児童生徒への対応に役立った。また、「発達障がい」等の特性をふまえての児童生徒への指導・支援ができるようになった。

【達成度】

B

【今後の課題】

問題行動の未然防止の取組みを推進していく上で、児童生徒の自己指導能力を育成することが必要である。そのために、「自己存在感・自己有用感を実感できる場を与える」「共感的人間関係を育成する」「自己決定の場を与える」ことを意識した取組みを進めていく。

具体的には、「誰もが安心して過ごすことのできるクラスづくり」のための研修会を実施し、教職員の学級経営のスキルアップを図る。

項目	信頼される学校づくり（学校・家庭・地域の連携協力の向上）
----	------------------------------

担当課	教育指導課
-----	-------

【目標】

学校園においては、校園長のリーダーシップのもと、学校評価システム等の組織マネジメントの定着と改善を図り、教職員がそれぞれの役割に応じて学校園運営に積極的に参画する校園内体制の整備と組織力の強化に努める必要がある。その結果として、学校園における教育活動の成果などを積極的に保護者や地域住民に広く、そして早く情報提供することにより、信頼される開かれた学校園づくりを進める。

今年度も家庭や地域の活力を学校教育活動に取込むことで、地域が学校を支える風土づくりの定着を図る。そのため、地域教育協議会との連携を深め、地域全体へ働きかけていく取組みを、家庭学習の推進を中心に検討、実践していくことにより地域からの信頼をより一層高めたい。

【主な取組み及び実績】

- ・学校情報の発信を充実させ、家庭・地域社会の信頼に応えると共に、相互交流の推進を図って「開かれた学校づくり」に努めるため、本年度はさらに2つの学校が学校ホームページを作り、情報発信を始めた。
- ・学校教育自己診断及び学校評議員制度を通して教育活動を点検し、一層の充実を図った。また、オープンスクールの実施を積極的に行い、保護者や地域からの意見を真摯に受け止めることで、「信頼される学校づくり」に努めた。
- ・家庭で、子どもの正しい食生活やしつけなど基本的な生活習慣および学習習慣を身に付けさせるための取組みを実施した。（「高石市3つの朝運動」など）本年度は特に、「家庭での過ごし方について」を市教委として作成し、各家庭に配布した。（資料P.42～49）
- ・各中学校区地域教育協議会を中心に、各小学校において子どもの安全見まもり隊活動への支援を行った。（各小学校区見まもり隊総会、市主催の合同研修会開催、スクールガードリーダー活動の実施等）

【取組みの効果】

- ・各校におけるホームページの開設が進んだことにより、学校行事や学校目標についての周知が進んだだけでなく、ICT 機器との組み合わせにより防災時においても情報提供できる土台作りができた。
- ・学校教育自己診断は全校園で実施され、各小中学校においては学校評議員による点検活動等が行われている。オープンスクールは各校、実施形態が異なるが、保護者からの意見を集約し、積極的に情報公開する学校が出てきている。
- ・昨年度までは各学校から家庭学習の手引きが各家庭に周知されていたが、本年度新たに市教委から配布した「家庭での過ごし方について」により、市としての考えを示すことにより家庭における学習への意識が高まった。
- ・子どもの安全見まもり隊や、スクールガードリーダーの活用などによって、より子どもたちの安全の確保ができた。

【達成度】

B

【今後の課題】

- ・ホームページ開設校は増加したが、まだ全校ではなく（8校）、全校開設を次年度めざしたい。
- ・各校における学校評価の開示は進んできているが、今後もさらに一層、保護者からの意見や考える場を工夫し、PDCAサイクルを確立していく。

項 目	就学前教育の取組推進と充実
-----	---------------

担当課	教育指導課
-----	-------

【目 標】

遊びや生活を通して、人とのかかわり方、自然やものとのかかわり方、ルールや生活の仕方を身につける多様な環境構成を工夫して、幼稚園教育要領に則した幼児期の育ちや学びを充実させる保育活動を展開する。

本年度はまた、幼・小・中の連携を図りながら幼児の実態や発達段階を踏まえた幼稚園教育の充実に努め、幼・小・中 11 年間の子どもの育ちを見とおした保育を実施する。その際、新教育課程推進事業を契機として小・中学校の教職員との「顔の見える」交流を推進し、若手教職員の資質向上を図るとともに、連携の強化を図る。

【主な取組み及び実績】

- ・幼小連携の一つとして、教職員の交流を全校園で行い、通信等にまとめ、幼・小・中の教職員に発信することで共有が図れた。 (資料 P.61)
- ・要録(抄本)の改善、また、教育要領の改訂に伴う新たな教育課程の編成について、確認・周知を徹底した。
- ・幼稚園教育要領にもとづく保育の充実に向けて、積極的に研修会を実施した。

【取組みの効果】

- ・幼小連携の一つとしての若手幼稚園教諭による「小学校教育体験活動」を実施できた。その際、小学校教諭にも幼稚園に来てもらい、交流を図ることができた。
- ・要録の抄本等について、見直しを実施し、現行の教育要領に即した改善ができた。
- ・幼稚園教育要領にそって、各園の教育課程の見直しができた。
- ・市主催の研修会の充実だけでなく、園内研修会の支援を行い、大学教授等による直接の指導が充実できた。 (資料 P.62)

【達成度】

A

【今後の課題】

- ・幼・小・中学校の連携は、交流という形で図ることはできたが、次年度以降も継続し、さらに内容・取組についても充実させていく。
- ・保育所との交流等の連携を模索し、取組を通じて就学前教育の一層の推進を図る。

項 目	中学校区を単位とする連携教育の推進
-----	-------------------

担当課	教育指導課
-----	-------

【目 標】

高石市における小学校と中学校が、児童・生徒の実態分析に基づいて「9年間を通して育てたい児童・生徒像（めざす児童・生徒像）」を設定することにより、一つの中学校区内にある小学校と中学校が、「めざす児童・生徒像」を共有し、その実現をめざして、9年間を見通した学びの連続性を重視した授業の工夫改善をはじめ、一貫性のある教育活動を実施する。加えて、就学前の幼稚園、保育所とも連携、交流の充実と推進に努める。本年度は、特に、新教育課程推進事業の初年度として連携推進を構築し、一方支援教育と関連した連携教育も進める。

【主な取組み及び実績】

新教育課程推進事業として、中学校区別に「めざす子ども像」を共有し、一貫性のある教育活動に取り組むための準備段階として、以下のような取組みを行った。

- ・教職員の交流会を実施し、「めざす子ども像」を検討し、目標策定。 (資料 P.63～66)
- ・合同の研修会を実施。
- ・管理職や担当者レベルの会合の実施。
- ・研究授業及び研究討議の実施。
- ・幼稚園との教員の交流連携。

教職員の交流による支援教育を通じた連携を実施。

【取組みの効果】

- ・新教育課程推進事業を通して、子どもの育ちと学びの連続性を保障する連携教育の推進（連携の強化）がより進んだ。
- ・中学校区での幼・小・中の教育活動の中でめざす子ども像の育成を達成することを意識し、発達段階に応じた意図的・系統的な指導のため、シラバス作りを進めることができた。
- ・学校種間での教員の授業交流、授業研究が進んだ。
- ・学年間や小・中学校間等において、個人情報取り扱いに厳重に注意を払いながら教科・領域の進捗状況や個々の生活状況、学習状況を個に応じたきめ細かな丁寧な指導に活用できた。
- ・幼稚園との連携では、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行う就学前教育の基本を充実させ、その成果を小学校につなげていくことが進んだ。

【達成度】

A

【今後の課題】

- ・今後、新教育課程推進事業を有効に活用し、連携教育が生み出す成果を検証していく必要がある。
- ・教育委員会として、検証を踏まえ、学校園に効果的な方策を定めていく。

項 目	青少年の健全育成
-----	----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

【目 標】

少子化・核家族化の進行で生活構造が変化する中で、子ども・若者の社会自立に関連する教育、少年非行等青少年の健全育成は重要課題であり、自然とのふれあいや地域における各世代との交流を促進し、青少年を健全に育てる環境整備をすると同時に家庭、学校、地域の一層の連携を図り、地域社会の中で子どもを育てる教育コミュニティづくりに努める。

【主な取組み及び実績】

- ・市内の単位こども会で組織されているこども会育成会協議会事業を通じて、こどもを育てる教育コミュニティの活性化と子ども達の健全な仲間づくりを目的として、青少年指導協議会、婦人団体協議会、老人クラブ連合会等の協力のもと「こども会カーニバル」を開催し、こども達と地域の方々との交流の場を図った。（資料 P.67、68）
- ・青少年指導員協議会と非行防止に向けて施策を積極的に図り、P T A連絡協議会、婦人団体協議会等と連携をとり、子どもの見まもり活動として、青少年健全育成のための街頭パトロール等の活動を展開し、地域の環境の浄化に努めた。（資料 P.69）

【取組みの効果】

こども会育成協議会事業を通じて、各種行事等の実施により、地域交流を図ることや多才な指導者のもとで学習することで、地域社会の中でこどもを育てる教育コミュニティづくりの促進を図ることができた。

また、各種団体による各校区のパトロールを実施することで、健全な青少年を育成するとともに地域環境の浄化を促進することができた。

【達成度】

B

【今後の課題】

地域に根ざした青少年団体の育成及び、指導者の確保と資質の向上を図るとともに、子どもたちが同世代や異世代との多様な人間関係が形成されるよう方策を定めていく。

項目	生涯学習の推進
----	---------

担当課	生涯学習課
-----	-------

【目標】

市民が生涯にわたり、すぐれた文化、芸術に接することによって市民の教養を高め豊かな情操を養う環境づくりに努める。市民自ら参加し、企画立案する時代の要望に適応した諸事業を支援するとともに、特色のある学習プログラムの提供を行い、学習機会の拡充に努める。

【主な取組み及び実績】

- ・公民館事業として、子どもから高齢者までが気軽に参加できる各種講座や教室を開催し、生涯学習の機会提供と同時に施設利用の活性化を図った。(資料 P.70)
- ・文化活動については、日々における文化・芸術活動などの成果発表や市民相互の交流として、「市民文化祭」をアプラホールで、音楽、民謡、民踊などをはじめ、各種の文化芸術を広く市民に発表すると同時に菊花展や市展として絵画、書道など鑑賞の機会を提供するため開催した。(資料 P.71、72)
- ・学校園の PTA 活動の一環として、各单位 PTA による「家庭教育学級」を開催して、多種多様にわたり生涯学習の機会を提供した。(資料 P.73)
- ・泉北各市の合同による、泉州歴史探訪と題し、泉州地域の方々を対象に広域講座を開設し、著名人を講師に招いて学習機会を提供した。(資料 P.74、75)

【取組みの効果】

- ・公民館事業については、市民参加による企画立案により、事業内容の充実とニーズに対応した事業に取り組むことができた。
- ・「市民文化祭」の開催を通じ、文化・芸術にふれあう場を提供し、文化に対してより理解を深め、生涯学習の高揚を図ることができた。
- ・学校園単位 PTA の取組みにより多様な家庭教育学級(510名参加)を開催して、個人の教養を高め豊かな情操を養うことに寄与した。

【達成度】

B

【今後の課題】

- ・公民館の利用については、利用者数のさらなる増加を目指して、利用しやすい環境づくりと事業内容の充実に努める。
- ・少子高齢化が進んでいる状況のなかで、高齢化社会への対応、子育ての学習、子ども、成人、高齢者等様々な世代の人々を対象とした講座を実施し、広く市民に学習してもらえよう環境づくりに努める。

項目	生涯スポーツの普及振興
----	-------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

【目標】

市民の健康維持、体力の向上を図るため、スポーツ施設の充実と生涯スポーツの観点から学校体育施設の有効活用、各種スポーツプログラムの提供、さらには指導者の養成・確保に努め自主的に活動できる組織づくり・システムづくりに努める。

【主な取り組み及び実績】

- ・市民同士の交流や健康増進などを一層推進するために、スポーツやレクリエーションに親しむ機会を提供した。 (資料 P.76～79)
- ・学校教育に支障のない範囲において、学校休業日等に学校体育施設を開放し、各種スポーツ団体の生涯スポーツを行なえる環境づくりを図った。 (資料 P.80、81)
- ・未就園児から高齢者までを対象とした各種レクリエーション事業、体力、健康づくり事業等を行うことを目的とし、公益財団法人の助成事業を積極的に活用して、幼児とその保護者を対象とした「親と子の軽体操教室」や小学校低学年とその家族を対象とした「チャレンジ・ザ・ウォーク」を開催し、また、全市民対象として「市民ハイキング」を実施した。 (資料P.82)
- ・毎年10月には、全市民対象として小学校から高齢者にいたる各年齢層に適した種目や、自治会対抗リレー等も取り入れた「市民体育大会」を開催した。

【取り組みの効果】

- ・市内運動施設や学校体育施設の有効活用により地域住民のスポーツ活動の促進を図り、市民の多様なニーズに対応した生涯スポーツの機会を提供することができた。
- ・市民の健康促進を目的に継続し、「市民体育大会」や「市民ハイキング」などを開催することで、多くの市民にスポーツに親しんでいただく機会を提供し、各種事業への参加を促進した。

【達成度】

B

【今後の課題】

- ・施設の更なる利用促進及び市民のニーズに対応したスポーツプログラムの提供を行う。
- ・市民参加型のスポーツ教室や各行事を開催することで、市民の体力、健康づくりやコミュニケーションづくりに更なる効果を上げるには、各行事を開催するにあたり指導者として協力していただくボランティアのスポーツ指導員の確保に努める。
- ・市民が気軽にスポーツに参加できるような市民ハイキング、市民体育大会などに幼児から高齢者に至るまで各年齢層の参加者の増加に努める。

項 目	文化財の保護と市民の郷土愛の高揚
-----	------------------

担当課	生涯学習課・図書館
-----	-----------

【目 標】

市内には、文化遺産等が多数残されており、地域の歴史や文化を正しく理解し、将来の郷土発展の基礎とするため、これらの文化財を保護・継承するとともに普及に努め、市民の文化財保護意識の高揚を図る。

また、文化財等を活用し、郷土愛の高揚を図るため、図書館郷土資料室において、民具や考古資料などの展示を行う。

【主な取組み及び実績】

- ・ 図書館郷土資料室において、大園古墳など高石の歴史、文化を解りやすく紹介する展示に努めるとともに、図書館の協力を得て、郷土資料図書の充実を図った。 (資料P.83)
- ・ 高石の歴史的事項から現代的事項に至るまでをクイズ形式でとりあげ、郷土史研究委員による「なんでも高石学入門」を広報たかいしに連載することで、郷土史への理解と郷土愛の醸成に努めた。 (資料P.84)
- ・ 市民の史跡めぐりなどに出向いて協力を行った。

【取組みの効果】

- ・ 図書館郷土資料室での資料展示と広報たかいし掲載の「なんでも高石学入門」が連動して、市民が図書館郷土資料室へ訪れる機会を増加させている。そのような中で、市民に高石の郷土史へのより一層の愛着が芽生え、公民館で郷土史を学ぶグループが生まれる気運が出てきている。

【達成度】

B

【今後の課題】

- ・ 郷土の歴史や文化に対する市民の関心が深まり、自主的な活動の気運が生まれつつある中、基礎資料の整備などサポートを図る。
- ・ 市内から発見された考古学資料や民俗資料等の良好な保管とともに活用を推進する。

項 目	読書活動の推進
-----	---------

担当課	図書館
-----	-----

【目 標】

子どもたち一人ひとりの健やかな成長は、私たち大人の願いであり、責務である。しかしながら、「近頃の子どもは本を読まなくなった。」と言われ、子どもの読書離れが進んでいる。

読書は、子どもにとって、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、心豊かな人間に育っていく上で欠かすことのできないものである。そのため、子どもが読書の楽しさや喜びを身近なところで、享受できるような環境の整備や読書活動の推進を図る。

【主な取組み及び実績】

- ・乳幼児期から読書に親しむ環境づくりとして、4ヶ月検診を利用したブックスタート事業を実施した。
- ・未就学児童に対して、本に親しむ機会を提供するため図書館での「お話し会」を開催し、絵本の楽しさや親子のふれあいを実感していただき図書館の利用案内を行った。また、図書館の「お話し会」の催しや講演会等の行事案内を図書館ボランティアへ協力依頼を行った。（資料 P.85、86）

【取組みの効果】

- ・4ヶ月検診でブックスタート事業を実施することで、「お話し会」の親子参加が増え、定期的に「お話し会」へ参加するようになった。0歳からの「おひさまお話し会」参加者は年間で166組。
- ・図書館ボランティアの協力で図書館事業の案内を行ったことで、「ちびっこあつまれ」の参加者は4月「子どもの日」は64名で、12月「クリスマス会」は107名で多数の参加があった。

【達成度】

B

【今後の課題】

- ・図書館では、絵本を通して子どもと母親・父親・身近な大人とのスキンシップを深めるために、ブックスタート事業の充実を図る。また、保育所・幼稚園においては、子どもに魅力ある本を提供できるよう蔵書の充実を図る。
- ・地域で、読み聞かせボランティアの活動で絵本と親しむよう働きかける。

項目	文化・芸術の振興
----	----------

担当課	たかいし市民文化会館
-----	------------

【目標】

市民文化ホールは、市民の文化と教養を高揚し、文化の向上及び文化活動の振興に寄与するために設立されたものである。市民が集い・文化・芸術を育むたかいし市民文化会館を市民と共に作り上げていくことに努める。

【主な取組み及び実績】

- ・自主事業について、継続事業としてアブラ合唱祭等 9 事業、単独事業では、小林桂ジャズライブ等で 18 事業、市民参画事業では、陶芸教室やこどもお箏教室、和太鼓教室で 17 事業を開催した。特に、市民参加型の事業の成果を考慮しながら、発表の場を設けるなど事業間につながりを持たせて継続発展を図る取組を行った。陶芸教室は春期・秋期の教室と陶芸展示会を開催し、こどもお箏教室と和太鼓教室では、和太鼓・箏の日本伝統芸能楽器の共演コンサートを開催した。
- ・財団法人地域創造の補助事業として音楽・ダンス活性化事業を取り入れた。

【取組みの効果】

- ・たかいし市民文化会館のホール事業 67 件、ワークショップ事業 82 件、ギャラリー4 件で、入場者数は、29,034 人だった。(資料 P.87～95)
- ・サブギャラリーでは、アブラミニミュージアムとして 24 団体の協力があり、写真や絵画、詩吟連盟展など楽しい催事となった。
- ・「音楽活性化事業」「ダンス活性化事業」を取り入れ、地域の施設で「出前コンサート」を開催したことで、文化会館の活動の重要性を知ることができた。

【達成度】

B

【今後の課題】

季節毎の催し、年齢層の催し、また市民参画の催し等、バランスのとれた事業企画が必要であるが、市として事業の目的を明確にすることが求められる。今後文化会館の活動を市民に知ってもらうことが重要であり、文化会館で待っているのではなく、文化・芸術で元気なまちづくりを目指した拠点づくりを行う。文化・芸術で人と人との繋がりを大切に創造性豊かな地域づくりに努める。

高石市教育委員会における教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検並びに評価委員
(50音順)

氏名	所属・職
荒木 剛	高石市社会教育委員会議議長
奈良 慶治良	元小学校長
日野 多賀子	羽衣学園理事・羽衣国際大学名誉教授

【委員からのご意見】

- ・年々評価内容がわかりやすくなってきている。また、課題も整理されてきていると感じる。
- ・複数年度にわたる計画については、年度ごとの目標を設定し、達成度における評価をすべきである。
- ・社会体育の分野において、今後は「人の活用」＝「ボランティアの活用」を目標に掲げることが重要ではないか。ボランティアの力がなければ社会体育は成り立たなくなる。
- ・地域の活力を取り入れ、市民が積極的に教育に参加できる環境を整えることにより、教育のまちをめざしてほしい。

【教育委員会としての総括】

教育委員会の事務の点検・評価制度は、教育委員会の説明責任を確保するとともに、教育行政に関する市民の要望に対する応答性を向上させる目的があり、自己点検・評価に基づいて教育委員会の事務を改善し、市民に対する応答責任を果たすことが重要であると認識しています。

今般、高石市教育委員会として、平成 23 年度の教育委員会の権限に属する事務について、学識経験者(評価委員)の幅広い見地からの貴重なご意見をいただきながら、教育に関する事務の「点検・評価」を実施しました。

評価委員の方々からは、本市の教育行政に対する期待とともに、評価方法や各施設に対する忌憚のないご指摘もいただきました。

今回の「点検・評価」は本報告書の 2 ページから記載した手法により行いましたが、今後の「点検・評価」については、評価委員の方々からご指摘いただいた点も踏まえ、以下の方針で実施いたします。

- 1 . 課題に基づいた計画を立て、達成目標をしばり込み、事務を執行する。
- 2 . 長期的視点に立った教育行政を推進する。
- 3 . 評価結果をしっかりと議論し、今後の施策に反映させる。
- 4 . 情報発信を充実させ、市民への説明責任を果たす。
- 5 . 「教育のまち高石」といえる市民から信頼される教育をめざす。

この点検・評価結果につきましては、市役所 2 階行政資料コーナー及び市ホームページにて公表いたします。

資料目次

教育総務課

- 1 「よりよい中学校給食実施のためのアンケート」調査結果 3 5

教育指導課

- 1 学力向上十二提言 4 1
- 2 家庭での過ごし方 4 2
- 3 ICT 機器の活用 5 0
- 4 平成 23 年度学力向上担当者会 5 1
- 5 人権教育・道徳教育 5 2
- 6 武道の指導における事故防止 5 6
- 7 情報誌（支援教育新聞） 5 8
- 8 生徒指導研修 5 9
- 9 不登校連絡協議会ヒアリング 6 0
- 10 情報誌（幼小連携新聞） 6 1
- 11 幼稚園取組状況 6 2
- 12 新教育課程推進事業における取組み 6 3

生涯学習課

- 1 平成 23 年度高石市こども会育成協議会事業報告 6 7
- 2 平成 23 年度高石市青少年指導員協議会事業報告 6 9
- 3 平成 23 年度公民館実施事業 7 0
- 4 平成 23 年度市民文化祭 7 1
- 5 平成 23 年度家庭教育学級 7 3
- 6 泉州歴史探訪 7 4
- 7 運動施設月別利用状況 7 6
- 8 市立体育館室別月別利用状況 7 7
- 9 平成 23 年度ふるさと村（キャンプ場）利用状況 7 8
- 10 平成 23 年度野外活動センター（キャンプ場）利用状況 7 9
- 11 学校開放の使用状況（運動場・体育館） 8 0
- 12 スポーツ推進委員主要事業 8 2
- 13 平成 23 年度図書館郷土資料室展示計画 8 3
- 14 なんでも高石学入門 8 4

図書館

- 1 高石市立図書館利用状況 8 5
- 2 平成 23 年度文化会館事業実績報告書 8 7

「よりよい中学校給食実施のためのアンケート」調査の結果について

I. 調査概要

主旨 中学校給食の導入にあたり、生徒・児童及び保護者の方々から、広くご意見等をお伺いし、よりよい中学校給食の提供を目指すため、本アンケート調査を実施しました。

調査対象

- ・ 市立中学校1年生(及び一部2年生) 全生徒
- ・ 市立小学校6年生 全児童
- ・ 上記生徒・児童の保護者

調査期間 平成23年11月9日から
平成23年11月15日まで

配布数

中学校	750 枚
小学校	632 枚
合計	1,382 枚

回答数

中学校	449 枚
小学校	477 枚
合計	926 枚

回答率

中学校	59.9 %
小学校	75.5 %
合計	67.0 %

備考 以下の「II. 調査結果の概要」に記載した集計結果の百分率については、小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

Ⅱ. 調査結果の概要

【児童・生徒の方におたずねします。】

設問1. 学校名をお答えください。

高南中学校	132
高石中学校	133
取石中学校	184
合計	449

高石小学校	35
羽衣小学校	60
高陽小学校	75
取石小学校	83
東羽衣小学校	107
清高小学校	75
加茂小学校	42
合計	477

設問2. 学年をお答えください。

中学校2年生	65
中学校1年生	384
小学校6年生	477
合計	926

設問3. 性別をお答えください。

男	444
女	481
不明	1
合計	926

設問4. 小学校の給食で好きだった(好きな)メニュー、中学校でも食べたいメニューは何ですか。

ある	644	69.5%
特にない	276	29.8%
不明	6	0.6%
合計	926	

好きだった(好きな)メニュー、中学校でも食べたいメニュー

カレーライス	193
ビビンバ	54
鶏のからあげ	32
鯖の味噌煮	27
ハンバーグ	23
フルーツポンチ	34

「小学校の給食で好きだった(好きな)メニュー、中学校でも食べたいメニューは何ですか。」という問いに対し、「ある」という回答が69.5%あり、そのメニューは、「カレーライス」が193人で最も多く、続いて「ビビンバ」が54人あった。

設問5. 小学校の給食で苦手だった(苦手な)メニューは何ですか。

ある	534	57.7%
特にない	382	41.3%
不明	10	1.1%
合計	926	

苦手だった(苦手な)メニュー

牛乳	57
ゴーヤチャンプル	53
魚料理	68
きのこ料理	33
ジャーマンポテト	15
サンラータン	23

「小学校の給食で苦手だった(苦手な)メニューは何ですか。」という問いに対し、「ある」という回答が57.7%あり、そのメニューは、「魚料理」が68人で最も多く、続いて「牛乳」が57人、「ゴーヤチャンプル」が53人あった。

設問6. 小学校の給食だよりや献立のコメント等は読んでいましたか。(読んでいますか。)

はい	443	47.8%
いいえ	467	50.4%
不明	16	1.7%
合計	926	

「小学校の給食だよりや献立のコメント等は読んでいましたか。(読んでいますか。)」という問いに対し、「はい」という回答が47.8%、「いいえ」という回答が50.4%で、読んでない方の回答が読んでいる方の回答を2.6ポイント上回った。

設問7. 給食を食べる時間は、どのくらいが適当と思いますか。

(お弁当や給食を食べる時間などを参考にしてください。)

10分	30	3.2%
15分	212	22.9%
20分	433	46.8%
20分以上	248	26.8%
不明	3	0.3%
合計	926	

「給食を食べる時間は、どのくらいが適当と思いますか。」という問いに対し、「20分」という回答が46.8%で最も多く、続いて「20分以上」が26.8%、「15分」が22.9%で続き、「10分」が3.2%で最も低かった。

設問8. 体を鍛えたり、健康について考えたり、食事について普段気をつけていることはありますか。

ある	252	27.2%
特にない	668	72.1%
不明	6	0.6%
合計	926	

普段気をつけていること

栄養のバランス	123
運動を心がける	56
食事のカロリー	26
よく噛んで食べる	18

「体を鍛えたり、健康について考えたり、食事について普段気をつけていることはありますか。」という問いに対し、「特にない」という回答が72.1%あり、「ある」という回答を44.9ポイント上回った。

なお、普段気をつけていることとして、栄養のバランスに関するものが最も多かった。

設問9. これから始まる中学校給食に期待するものは何ですか。

(一番あてはまるものの数字に1つ○をつけてください。)

栄養のバランスがとれる	398	43.0%
みんなと同じものが食べられる	144	15.6%
当日、お弁当を買ったり、注文をしたりしないで済む	168	18.1%
その他	181	19.5%
不明	35	3.8%
合計	926	

その他

特にない	70
温かいものが食べられる	25
弁当がいい	18
荷物が軽くなる	14

「これから始まる中学校給食に期待するものは何ですか。」という問いに対し、「栄養のバランスがとれる」という回答が43.0%で最も多く、続いて「その他」という回答が19.5%で多く、その他の中で、中学校給食に期待するものは「特にない」という回答が最も多かった。

設問10. 何かご意見等があればお聞かせください。

給食に反対(弁当がよい)	77
中学校給食に期待	72
おいしい給食が食べたい	14
給食と弁当の日を分けてほしい	14
その他	67

回答総数926人のうち、26.3%となる244人から意見等があり、給食に反対(弁当がよい)という意見等が77人で最も多く、続いて中学校給食に期待しているという意見等が72人あった。

【保護者の方におたずねします。】

設問11. これから始まる中学校給食に期待するものは何ですか。
 (一番あてはまるものの数字に1つ○をつけてください。)

栄養のバランスがとれる	548	59.2%
みんなと同じものが食べられる	24	2.6%
お弁当づくりなどの負担が少なくなる	309	33.4%
その他	29	3.1%
不明	16	1.7%
合 計	926	

その他

食品の安全性	9
温かい食事	6
期待していない	6

「これから始まる中学校給食に期待するものは何ですか。」という問いに対し、「栄養のバランスがとれる」という回答が59.2%で最も多く、続いて「お弁当づくりなどの負担が少なくなる」という回答が33.4%あった。

設問12. お子様の食事を作る際のポイントは何ですか。
 (一番あてはまるものの数字に1つ○をつけてください。)

子どもの嗜好(好き嫌い)	132	14.3%
子どもの食べる量や体調	127	13.7%
栄養バランス	457	49.4%
食品の安全性	100	10.8%
経済的なこと	12	1.3%
特に気にしていない	66	7.1%
その他	9	1.0%
不明	23	2.5%
合 計	926	

その他

手作りを心がける	2
残さずに食べさせる	1
彩り	1
食事もひとつの文化	1

「お子様の食事を作る際のポイントは何ですか。」という問いに対し、「栄養バランス」という回答が49.4%で最も多く、続いて「子どもの嗜好(好き嫌い)」という回答が14.3%で、次に「子どもの食べる量や体調」が13.7%、「食品の安全性」が10.8%と続いた。

設問13. お子様に食物アレルギーはありますか。

ある	64	6.9%
ない	857	92.5%
不明	5	0.5%
合計	926	

「お子様に食物アレルギーはありますか。」という問いに対し、「ある」という回答が6.9%あった。

設問14. 設問13で、「(1)ある」と答えられた方におたずねします。

アレルギーとなる食品は何ですか。(複数回答可)

乳	14
卵	29
落花生	4
ソバ	11
小麦	3
その他	21
不明	4

その他

えび	かに	魚卵	いわし	さんま	ほたて	ゴマ
ピーナッツ	カカオ	キウイ	スイカ	キュウリ	山芋	

子どもに食物アレルギーがあると答えられた方64人に「アレルギーとなる食品は何ですか。」という問いに対し、「卵」という回答が29人で最も多く、「乳」が14人、「ソバ」が11人あった。

設問15. 何かご意見等があればお聞かせください。

中学校給食への期待感	148
栄養バランス	42
食品の安全性	22
その他	102

回答総数926人のうち、33.9%となる314人から意見等があり、中学校給食への期待感に関する意見等が148人で最も多く、続いて、栄養バランスに関する意見等が42人で多く、次に、食品の安全性に関する意見等が22人あった。

高石の子どもたちの学力向上に向けて

～高石市教育委員会が提言する12の視点～

○ 組織的な推進について

○ 学習規律について

○ 自学自習力の向上について

大阪府教育委員会から示されている学力向上に向けて取組の5つの観点

○ 授業づくりについて

○ 読書習慣の定着について

確かな学力向上に向けての提言 ～確かな学力向上のための12の視点～

☆「確かな学力向上」については、子どもに「生きる力」を育むという捉えで構想することが大切です。そして、教師間で共通認識を図り、具体的に学力向上策を検討し実践しましょう。
 ☆高石市教育委員会では、大阪府教育委員会が示している学力向上の取組の5つの観点を踏まえて、『指導内容・指導方法の工夫』『教育課程編成上の工夫』『校内における研究や、研修の工夫』『評価活動の工夫』『家庭や地域社会との連携の工夫』の5項目を、学校における学力向上策として次の12の視点でまとめ、提言します。各校の向上策の参考にいただき、バランスのよい実践をする中で、子どもの「確かな学力」の向上に取り組ましましょう。

視点①：学校体制づくり

<こんな実態はありませんか？>

子どもの確かな学力の向上について、実態や課題の把握及びその対応策についての検討が、研究主任等、一部の教員の仕事になっていませんか？

- 校内に学力向上委員会を設置する等、全校体制で学力向上に取り組ましましょう。
- 学力向上委員会では、子どもの実態と育てたい力、具体的な取組等について全教職員の共通理解を図られるようにしましょう。
- 一つ一つの対応策を短期的なPDCAサイクルにのせて学力向上に取り組ましましょう。

視点③：学習集団づくり・学級経営

<こんな実態はありませんか？>

学力の向上に関わって、集団としての質の高まりが教育活動全般において重要であるとの意識が薄れていませんか？

- 授業の中で、学び合い・教え合う場を意図的に設定し、共に高まり合う学習集団づくりを進めましょう。
- 授業の中で、「自己存在感」が味わえ、「自己決定」でき、「共感的な人間関係」が育まれるようにしていきましょう。
- 学習に対する心構え等、学習規律を確立していきましょう。

視点⑤：学習習慣・学び方形成

<こんな実態はありませんか？>

ノートの使い方や話し合いの仕方等の学び方について、子ども任せにしていませんか？

- 自ら学ぶ力を育てるために、子どもの発達段階や教科等、学習内容に応じて、適切なノートの使い方や発表の仕方・調べ方等の学び方、また家庭学習の仕方等を指導しましょう。
- 朝読書や朝学習、宿題等学習習慣の形成のための継続的活動を大切にしましょう。
- 家庭学習の習慣を身につけさせるために、家庭ときめ細かに連携を図りましょう。

視点⑦：学習支援につながる学習相談

<こんな実態はありませんか？>

個々の子どもの学習に対する悩みやつまずきをそのままにしていませんか？

- 子どもたちの主体的な学びを支えるために、学習へのつまずきに対して、授業以外でいつでも相談にのれる時間(放課後や休憩時間等)と場所(学習相談室等)を設定してみましょう。
- 個人カルテ等を作成し、単元を通して個々の進歩の状況を記録し、それをもとに具体的な支援を立てておきましょう。
- 日常的に、意欲を喚起するタイムリーな言葉かけを心がけましょう。

視点⑨：各教科等との関連、教育課程編成の工夫

<こんな実態はありませんか？>

育てたい力をそれぞれの教科等のみで考えていませんか。また、各学校の実態に応じた日課表や時間割の構成になっていませんか？

- 各教科等の有機的な関連やふるさと教育等の視点を配慮して、実践に繋がめましょう。
- 朝学習やモジュール授業等、各校の実態に合わせ、有効な日課表や時間割の構成を工夫しましょう。

視点⑪：指導計画の充実

<こんな実態はありませんか？>

単なる単元名のみが配列されており、授業に生かされていない年間指導計画になっていませんか？

- 学校全体で共通理解した学力向上策に基づき、年間指導計画及び評価計画のあり方について見直し、改善を図り、授業に生かしましょう。
- 年間指導計画の見直しにおいては、子どもの実態や各学年の系統性等を考慮し、ねらいを明確にしましょう。
- 各授業においては、到達目標を設定する等して学習を充実させましょう。

視点②：授業改善

<こんな実態はありませんか？>

授業改善の視点が不明確で、一方的な講義形式の授業や、一部の子ども意見だけで授業が進められ、ほとんどの子どもは客体化していませんか？

- 指導形態の工夫、体験的な学習、問題解決的な学習等の指導過程の工夫により、子どもの学び合いを組織して、「楽しい授業」「分かる授業」等充実感のもてる授業にしましょう。
- ねらいを明確にし、意図的に鍛える「習得型の学習」と、課題を発見しそれを追究する「探究型の学習」のバランスを考えて授業構想をしましょう。

視点④：基礎的・基本的知識・技能の定着

<こんな実態はありませんか？>

知識・技能の定着を図ることを目的とした学習が、ドリル学習のみに偏ってはいませんか？

- 繰り返し学習(ドリル学習や計算会・朝学習等)は、子どもの意欲を高めたり、自己学習能力を身に付けたりする上でも重要です。ねらいを明確にして、組織的・計画的・継続的に取り組ましましょう。学習指導ツールの効果的な活用を図りましょう。
- 授業中、習熟度に応じた教材を用意する等、子どもの実態に寄り添った学習を工夫しましょう。また、少数授業や放課後の補充学習等、発展的・補充的な学習も取り入れましょう。

視点⑥：指導に生かす評価

<こんな実態はありませんか？>

ねらいに即した評価が、なかったり、評価したままで終わっていませんか？

- 授業中の評価は、子どものよさや変容を見とることが大切です。評価規準(ねらい)を明確にした授業を実践する中で、個々のつまづきに対する支援を具体的に考える等、評価を指導に生かしましょう。
- 評価にあたっては、教師側の評価だけでなく、子ども自身の自己評価や相互評価を生かす等多面的に子どもを見つめ、それを指導に生かしましょう。

視点⑧：指導力向上の効率化

<こんな実態はありませんか？>

公開授業後の研究協議がマンネリ化し授業改善につながらないことがありませんか？
 気軽に授業を公開したり、見に行ったりできないことがありませんか？

- 授業についての情報交換を日常的に行いましょう。
- グループでの協議やKJ法を活用して全員の意見を集約する等の参加型の研究協議の在り方を工夫しましょう。また、研究協議後に改善策を作成し実践する等協議を実践につなげましょう。
- 全員又は一部の教員による授業研究を計画的に実施しましょう。また、学年単位での自主的な研修も実施してみましょう。

視点⑩：家庭・地域、幼・小・中との連携

<こんな実態はありませんか？>

校内の指導や活動だけで「めざす子ども像」の達成を図ろうとしていませんか？

- 基本的な生活習慣の徹底や「Noテレビ day」「Noゲーム day」の実施、学校支援ボランティアの活用等について、学校公開日や広報等様々な機会をとおして情報を発信し、家庭や地域との連携を積極的に図りましょう。
- 授業研究会等の開催について、他校(異校種を含む)へも呼びかけ、積極的な連携を図りましょう。

視点⑫：学習環境整備

<こんな実態はありませんか？>

子どもにとって学ぶ意欲をそぐ学習環境になっていませんか？

- 子どもの主体的な学習を支えていくために、学校図書館や、コンピュータ室、学習相談室等の整備をしましょう。
- 子どもが豊かな心で学習に取り組めるように、教室等の掲示物の内容、学習教材の配置等を工夫しましょう。
- 言葉遣い等正しい言語環境を整えるように配慮しましょう。

上記にあげた12の視点はあくまで例示ですので、各校においてはこれを参考にするとともに実態に応じて様々な工夫をしていただきたいと思います。また、高石市教育委員会教育指導課では、下記により各学校を支援していきたいと考えています。
 ・このまとめを『新教育課程推進事業』を初めとする、学校訪問の際の資料として個々の学校の研修・指導助言等に活用します。
 ・市教育委員会主催の研修会等において、例えば学力向上担当者会、生徒指導主事等連絡会等、それぞれの立場で学力向上を考察し各校での取組推進に生かします。

高石っ子の学びを育む

家庭での過ごし方について

保護者のみなさまへ

高石市教育委員会では、『高石市学校園教育推進計画（高石っ子元気っ子プラン）』を策定し、『知（意欲をもって主体的に学ぶ力）』、『徳（豊かで、思いやりのある心）』、『体（たくましく、健康な心身）』のバランスのとれた人間性豊かな思いやりをもつ子どもの育成をめざしております。

この「家庭での過ごし方について」をぜひご家庭でご覧いただき、子どもたちの日々の家庭学習や家庭生活について、子どもといっしょに、今一度振り返ってくださいますようお願いいたします。

知の元気

「すすんで学習しましょう」

～みんなで協力して家庭を学びの場所にしましょう～



- ・学習する場所の整理整頓をしましょう。

整理することは、気持ち良い生活が送れるとともに、心の中も整理され、集中力も高まります。

- ・家で本を読みましょう。

家で読書をしたり、読み聞かせをしたりしましょう。読書は、知識や教養を高めるだけでなく、表現力も豊かにします。

- ・家庭学習を習慣化しましょう。

時間を決めて、計画的に学習しましょう。また、宿題は必ず最後までやりとげましょう。また、家族が子どもの「がんばり」を認めて、褒めることも大切です。

- ・生活体験、自然体験などの体験活動に家族で参加しましょう。

体験活動は、自ら学び考える力を身につけ、豊かな人間性を育みます。また、地域の行事などへも家族で積極的に参加しましょう。

徳の元気

「家での約束・きまりを守りましょう」

～家での役割や約束を決め、きまりをしっかり守りましょう～

- ・家の人のお手伝いをしましょう。

家での仕事を分担することは、家族の一員としての自覚を育て、責任感や自立心を育むことになります。

- ・テレビやインターネット、携帯電話のきまりを守りましょう。

家族の中で、テレビを見る時間、インターネットや携帯電話を使用する時間や場所を決めましょう。

- ・家での会話を大切にしましょう。

食事のときなど、家族が楽しく会話する時間をつくり、言葉で伝えあいましょう。

- ・あいさつを習慣化しましょう。

あいさつは、心が温かくなり、家族のきずなや信頼が深まります。また、家族に「ありがとう」と素直に感謝の気持ちをあらわしましょう。



体の元気

「生活のリズムを整えましょう」

～大切な生活のリズムをお子様といっしょに考えましょう～

- ・早寝、早起きをしましょう。

睡眠は、心身の健やかな成長に欠かせないものです。早く寝る習慣を身につけましょう。また、早起きは気分もよく、一日の良いスタートがきれます。

- ・朝ごはんをしっかり食べましょう。

朝ごはんは、脳や体を目覚めさせ、幼稚園や学校での朝の活動から、脳が良い状態で取組むことができます。

- ・手洗い、うがいをしましょう。

外から帰ったら、しっかりと手洗い、うがいをする習慣を身につけ、病気にならないように、自分でこころがけましょう。



小学校 1・2 年生



小学校1・2年生ってどんな時期？

いろいろなことに興味・関心を持ち、何でも知りたがります。
一人では、学習の内容や方法を決めることはまだ難しい時期です。
「早寝・早起き・しっかりとバランスのとれた朝ごはん」などの基本的な生活習慣を身につけましょう。
できたことは、まわりの大人が、しっかりと褒めてあげることで、自信と意欲が育まれます。

目標：基本的な学習習慣を身につけよう！

家庭での学習時間のめやす 20分～30分位

「家でも勉強する」という習慣を身につけましょう。
学習する部屋など、「いつも決まった場所」をつくりましょう。
家の人と一緒に学習内容ややり方を決めましょう。



家庭で学習をする前に

- ・きちんと身の周りの整理整頓をしましょう。
- ・学校からの宿題やプリントは家の人と一緒に確かめましょう。
- ・何時まで学習するか、どこまで学習するか、目標を立てましょう。

ご協力いただきたいポイント！

テレビを見る時間や番組を、家族で相談して決めましょう。
宿題は最後までやりとげましょう。
保護者が確認してください。
周りの大人が子どもの見本となるような学ぶ姿勢を見せましょう。
家族の姿が見え、言葉を交わし合える温かい環境で学習しましょう。

生活

- ・家での手伝いをしっかりしましょう。
- ・休日には、家族で地域の行事に参加しましょう。
- ・家族で「食事」「就寝」などの時間を決め、生活のリズムを整えましょう。
- ・進んで気持ちよくあいさつしましょう。

小学校 3・4 年生



小学校3・4年生ってどんな時期？

いろんなことに興味を示し、行動範囲も広がってきます。
自分でやろうとすることが増えてきますが、まだ家族の助けは必要です。
「早寝・早起き・しっかりとバランスのとれた朝ごはん」などの基本的な生活習慣を身につけましょう。
家族からの温かい声かけや励ましの言葉が、子どもの意欲を起こさせます。

目標：自分から学習する習慣を身につけよう！

家庭での学習時間のめやす 40分～60分位

家族で学習を始める時間をいっしょに決めましょう。
子どもの学習に関心を持ち、がんばりを褒めましょう。
学校からの配布物などは必ず家族にわたす習慣を身につけましょう。



家庭で学習をする前に

- ・学習する場所の整理整頓をしましょう。
- ・今日の宿題を自分でたしかめましょう。
- ・学習を何時までに終わるか、目標を立てましょう。

ご協力いただきたいポイント！

家族のテレビの見方や、携帯電話の使い方などにもきまりを設けましょう。
宿題以外の学習にも取り組むよう声かけをしましょう。
家事を分担し、自分から進んで行う気持ちを育てるようにしましょう。
学習内容が、子どもに合った内容や量であるか確認しましょう。

生活

- ・テレビやゲームの時間などのきまりをつくり、けじめをつけましょう。
- ・地域の行事などに参加し、感じたことなどを家族で話をしましょう。
- ・辞書や図鑑などを使って、知りたいことを調べましょう。

小学校 5・6 年生



小学校5・6年生ってどんな時期？

子どもは、自分のことを認めてくれているか、大切にされているかなど、大人からの評価が気になります。
得意な教科や苦手な教科を意識するようになります。
人と比較したり、自分を客観的に見つめたりするようになります。
家族や周りの大人のアドバイスが、子どもたちの学習についての意欲・興味・関心に影響を及ぼします。

目標：自分で予定を立て学習を進めよう！

家庭での学習時間のめやす 75分～90分位

計画を立てて、自分の力で学習を進めましょう。
今一度生活習慣を見直し、自分に合った生活リズムをつくりましょう。
一日の予定を立て、時間を有効に使いましょう。



家庭で学習をする前に

- ・学習する場所の整理整頓をしましょう。
- ・宿題を自分で確かめ、やる順番も自分で決めましょう。
- ・何時までに学習を終えるか、目標を立てましょう。

ご協力いただきたいポイント！

計画を立て、自力で学習を進めるように見まもりましょう。
新聞やテレビのニュースなどについて、家族で話をしましょう。
インターネットの利用には、家族でルールをつくりましょう。また、フィルタリングソフトを利用するなど有害サイトから子どもを守りましょう。

生活

- ・適切に睡眠をとるとともに、栄養のバランスのとれた食事を取りましょう。
- ・読んだ本について、家族で話し合い、自分の考えを深めたり、広めたりしましょう。また、家族で将来の夢や目標などについても話し合いましょう。

中学校 1・2 年生



中学校1・2年生ってどんな時期？

思春期の始まる時期で、不安や悩みを持ちやすくなります。
家族に依存したいという気持ちと、家族に依存したくないという気持ちが混在する時期です。
仲間や友達の影響を強く受けます。また、大人に反抗的になったりもします。
学習と部活動などを両立させ、有意義に中学校生活を過ごすことが大切です。

目標：計画的で継続的な学びを進めよう！

家庭での学習時間のめやす 90分～120分

教科書やノート、プリントを使って、授業の復習をしましょう。
学習の課題を定め、計画的に学習しましょう。
分からないところは自分から進んで質問しましょう。



家庭で学習をする前に

- ・学習する場所や時間、教科を決めて、計画的に学習しよう。また、毎日、具体的な目標を立て、時間を有効に使おう。
- ・学校の時間割に合わせて、予習や復習をしよう。

ご協力いただきたいポイント！

インターネットや携帯電話の使用など、家庭での生活について、家族で話し合い、ルールをつくるのが大切です。
周りの大人の行動に影響を受けます。子どもの見本となる行動をとらしましょう。
日頃より、子どもとしっかりと会話をし、学習や部活動で子どもが悩んでいるときは、アドバイスをしましょう。

生活

- ・学校で使用する学習道具などは、自分でしっかりと管理・整理をして、身の周りを整えよう。
- ・清掃やボランティアなど地域の活動や行事に積極的に参加しよう。

中 学 校 3 年 生



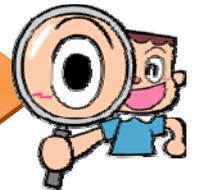
中学校3年生ってどんな時期？

自分の将来のことについていろいろと考え、自ら進路選択する人生の節目の時期です。「やらなければいけない」と理解していても、思うように学習が進まないことがあり、気持ちが不安定になることもあります。学校から正しい進路の情報を得て、家族で、進路について話す機会を多く持ちましょう。

目標：目標を明確にし、進路に向けて取り組みましょう！

家庭での学習時間のめやす 2時間～3時間

教科書やノート、プリントを使って、授業の復習をしましょう。
学習の課題を定め、計画的に学習しましょう。
分からないところは自分から進んで質問しましょう。



家庭で学習をする前に

- ・学校の先生から、自分にあった学習方法をアドバイスしてもらいましょう。
- ・定期テストや小テストなどの日程をスケジュールに書き込み、計画的に学習しましょう。

ご協力いただきたいポイント！

進路について話し合う機会を多く持ちましょう。将来を見据え、はっきりとした目標を持つことで、子どものやる気が高まります。家族として、非常に気を使う時期ですが、可能な限り声をかけ、家庭学習に関わっていきましょう。

生活を見つめ直そう！



部活動を引退すると、家庭で生活する時間が長くなります。そのため、テレビを見る時間やインターネット・携帯電話を使用する時間が長くなるきっかけとなり、生活のリズムが乱れることにつながります。テレビやゲーム、メールの時間などは、家族でルールを決めて確認しましょう。また、以前より分担している家事を継続して行うなど、規則正しい生活習慣を続けることが大切です。

中学校3年生家庭学習のポイント！

- ・3年生の学習内容は、1・2年生の学習内容を踏まえてのものです。新たに学習する内容とともに、1・2年生の内容についても復習する必要があります。
- ・その日に学習した授業を振り返り、分からなかったことや、詳しく知りたいことは、教科書や資料集などで確かめて学習しましょう。
- ・希望する進路の実現に向けて、基礎・基本の復習に取り組みましょう。
- ・学校での定期テストや実力テストにむけて、予定を立てて、計画的に学習しましょう。
- ・高等学校などの学校説明会や学校見学会に積極的に参加し、目標について具体的にイメージをしましょう。
- ・国語の漢字や英語の単語、数学や理科の公式などは、繰り返し書いて覚えましょう。
- ・社会や理科の重要語句や用語を、ノートにまとめたりして整理して覚えましょう。
- ・学習した内容は、忘れる前に繰り返し反復することで、より確実な定着がはかれます。
- ・部活動を引退したら、気持ちを切り替えて学習に臨みましょう。



ポイント！



保護者のみなさまへ



子どもたちの健やかな成長のためには、保護者・学校・行政が協力し合っていくことがとても大切です。教育委員会や学校では、授業力の向上や幼・小・中学校の連携等の取組を進めています。詳しくは、高石市ホームページにまとめているのでご覧ください。

【お問い合わせ】

高石市教育委員会事務局 教育指導課

TEL 072-265-1001 FAX 072-262-1794

平成24年3月 高石市教育委員会

学校におけるICT機器の活用について

2学期の学習活動におけるICT機器の活用状況

ICT機器の整備から1年が経過し、PC教室外での活用が定着してきている。2学期の学習活動における機器の活用状況は、昨年に比べても微増となり、小・中学校平均で300時間を超えている。

書画カメラ等による教材の提示、パワーポイントで作成した教材やインターネットを介したデジタル教材の提示など視覚に働きかける形での活用や、自分の考えを書いたノートやプリントを書画カメラによりテレビに映す、パワーポイントで作成した資料をプロジェクターで映して発表する活動も増えている。

支援学級や通級指導での活用や健康教育や食育の授業、委員会活動等でも活用される事例が増えている。

	平成21年度調査	平成22年度調査	平成23年度調査	
PC教室	50時間	70時間	ジャストスマイルを活用した活動（小学校） 東京書籍のソフトを使ったドリル学習 インターネットを活用した調べ学習 パワーポイントを用いた発表資料作成及び発表 エクセルを用いた表計算の学習（中学校） ソフトを用いたアニメーションの作成（中学校）	80時間
PC教室外	10時間	190時間	書画カメラ・デジタルテレビを用いた提示 東京書籍のソフトを使ったドリル学習 パワーポイント教材を使った指導 デジタル教材の提示（フラッシュカード・動画等） パワーポイントを用いた発表資料作成及び発表 電子黒板によるデジタル教材の活用 （英語ノート・パワーポイント教材等）	230時間

平成 23 年度「学力向上担当者会」実施状況

資料

	日 時	内 容	場 所
1	5月25日(水) 13:30~	大阪府の学力についての観点 高石市の学力についての観点 DVD「確かな学力をはぐくむ3」の紹介	市立教育研究センター
2	9月30日(金) 13:30~	(平成23年度市町村教育委員会指導主事全体会に参加) 大阪府学力・学習状況調査から見える課題と改善の方策 大阪版の学力向上の取組をどう進めていくか	もと飛鳥 人権文化センター
3	12月2日(金) 15:30~	学力・学習状況調査の結果からみた各学校の課題や取組み 成果の紹介 学力・学習状況調査の結果の分析と取組みの推進について	市立教育研究センター
4	1月20日(火) 15:30~	「高石の子どもたちの学力向上に向けて」の確認 大阪府学力・学習状況調査の結果の分析方法について	市立教育研究センター
5	2月13日(月) 15:00~	(平成23年度ランチ授業改善フォーラムに参加) 校内研究の取組の発表及び交流	泉佐野市立 社会福祉センター
6	2月22日(水) 13:35~	小学校の研究授業参観・参観後の研究協議	取石小学校

【人権教育】

《研修会等》

1. 平成 23 年度高石市人権教育担当者連絡会

- 第 1 回 平成 23 年 5 月 20 日（金）午後 3 時 30 分～4 時 55 分
「人権教育担当者の役割について」中学校区別ワーキング
各校の人権教育担当者による今年度年間計画についての交流
- 第 2 回 平成 23 年 9 月 12 日（月）午後 3 時 40 分～4 時 55 分
日本に暮らす外国人の人権について
諸課題に対するための方策
- 第 3 回 平成 23 年 11 月 2 日（水）午後 3 時 30 分～5 時
「子どもの人権・女性の人権～DV と子どもの虐待～」(人権教育研修会と同時開催)
- 第 4 回 平成 24 年 2 月 2 日（木）午後 2 時 45 分～4 時 55 分
「持続可能な開発と人権」(人権教育研修会と同時開催)
- 第 5 回 平成 24 年 2 月 20 日（月）午後 4 時～4 時 55 分
グループダイナミックス（集団力学）について
来年度の取組について

2. 平成 23 年度高石市人権教育研修会

回	日 時	内 容
1	平成 23 年 6 月 16 日(木) 午後 3 時 40 分 ～ 午後 5 時	講演 「同和問題学習を進めるために」 講師 高石市教育委員会 末本 裕喜
2	平成 23 年 7 月 21 日(木) 午後 2 時 30 分 ～ 午後 4 時 30 分	講演 「高等教育機関から見た支援教育 二次障がいを防ぐためには」 講師 プール学院大学 学生支援センター 松久 眞実 氏 高石市支援教育研修講座と同時開催
3	平成 23 年 8 月 1 日(月) 午前 10 時 ～ 午前 12 時	演習 「虐待の未然防止と早期発見、初期対応」 講師 大阪府スクールソーシャルワーカー 辻本 尚美 氏 生徒指導研修会と同時開催

4	平成 23 年 11 月 2 日(水) 午後 3 時 30 分 ~ 午後 5 時	演習 「子どもの人権・女性の人権～DV と子どもの虐待～」 講師 CFCW(子どもと女性のためのカウンセリング・ルーム) 亀井 明子 氏
5	平成 23 年 1 月 20 日(金) 午後 3 時 30 分 ~ 午後 5 時	演習 「持続可能な開発と人権」 講師 開発教育協会、ESD - 関西 浜本 裕子 氏

《作成物等について》

1. 人権標語・ポスターの募集
2. 標語・ポスターの人権週間展示について
3. 高石市立学校園人権作文集「わたしにもいわせて」
4. 「人権尊重のまちづくりを市民の力で
5. 高石市人権教育実践集の作成

【道徳教育】

《研修会等》

1. 高石市道徳教育研修会（年5回開催）

実施要項

1. 目的

学校における道徳教育の要となる「道徳の時間」の授業実践を通して、児童・生徒の「学ぶ意欲」と学力の基礎を高め、授業の構成要素及び在り方を探ることを目的とした授業研究を行い、大阪府教育委員会・大阪府教育センター等との連携のもと授業力の向上を目指すことを目的とする。

2. 実施内容

・「道徳の授業」に着目した授業研究

「読み物資料」の読みを中心とした研修を行い、「道徳の時間」の授業作りの具体的な実践力を養う。

大学教授等との連携

・効果的な研究協議の在り方について研修

授業研究を通して「授業力」についての共通理解を深め、授業改善の振り返りを行う。

授業者への依頼。学校との連携。

3. 計画一覧

「高石市道徳教育推進教師等連絡会」の実施（1学期に1回程度開催）

対象 道徳教育推進教師等

平成23年度は、読み物資料のワーキングや模擬授業を実施。

	日時・内容	講師	場所
第1回	9月1日(木) 15時~17時 「読み物資料の読み方について」 ワーキングによる小・中学校の道徳の読み物資料の分析	高石市教育委員会 指導主事	高石市役所 本館 2F 正庁会議室南
第2回	9月26日(月) 15時~17時 「読み物資料の読み方について」 ワーキングによる小・中学校の道徳の読み物資料の分析	高石市教育委員会 指導主事	高石市役所 本館 2F 正庁会議室南
第3回	10月5日(水) 15時~17時 「読み物資料の読み方について」 小・中学校の道徳の読み物資料をもとにした授業例の解説を行い、道徳の時間の授業について考えました。	高石市教育委員会 指導主事	高石市役所 本館 2F 正庁会議室南
第4回	11月7日(月) 15時~17時 「読み物資料の読み方について」 小・中学校の道徳の読み物資料をもとにした授業例の解説を行い、道徳の時間の授業について考えました。	高石市教育委員会 指導主事	高石市役所 本館 2F 正庁会議室南

<p>第 5 回</p>	<p>12月6日(火) 15時~17時 「読み物資料の読み方について」 受講者による中学校の道徳の読み物資料をもとにした模擬授業を行い、その後、指導主事による解説を行い、道徳の時間の授業について考えました。</p>	<p>高石市教育委員会 指導主事</p>	<p>高石市役所 本館 2F 正庁会議室南</p>
----------------------	---	--------------------------	-----------------------------------

中学校 武道の授業の安全な実施について

武道は、武技、武術などから発生した我が国固有の文化であり、その考え方を理解し積極的に取り組むことで、礼法などの伝統的な行動の仕方を身に付け、相手を尊重する心を育むことを重視しています。また、新学習指導要領では中学校で、武道をすべての生徒に履修させる領域になったことから、これまで以上に安全の確保に留意することが必要です。

武道（剣道・柔道）の授業で実技指導を実施する際は、以下のような配慮等を行い、事故防止に努めてください。

武道（剣道・柔道）全般についての安全確認事項



武道場や体育館に危険な物や不要な物が無いかどうか確認する。

武道場や体育館の温度や湿度、換気などの状態が適切かどうかを確認する。

特に、熱中症対策は十分に行う。

（別紙資料「熱中症予防運動指標」を参考にする。）

武道の特性や考え方を十分理解させ、相手を尊重し、安全への意識を高めさせる指導を徹底する。

段階的な指導や運動経験、技能レベル、体重、体格などに配慮した指導を実施する。

生徒どうしが衝突しないように配慮するなど、常に人数を確認し、安全に活動させる。

危険な動作や禁止している技などを用いないように、指導を徹底する。

発生しやすいけがや事故などについて、具体例などを提示して生徒に理解させる。

生徒が体調の変化があったときに、自分ですぐ申し出るように事前に十分指導を行う。

授業中や授業の前後における生徒の様子（健康・行動など）を十分に見まもる。

緊急時の対応について、「事故対応マニュアル」や「緊急連絡体制」などを必ず作成し、迅速に対応できるようにしておく。



剣道の安全点検項目

体育館や剣道場の床面に破損や汚れ等はありませんか。
 危険な物や不要な物が落ちていませんか。
 竹刀に破損やささくれ（竹刀の表面が剥がれた状態）はありませんか。
 先皮の破れ、中結の位置、弦のゆるみはありませんか。
 防具に破損はありませんか。
 生徒は、防具を正しく着用していますか。
 生徒の手足の爪は伸びていませんか。



柔道の安全点検項目

柔道場の畳の表面に破損や汚れ等はありませんか。
 危険な物や不要な物が落ちていませんか。
 畳は隙間なく敷かれていますか。
 畳が動いたり、浮き沈みがあったりしませんか。
 生徒の手足の爪は伸びていませんか。
 生徒は、柔道着を正しく着用していますか。



生徒の健康観察のポイント



生徒の健康状態には、授業開始前、授業中、授業終了後と、常に注意を払うことが必要です。また、呼吸数や脈拍の観察については、生徒にとって自己の体調を整え、自らその変化に気付く機会となります。
 日頃より体調に変化があるときは、指導する教員だけではなく、生徒どうしがお互いに声をかけ相談できる雰囲気作りをしましょう。

全体的な様子	症 状	呼 吸	表 情
疲れている。 だるそうである。 発熱がある。 食欲がない。 吐き気がある。 意識がなくなる。 めまいがする。 けいれんがある。 など	頭痛がある。 胸痛がある。 腹痛がある。 など	息が荒い。 ため息が多い。 咳が多い。 ぜいぜいしている。 肩を上下して呼吸している。 など	顔色が白い。 静脈が浮いて見える。 まぶたが腫れている。 目の充血 唇の色が悪い。 など



高石の支援教育・7

冬季補充授業



高石中学校



平成23年度
冬季補充授業

12月26・27日実施

高石中学校の支援学級



高石中・支援学級冬季補充授業



高石中・支援学級冬季補充授業



高石中・支援学級冬季補充授業



高南中・支援学級冬季補充授業



高南中・支援学級冬季補充授業



高南中・支援学級冬季補充授業

高南中学校



平成23年度
冬季補充授業

12月26日実施

取石中学校の支援学級



高石中学校の内村先生と松尾先生

安田校長の話

冬季休業期間中においても、本校では学習支援を進路保障のコンセプトの一つとしてとらえ実施しています。基礎学力の定着、学力向上につながるよう考えています。



高南中学校の永田(晴)先生と永田(真)先生

白井校長の話

冬季休業期間中に補充授業を実施することは、生徒の学習意欲を向上させる一つのインセンティブであり、それが基礎・基本の定着と学力の向上につながると考えています。

平成23年度「SSW活用ケース会議」実施状況

資料

小学校7校中 5校（平成22年度は3校）

中学校3校中 1校（平成22年度は0校）

平成23年度「生徒指導についての研修」実施状況

資料

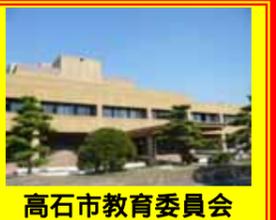
実施日	研修名・内容	講師
8月1日（月） 10：00～ 12：00	「虐待の未然防止と早期発見、初期対応」 学校における虐待対応のポイントを、想定事例 を使って考える研修会	大阪府スクールソーシャル ワーカー 辻本 尚美 氏
8月4日（木） 10：00～ 12：00 13：30～ 15：30	「子ども理解のための研修会」 ピア・サポートを活用した、いじめ・問題行動 等への理解と対応についての研修会	奈良教育大学 教職大学院 教授 池島 徳大 氏
8月5日（金） 14：00～ 16：00	「つれづれの会全体会」 様々な課題を抱える児童生徒への関わり方を、 事例検討を通して学習する研修会	高石市スクールカウンセラー 齋藤 恵子 氏
8月19日（金） 10：00～ 12：00 13：30～ 15：30	「子ども理解のための研修会」 不登校・学校不適應になっている児童生徒への 理解と支援についての研修会	追手門学院大学 心理学部 教授 三川 俊樹 氏
8月26日（金） 14：00～ 16：00	「子ども理解のための研修会」 支援を要する児童生徒の理解と支援について、 疑似体験を通じて学ぶ研修会	大阪府スクールカウンセラー 梶 真美 氏
1月27日（金） 15：00～ 17：00	「学校問題研修会」 今の子どもたちを取巻く社会環境について学 び、大人としての関わりを考える研修会	東大阪大学 学長 一色 尚 氏

平成23年度「不登校対策連絡協議会・ヒアリング等」実施状況

実施日・実施期間	内 容
4月20日(水)	<p>「第1回 不登校対策連絡協議会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 市内小中学校生徒指導・不登校担当教員 ・内容 学校における不登校対応(校内体制・チーム支援等) 市教育委員会との連携について
5月16日(月) ~ 5月27日(金)	<p>「1学期不登校ヒアリング」</p> <p>新年度の各校の生徒指導・教育相談体制と前年度の不登校児童生徒の新年度始めの動向について</p> <p>市内全小中学校を高石市立教育研究センター所員と教育指導課担当指導主事が訪問し、ヒアリングを実施する。</p>
6月29日(水)	<p>「第2回 不登校対策連絡協議会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 市内小中学校生徒指導・不登校担当教員 ・内容 課題を抱えた児童生徒への対応、関係機関との連携 長期休業期間中の不登校児童生徒への関わり
9月26日(月) ~ 10月7日(金)	<p>「2学期不登校ヒアリング」</p> <p>長期休業期間中及び学期始めの児童生徒の動向と校内での今後の対応について</p> <p>市内全小中学校を高石市立教育研究センター所員と教育指導課担当指導主事が訪問し、ヒアリングを実施する。</p>
11月28日(月)	<p>「第3回 不登校対策連絡協議会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 市内小中学校生徒指導・不登校担当教員 ・内容 不登校未然防止の取組みについて 各学校での取組みについて(情報共有)
1月30日(月) ~ 2月10日(金)	<p>「3学期不登校ヒアリング」</p> <p>今年度のこれまでの不登校児童生徒の動向と長期欠席児童生徒の年度未及び年度始めの対応について</p> <p>市内全小中学校を高石市立教育研究センター所員と教育指導課担当指導主事が訪問し、ヒアリングを実施する。</p>
2月28日(火)	<p>「第4回 不登校対策連絡協議会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 市内小中学校生徒指導・不登校担当教員 ・内容 不登校等課題のある児童生徒の円滑な引き継ぎと個別の課題に応じた支援の継続について 中学校区での取組みについて(情報共有)

平成23年度 幼小連携・9

授業交流



羽衣小学校『羽衣祭』に参加して

平成24年2月3日(金)実施
羽衣幼稚園年長組担任 松村 香子

数日前より「小学校の羽衣祭楽しみやなあ。」「私のお姉ちゃんの所は魚釣りやねん。」「スライム作れるって言った。」と兄弟のいる子ども達が話してくれ、とても楽しみにしていました。

当日、初めに案内してもらったのは今まで数回交流してもらっている1年生のスライム作りコーナーでした。順番待ちの所からお世話してもらい、緊張しながらも作りたい色を決めじっと待つ様子は憧れの眼差しであふれていました。「魔法の水入れるから混ぜてね。」と言って一緒にしてもらい不思議に思いながらも喜び一杯の子ども達でした。また昨年も年長組を担当していた私にとって、去年の経験を生かし落ち着いて接してくれている1年生を見て、嬉しく思う一時でした。

2年生・3年生のクラスもそれぞれにとっても工夫されていて、優しく関わってもらいました。難しいゲームもあるのですが、幼児が楽しみやすいように、思いやりの気持ちが沢山伝わってきました。

「当たり！上手やね。」と褒めてもらって手作りの工夫された景品をもらった時の喜びは笑顔一杯、楽しい時間があっという間に過ぎました。

園に帰ってからいろいろな景品を互いに見せ合い「お兄ちゃん、お姉ちゃん優しかった。」「もっと一杯遊びたかった。」と話していました。そして、来年のことを思いながら、1年生になる期待を膨らませている子ども達でした。

いい経験をさせて頂き感謝で一杯です。

羽衣幼稚園



羽衣小学校



羽衣幼と羽衣小の授業交流の様子



2月3日・実施

授業交流の結果として、子どもたちの「学習の基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着と向上」が成果としてあらわれることを目的に実施しています。

羽衣小学校『羽衣祭』に参加して 平成24年2月3日(金)実施

高石市立羽衣幼稚園 初田園長

年長組が招待されました。行くと3人の先生たちが待っていてくれ子どもを3グループに分け、連れて行ってくださいました。1年から3年までの各クラスの催し物に参加しました。スライム・迷路・いろいろなゲーム・それぞれに工夫を凝らしその組の子どもたちが関わって教えてくれたり、1対1の担当でゲームの点数を合計し景品を渡すまで面倒を見てくれたりします。

きっと学校の先生方のねらいなのだろうと思いました。コミュニケーションがとれないと進行できない遊びになっているからです。すごいなと思いました。

年長組は、手作りのたくさんのお土産を持って「楽しかった！」と大喜びで帰ってきました。最後に、小学校の先生に「来年待っているね」と言われ「うん！」「はい！」と恥ずかしそうにそして大きな声で答えていました。

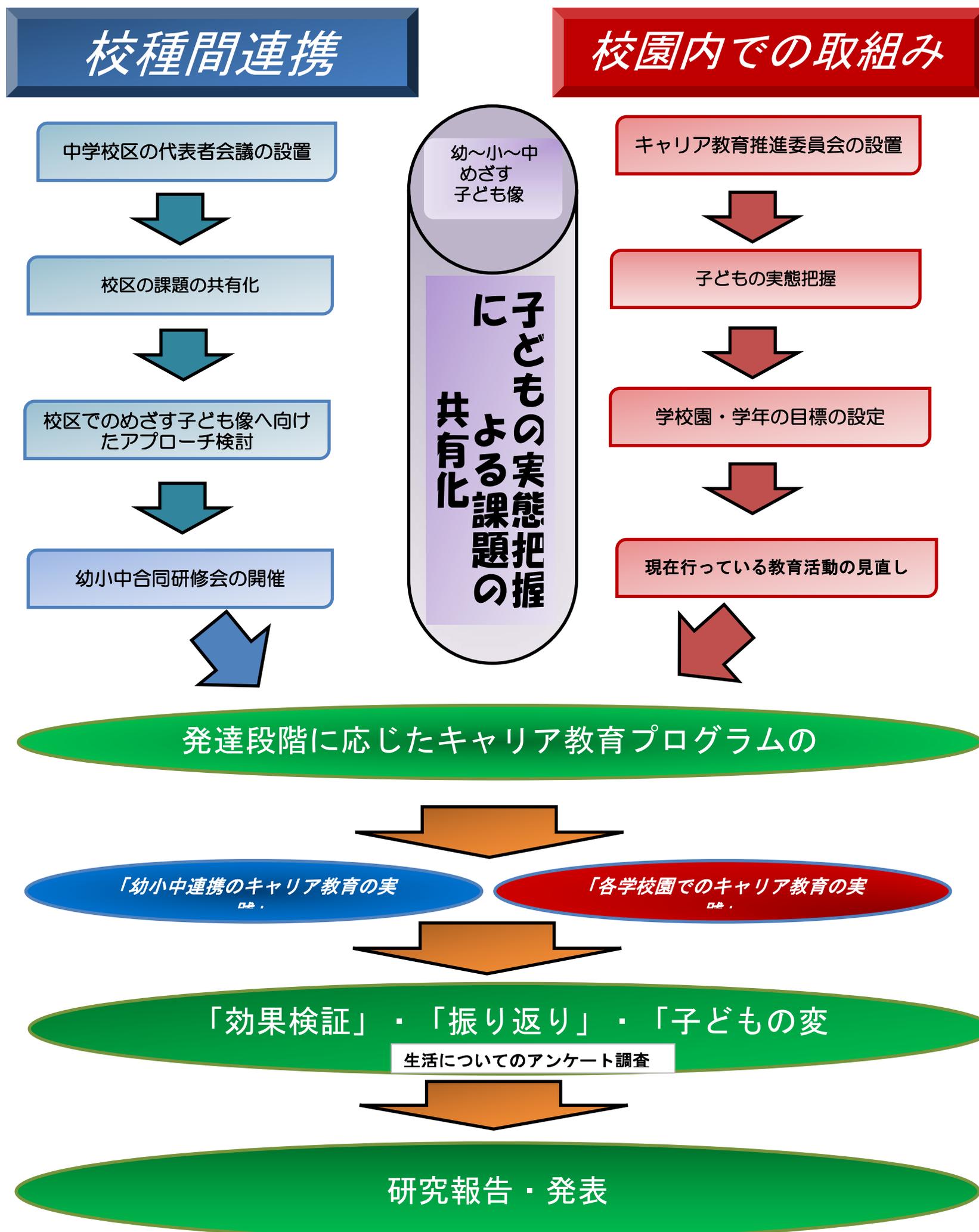
4年から6年生のクラスの子も達もしきりに誘いに来てくれましたが、9時～10時15分までだったので行けなくて残念でした。



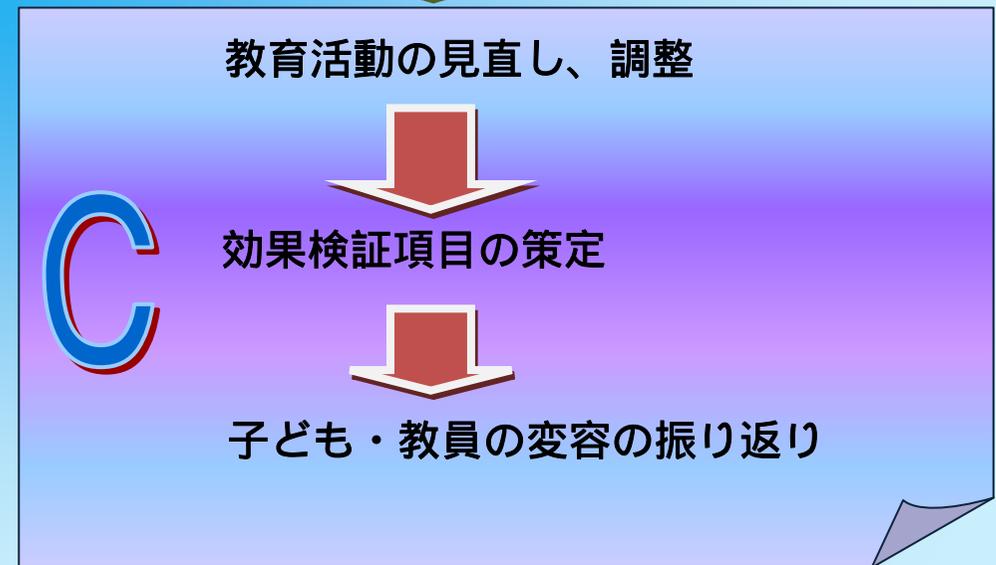
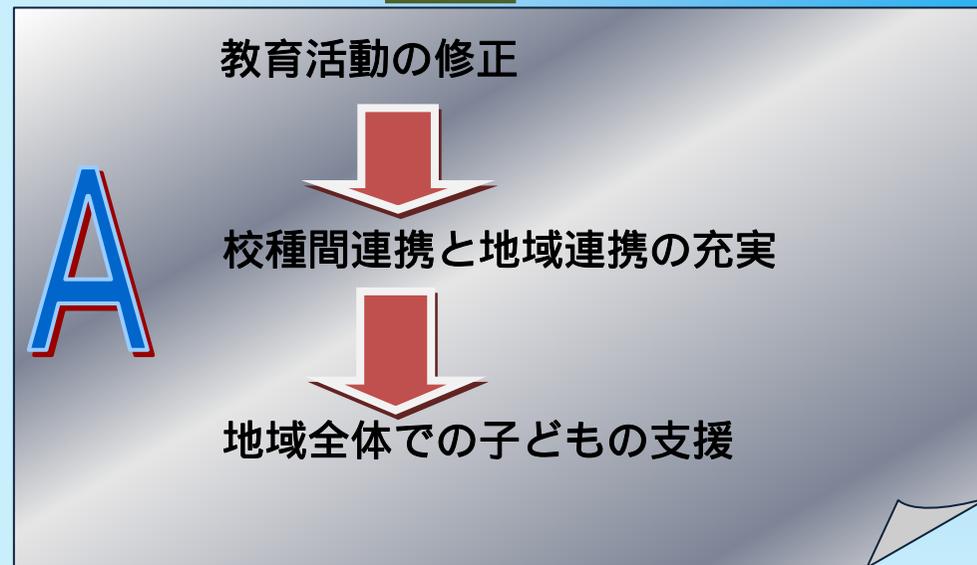
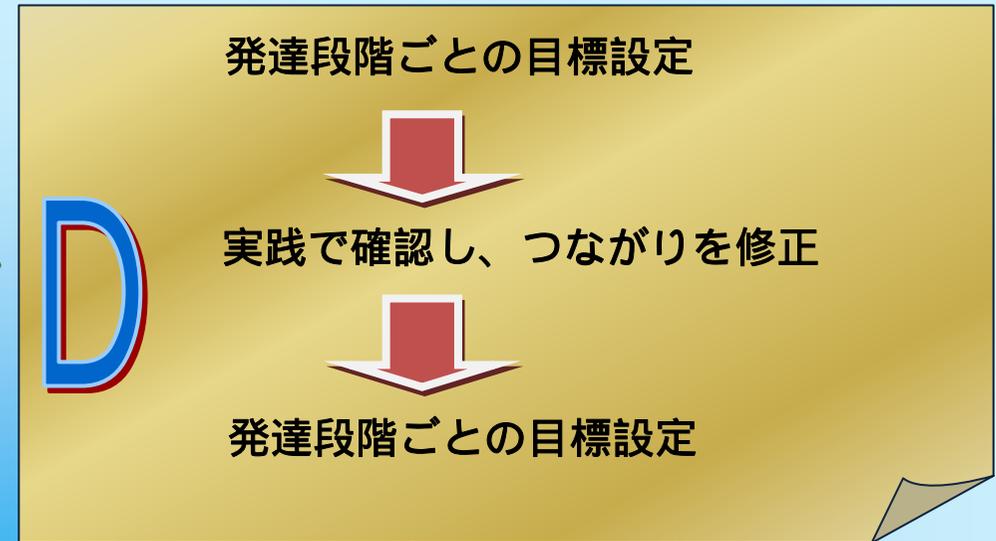
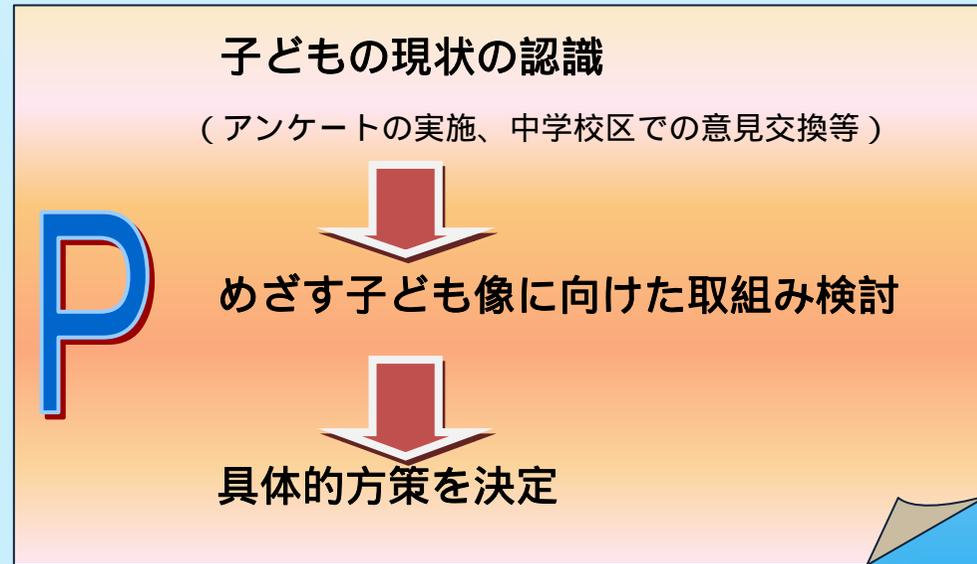
	高石幼稚園	羽衣幼稚園	高陽幼稚園	北幼稚園	加茂幼稚園
学力向上、学習習慣・生活習慣づくりの取組	<ul style="list-style-type: none"> 園内研講師に、三川教授（シェアリング）、河部先生（読書） 地区研による保育指導研修及び教育課程検討 3市1町保育研修会・主査研等への参加 毎日の保育記録作成及び記録に基づく毎週の職員会 生活実態調査アンケートの実施による幼児及び家庭状況の把握、食育 年長児によるクッキングの材料買い出し 	<ul style="list-style-type: none"> 三川教授の園内研（シェアリング等） 地区研による保育指導研修及び教育課程検討 3市1町保育研修会・主査研等への参加 毎日の保育記録作成及び記録に基づく毎週の職員会 生活実態調査アンケートの実施による幼児及び家庭状況の把握、食育 	<ul style="list-style-type: none"> 園教諭による高陽小学校訪問時に「しつけ」「学習規律」「保護者対応」等の協議 高陽小教諭による園訪問時に「しつけ」「学習規律」「保護者対応」等の協議 園内研講師に、三川教授（幼児理解）、野沢先生（保育）、山本先生（保育）、森本先生（体育） 地区研による保育指導研修及び教育課程検討 3市1町保育研修会・主査研等への参加 毎日の保育記録作成及び記録に基づく毎週の職員会 生活実態調査アンケートの実施による幼児及び家庭状況の把握、食育 ピカピカデーの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 園内研講師に、三川教授（幼児理解）、中先生（体育） 地区研による保育指導研修及び教育課程検討 3市1町保育研修会・主査研等への参加 毎日の保育記録作成及び記録に基づく毎週の職員会 生活実態調査アンケートの実施による幼児及び家庭状況の把握、食育 	<ul style="list-style-type: none"> 園内研講師に、野沢先生（保育）、山本先生（保育）、畑辺先生（絵画） 地区研による保育指導研修及び教育課程検討 3市1町保育研修会・主査研等への参加 毎日の保育記録作成及び記録に基づく毎週の職員会 生活実態調査アンケートの実施による幼児及び家庭状況の把握、食育
	取組度【 B 】	取組度【 B 】	取組度【 A 】	取組度【 B 】	取組度【 B 】
	取組度の評価について	取組度の評価について	取組度の評価について	取組度の評価について	取組度の評価について
園内研修等による経験の浅い教職員への指導は確実に実施しているが、今後はさらに小・中学校との協議等を通じた取り組みに課題がある。	園内研修等による経験の浅い教職員への指導は確実に実施しているが、小・中学校との連携による取組みの推進に課題がある。	多岐にわたる研修を充実し、させている。また、小学校との連携の中でも向上に向けての取組みを進めている。	園内研修等を実施しているが、小・中学校との連携による取組みの推進に課題がある。	園内研修等は充実しているが、小・中学校との連携による取組みの推進に課題がある。	
子どもたちの交流の取組	<ul style="list-style-type: none"> 高石小学校の秋のお店屋さん、おまつり、人形劇観賞、給食試食、見学会への参加 保育体験…高石中、高南中、取石中 小学校運動会への参加 中学校の職業体験による交流 小学校へ親子見学会 	<ul style="list-style-type: none"> 年長組と1年生の交流会 羽衣小学校の「羽衣祭」への年長組の参加 他園、保育所、羽衣学園吹奏楽部との交流 小学校運動会への参加 中学校の職業体験による交流 小学校へ親子見学会 	<ul style="list-style-type: none"> 年長組が高陽小学校で給食体験 高南中学校、東陽中学校との交流 小学校運動会への参加 中学校の職業体験による交流 小学校へ親子見学会 	<ul style="list-style-type: none"> 羽衣学園吹奏楽部による演奏 移動動物園（府立農芸高校） 小学校運動会への参加 中学校の職業体験による交流 小学校へ親子見学会 	<ul style="list-style-type: none"> 清高小学校教諭の来園時、音楽による交流 小学校運動会への参加 中学校の職業体験による交流 小学校へ親子見学会
	取組度【 A 】	取組度【 B 】	取組度【 B 】	取組度【 B 】	取組度【 B 】
	取組度の評価について	取組度の評価について	取組度の評価について	取組度の評価について	取組度の評価について
中学校との交流も実施しているが、特に高石小学校との交流が多様であり、充実している。	小学校との交流は進んでいる。しかし、中学校とは職業体験の受け入れ以外の交流に課題がある。	中学校区の各小学校、中学校との交流が充実しているだけでなく、泉大津の中学校とも交流がある。	小学校との交流は進んでいる。しかし、中学校とは職業体験の受け入れ以外の交流に課題がある。	多くの子どもたちの進学先である加茂小学校との交流に課題がある。	
教職員の交流の取組	<ul style="list-style-type: none"> 高石小学校での授業参観及び協議 高石小学校での給食体験等 新教育課程による交流 地区研の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 羽衣小学校での授業参観及び協議 新教育課程によるキャリア教育の交流 地区研の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 高陽小学校での、給食・昼休憩・授業の参観及び協議 高陽小学校から、昼食・保育体験及び協議 新教育課程による交流 地区研の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 東羽衣小学校での授業参観 新教育課程によるキャリア教育の交流 地区研の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 清高小学校教諭の来園 新教育課程による学校園長会等の交流 地区研の実施
	取組度【 B 】	取組度【 B 】	取組度【 B 】	取組度【 B 】	取組度【 B 】
	取組度の評価について	取組度の評価について	取組度の評価について	取組度の評価について	取組度の評価について
小学校との交流は進んでいるが、中学校との交流に課題がある。	小学校との交流では一部の教員同士の交流にとどまっていること、また、中学校との交流をすすめることが課題である。	小学校との交流は進んでいるが、中学校との交流に課題がある。	授業の参観にとどまらず、協議等を交えた交流を進展させていくことが課題である。	管理職等による交流、打ち合わせは進んでいるが、教職員同士の交流に課題がある。	
保護者・地域と連携した取組	<ul style="list-style-type: none"> 絵本の種、ひまわり、タップダンス ピアノシモ、琴 3歳児（未就園児）保育教室 校区福祉委員会との交流（餅つき、お楽しみ会、昔遊び等） 敬老のつどい 地震、不審者等対策の避難訓練の実施 津波時避難場所・高石小学校 屋上 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本の種、ペーパーサート、お茶会、フルートアンサンブル、高石マジッククラブ、羽衣小OB合唱クラブ、グランパスサウンド 未就園児親子見学会、3歳児親子見学の実施 地域福祉委員会との交流 見まもり隊正門パトロール、餅つき、映画のつどい、生き生きサロン参加、敬老のつどい 地震、不審者、津波、火事対策の避難訓練を高石警察等の協力で実施 羽衣国際大学による食育の実施 津波時避難場所・羽衣小学校 4階 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本の種 高石高校への避難訓練 鳳フルート、高石マジック、トーンチャイム 和泉支援による巡回指導 3歳児（未就園児）保育教室 見まもり隊との交流 敬老のつどい 地震、不審者等対策の避難訓練の実施 津波時避難場所・高石高校 4階 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本の種 マンドリン、タップダンス、フラダンス マジックショー、フルートアンサンブル 未就園児親子見学会、3歳児親子見学の実施 見まもり隊との交流（餅つき、だんじり等） 敬老のつどい 羽衣国際大学による食育の実施 地震、不審者等対策の避難訓練の実施 津波時避難場所・東羽衣小学校 4階 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本の種 和泉支援による巡回指導 老人ホームとの交流（年2回） 絵本の種、フルートアンサンブル等 3歳児（未就園児）保育教室 見まもり隊との交流 敬老のつどい 地震、不審者等対策の避難訓練の実施 津波時避難場所・加茂小学校 屋上
	取組度【 A 】	取組度【 A 】	取組度【 A 】	取組度【 A 】	取組度【 A 】
	取組度の評価について	取組度の評価について	取組度の評価について	取組度の評価について	取組度の評価について
地域の方々との結びつきが強く、保護者も行事等に積極的に関わっている。また、未就園児の来園の機会も多い。	地域の方々との結びつきが強く、保護者も行事等に積極的に関わっている。また、未就園児の来園の機会も多い。	地域の方々との結びつきが強く、保護者も行事等に積極的に関わっている。また、未就園児の来園の機会も多い。	地域の方々との結びつきが強く、保護者も行事等に積極的に関わっている。また、未就園児の来園の機会も多い。	地域の方々との結びつきが強く、保護者も行事等に積極的に関わっている。また、未就園児の来園の機会も多い。	

新教育課程推進事業 ⇒ キャリア教育による系統だった教育の充実
(高石中学校区の取組み)

めざす子ども像***** 幼稚園から中学校の期間で、キャリア発達の4領域・8能力の育成の視点から、「自己肯定感・自己有用感・自尊感情の獲得」、「職業観・勤労観の育成」、「生きる力の育成」をねらいとした系統だった子どもの育成をめざす。



キャリア教育推進事業（高石中学校区での取組P D C Aサイクル）



新教育課程推進事業：学びの系統性を活かした幼小中連携教育(高南中学校区の取組み)

- 幼稚園
- 小（低学
- 小（中学年）
- 小（高学年）
- 中学1年
- 中学2年
- 中学3年

①家庭での学習習慣の定着
 ○「家庭学習のてびき」を作成・配布すると共に、宿題・予習・復習・読書の点検や連絡帳・忘れ物・時間割等の確認を保護者に協力依頼し、家庭での学習習慣の定着に取り組む。

②家庭での基本的生活習慣の確立
 ○保護者啓発やPTA・校種間・地域コミュニティとの連携強化で、特に「早寝・早起き・朝ごはん」から始まる正しい生活リズムを定着させるなど家庭での基本的生活習慣の確立に取り組む。

③家庭での読書習慣の定着
 ○家庭において、毎日20分間程度の音読や、月に1冊の読書を定着させるなど、家庭での読書習慣の定着に取り組む。

家庭学習の充実

①授業評価・教材研究・授業改善から「分かる授業」へ
 ○授業評価(研究授業・参観授業・公開授業・出前授業・入り込み授業・交流授業等)と教材研究を通じて①記述・論述・討論、観察・実験・レポート作成等の言語活動。②授業中における思考・記述の時間の確保。③写すノートから考えを記すノートへ。④記述問題を取入れたテスト。⑤宿題の出し方の工夫などの授業改善と学ぶ楽しさ、分かる喜びを実感する個に応じた「分かる授業づくり」、「学ぶ授業づくり」を行い、読み・書き・計算等の基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、思考力・判断力・表現力等を育み、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に取り組む。

②基本的生活習慣の確立に向けた指導
 ○保護者啓発やPTA・校種間・地域コミュニティとの連携強化で、特に「早寝・早起き・朝ごはん」から始まる正しい生活リズムを定着させ基本的生活習慣の確立に向けた指導に取り組む。

③学校での読書習慣の定着
 ○学校において、毎朝15分間程度の音読や、月に1冊の読書を定着させるなど、学校での読書習慣の定着に取り組む。

④学習定着度テスト・学習到達度テスト等で学習意欲を高め、教科学力の向上に取り組む。
 ○学習のつまづきをチェックする学習定着度テストや学習到達度テストなどを実施し、根拠に基づく、個に応じた指導(個別指導、グループ別指導、繰り返し指導、習熟度別指導、宿題指導、補習指導、ICT活用指導)方法を工夫・改善し、子どもたちの学習意欲を高め、教科学力の向上に取り組む。

⑤規範意識の向上・学習規律の定着と子どもたちの「居場所」「出番」づくり
 ○集団生活上のルール・マナー(規範意識の向上)や授業中のルール・マナー(学習規律の定着)を子ども自らが順守しようとする心を養い、落ち着いた学校環境・授業環境の中で、子どもたちの「居場所」と「出番」のある授業づくりに取り組み、教科学力の向上に取り組む。

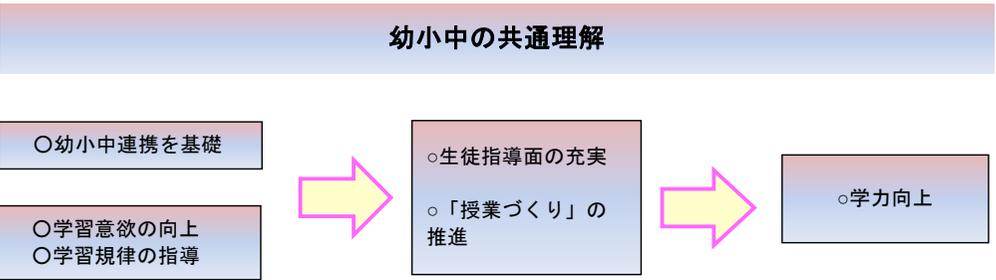
授業交流の充実

①運動会・体育大会 ②文化活動発表会 ③合唱コンクール ④水泳大会 ⑤中学校の部活動紹介
⑥小学生の中学校での学習体験 ⑦児童会生徒会 ⑧夏祭り巡回補導 ⑨地域清掃(ボランティア)
⑩中学生の幼稚園や小学校への「読み聞かせ」 ⑪合同研修会 などの交流

行事交流の充実

□構成メンバー

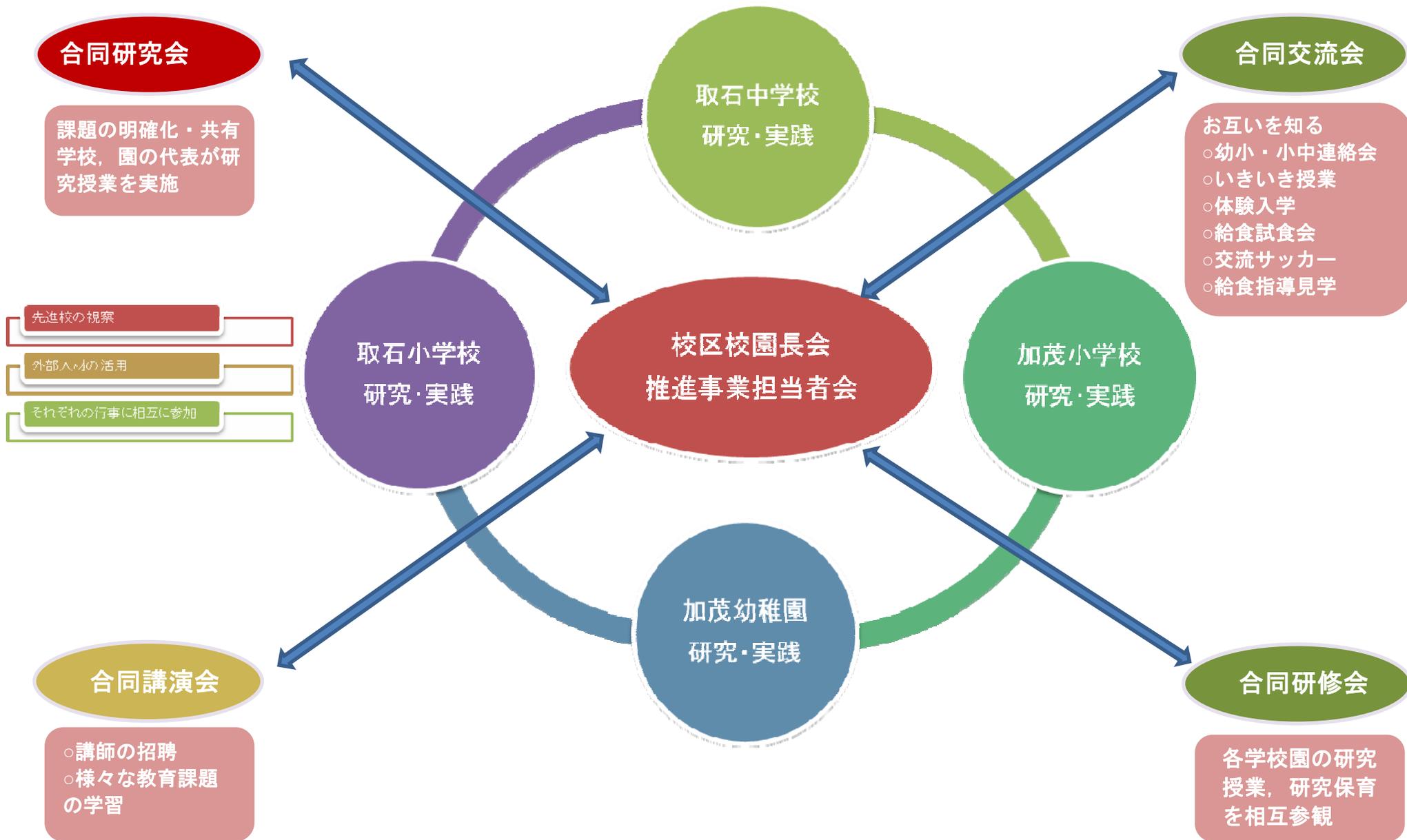
	高南中学校	高陽小学校	清高小学校	高陽幼稚園
校長	校長	校長	校長	園長
教頭	教頭	教頭	教頭	主査
幼小中連携担当	連携担当	連携担当	連携担当	連携担当
構成メンバー	教務主任	教務主任	教務主任	
	研修主任	研修主任	研修主任	
	生徒指導主事	生活指導主任	生活指導主任	
	1年学年生指			
2年学年生指				
3年学年生指				



連携の成果を上げるために

- 連携のための時間の確保
- 幼小中連携通信などの発行
- 教育課程への意図的・計画的編成
- 教職員の交流の活発化
- 児童生徒の交流の活発化

めざす 子ども像 子ども自らによる学力向上



平成23年度 高石市子ども会育成協議会 事業報告

育成協議会事業

期 日	場 所	事 業 名	内 容
4月6日	高石市役所	高石市子ども会 育成協議会登録受付	単位子ども会から育成者を2名登録 (4月20日まで受付)
5月3日	高石駅東側 駅前広場	子ども会カーニバル	ゲームコーナー・模擬店などを出店しました。 約3,000名参加 (東日本大震災義援金の募金活動を行った。)
5月27日	高石市役所	平成23年度総会	平成22年度事業・決算報告 平成23年度事業計画・予算(案)
7月17日	鴨公園グラウンド	夏季スポーツ大会	キックベースボール大会 (8チーム参加)
8月26日	株式会社銀装	企業見学会	羽衣工場見学会 (60名参加)
12月16日	高石市役所	懇親会	高石市子ども会オセロ大会について 泉北ブロック子ども会オセロ大会について 泉北ブロック子ども会研修会について 平成23年度の総括・反省について
12月中旬	高石市役所	サンタクロース衣装貸出	
2月11日	臨海スポーツセンター	アイススケート	スケートリンクを借切り、アイススケートを楽しみました。 243名参加
4月1日	フタバボウル	6年生を送る会	参加者29名



こども会育成協議会 5月 「こども会カーニバル」 高石駅東側駅前広場

平成23年度高石市青少年指導員協議会事業報告

月	日	事業・会合名	場所	内容
4	27	幹事会	中央公民館	平成23年度総会について 子ども会カーニバルの協力等について
5	3	こども会カーニバル参加	高石駅前広場	カーニバル催し協力参加
	16	総会	中央公民館	平成22年度事業報告 平成23年度事業計画(案)
	22	ふるさと村開村準備	和歌山県有田川町	炊事場他の清掃
7	1	幹事会	中央公民館	こども交流事業について 泉北ブロック青少年指導員連絡協議会研修会について
	11	青少年健全育成市民大会	アプラ小ホール	講演；「大人も子どもも共に育つ地域をめざして」 講師；神戸学院大学人文学部教授 今西幸蔵氏
	29	幹事会	中央公民館	こども交流事業について 泉北ブロック青少年指導員連絡協議会研修会について
8	24	全体会	中央公民館	子ども交流事業について 大阪府青少年指導員連絡協議会研修会について
9	10	子ども交流事業	野外活動センター	市内3中学校の生徒会役員対象 工作 石鹼アート・ペットボトル水族館 昼食 「焼きそば他」
10	5	幹事会	中央公民館	第56回市民体育大会について
	23	第56回市民体育大会	鴨公園	団体入場行進に参加
11	25	全体会	中央公民館	泉北ブロック青少年指導員連絡協議会研修会について
12	14	幹事会	中央公民館	泉北ブロック青少年指導員連絡協議会研修会について
2	4	泉北ブロック青少年指導員連絡協議会研修会	アプラホール	講演；「モンスターペアレント～地域との関係～」 講師；大阪大学大学院 人間科学研究科 教授 小野田 正利 氏
	19	泉州国際市民チャリティマラソン2012	市内コース周辺	マラソンの沿道警備
	22	幹事会	中央公民館	泉北ブロック青少年指導員連絡協議会研修会の反省等について 大阪府青少年指導員連絡協議会講演会について
3	22	全体会議	中央公民館	泉北ブロック青少年指導員連絡協議会研修会の反省等について 大阪府青少年指導員連絡協議会講演会の報告について

公民館 平成23年度実施事業表

項番	事業名	実地日若しくは実施予定日	対象	場所	募集人数	参加人数	実施回数
1	絵画教室 (毎週木曜)	平成23年6月2日～平成24年3月17日 夏休講 7月17日～8月31日 冬休講 12月18日～1月10日	小学生	中央	25	715	32
2	読書教室 (毎週金曜)		小学生	東羽衣	20	211	32
3	英会話教室 (毎週土曜)		小学生	取石	20	427	29
4	音楽教室 (毎週土曜)		小学生	羽衣	20	126	28
5	日本語よみかき教室		毎週木曜日	高石市在住在勤の外国人	中央	10	108
6	親子ふれあいリズム遊び	05月29日(日)	幼児と保護者	中央	30組	17組	1
7	マジック体験市民講座	06月11日、18日、25日・07月2日(土)	一般	中央	20	53	4
8	人形劇&バルーンアート	07月24日(日)	幼児と保護者	中央	60	44	1
9	子どもことばの表現教室	07月29日・08月5日、19日、26日(金)	小中学生	中央	20	69	4
10	骨盤体操	08月03日(水)	一般	清高	30	27	1
11	手作りTシャツに挑戦	08月03日(水)	一般	千代田	20	10	1
12	相撲味方	08月14日(日)	小中学生	中央	25	20	1
13	夏のライブ	08月21日(日)	一般	中央	120	96	1
14	竹を使った工作教室	08月28日(日)	小中学生	羽衣	30	28	1
15	スクラップブック講座	09月05日、12日、26日(月)	一般	東羽衣	20	36	3
16	初めての英語講座	09月10日、17日、24日・10月01日、15日(土)	一般	東羽衣	24	66	5
17	びっくりスイーツ親子のできる簡単レシピ	09月15日(木)	一般	取石	24	24	1
18	赤ちゃんと手作りおもちゃを作ろう	09月16日(金)	一般	中央	15	5	1
19	中学生・高校生の子育てを考える	09月24日(土)	一般	中央	36	17	1
20	親子で楽しく体を動かそう	09月29日(木)	幼児と保護者	中央	30組	30	1
21	防災:備えあれば憂いなしの安心準備	10月02日(土)	一般	千代田	50	38	1
22	万葉集を読む	10月07日～5回(金)	一般	東羽衣	20	71	5
23	歴史講座 高石浦と伽羅橋遺跡〔高石の町のルーツを探る〕	10月15日～2回(土)	一般	中央	30	27	1
24	コンサート 愛と癒しと魂の調べ	10月22日(土)	一般	中央	120	80	1
25	韓国料理	10月29日(土)	一般	取石	24	24	1
26	おむつのでコレクションケーキ(赤ちゃん用)	10月29日(土)	一般	中央	16	9	1
27	河内天笑先生の「川柳しませんか講座」	11月09日～5回(水)	一般	東羽衣	30	119	5
28	第1回健康講座 「足と健康」	11月11日(金)	一般	取石	30	26	1
29	放射線って何?	11月12日(土)	一般	羽衣	120	59	1
30	クリスマスアレンジ プリザーブトフラワー	11月20日(日)	一般	中央	20	19	1
31	ちびっこ運動会	11月25日(金)	幼児と保護者	中央	60(一般募集枠)	153	1
32	お医者さんに訊いてみよう	11月26日(土)	一般	千代田	30	20	1
33	小学生のための体験教室③ 自然の素材を使ったクリスマス工作教室	12月03日(土)	小中学生	羽衣	30	26	1
34	心暖まる宛名を手書きで	12月07日(水)	一般	清高	24	12	1
35	張子のたつ(えと)	12月16日(金)	一般	中央	25	24	1
36	小学生のための体験教室② マジック体験 マジックを見て、試して、演じて	12月17日(土)	小中学生	羽衣	20	11	1
37	フラワーアレンジメントで新たな年を祝いましょう	12月24日(土)	一般	中央	20	20	1
38	小学生のための体験教室④ ひとりで作る!フラワーアレンジメント	12月26日(月)	小中学生	東羽衣	15	14	1
39	新春ファミリーコンサート	01月07日(土)	一般	羽衣	120	91	1
40	小学生のための体験教室① (音楽定期講座と合同実施) 手作りオカリナコンサート オカリナ演奏とお話	01月21日(土)	小中学生	羽衣	60(一般募集枠)	78	1
41	パソコン研究会	01月14日(土)	一般	中央	20	20	1
42	わたしの歌作りゼミ -作詞・作曲講座-	01月14日、21日、28日	一般	千代田	15	31	3
43	街道を行く	01月20日、27日、02月2日(金)	一般	中央	30	82	3
44	パステル画講座	02月03日、17日、24日(金)	一般	千代田	20	33	3
45	市民IT講座① インターネットとは?	02月04日(土)	一般	中央	25	25	1
46	親子で学ぶクッキング 苦手野菜を食べちゃえ!	02月04日(土)	親子	取石	12組	12組	1
47	第2回健康講座 「認知機能の低下を防ごう」	02月23日(木)	一般	中央	30	32	1
48	万葉集を読む 特別講演 泉紀子先生をお迎えして	02月24日(金)	一般	東羽衣	30	24	1
49	親子で姿勢チェック 自己チェックで姿勢改善	02月25日(土)	幼児と保護者	羽衣	20組	9組	1
50	リラクソコンサート	02月25日(土)	一般	中央	120	103	1
51	市民IT講座② 災害時の携帯電話の使い方	02月25日(土)	一般	中央	25	23	1
52	「ゆめ」の人形劇冬公演	02月26日(日)	幼児と保護者	中央	70	59	1
53	わくわくキャラ弁講座	03月08日(木)	一般	取石	24	59	1
54	そば打ち体験	03月17日(土)	一般	取石	24	23	1
55	自転車は右側通行?	03月22日(木)	一般	羽衣	30	34	1
56	小学生のための体験教室⑤ 華道体験	03月24日(土)	小中学生	中央	15		1
57	アメリカンフラー	03月25日(日)	一般	中央	20		1
58	子育てサークル体験祭り	03月29日(木)	幼児と保護者	中央	自由参加		1
59	公民館クラブ交流会・発表会	01月26日(木)～29日(日)	一般	77ホール	自由参加	2224	1

平成23年度市民文化祭

事業名	日時	場所	内容	見学者
菊花展	10月26日(水) ～11月9日(水)	高石駅西側 ポケットパーク	菊花の展示	
市展	11月1日(火) ～3日(祝・木)	ギャラリー	絵画・書道 川柳・俳画	1200
		こどもプラザ	華道	735
	11月5日(土) ～7日(月)	ギャラリー	写真・手工芸・着付 短歌・俳句・随筆	687
		情報コーナー	写真(きずな)	556
		こどもプラザ	パッチワーク	417
			陶芸	369
高石市民文化祭 セレモニー	11月3日(祝・木)	アプラホール 大ホール		300
民謡・民踊大会	10時30分～16時30分		民謡・民踊の披露	500
詩吟大会	11月3日(祝・木) 10時00分～17時00分	アプラホール 小ホール	詩吟の披露	150
茶席	11月3日(祝・木) 10時30分～14時00分	アプラホール ホワイエ	来館者に呈茶	150
三曲演奏	11月6日(日) 10時00分～13時00分	アプラホール 大ホール	箏・尺八・三絃の演奏	350
日本舞踊	11月6日(日) 14時00分～16時30分	アプラホール 大ホール	日本舞踊の披露	350
茶席	11月6日(日) 10時30分～14時00分	アプラホール ホワイエ	来館者に呈茶	150
文化講演会	11月9日(水) 開場13時30分 開会14時～16時	アプラホール 小ホール	講師 山村 若禄昌 「山村流上方舞」 『日本の礼儀作法』	50
音楽会	11月13日(日) 13時30分～16時00分	アプラホール 大ホール	市内諸団体による演奏会	300



高石市民文化祭 11月 アプラホール

平成23年度 家庭教育学級

学校園名	開催日時	場 所	内 容	年齢構成（出席者実績）						
				10	20	30	40	50	以上	計
羽衣幼稚園	2011/6/11 10:00～11:00	取石幼稚園 リズム室	「食べて、出して、元気いっぱい」	16	4	35	11	1		67
加茂小学校	2011/6/20 9:45～12:00	高石市役所 多目的ホール	初心者でもできるエアロビクス			15	7			22
東羽衣小学校	2011/6/15 10:00～14:00	東羽衣小学校 2号館2階和室	「リラックスストレッチと婦人科がん検診のお話」			6	15			21
高石中学校	2011/7/9 10:00～12:00	高石中学校 体育館、木工室	簡単！セラミスの土を使ったインテリア ミニガーデンを作ろう		1	3	35	4		43
取石中学校	2011/9/10 10:00～12:00	取石中学校 図書室	子どもにかけける魔法の言葉			10	7	1		18
加茂幼稚園	2011/9/29 10:40～11:40	加茂幼稚園 リズム室	災害時の避難について		9	22	7	1		39
高陽幼稚園	2011/11/8 13:00～14:30	高陽幼稚園	親子体操と婦人科がん検診のお話		2	23	10			35
羽衣小学校	2011/11/8 13:00～14:30	羽衣小学校	多肉植物の寄せ植え			30	31			61
取石小学校	2011/11/20 11:00～12:20	取石小学校	ピラティスで心と体を美しく		2	13	16	2		33
清高小学校	2011/11/19 10:45～11:30	清高小学校	消防署よりためになるお話		2	33	31	2	1	69
北幼稚園	2011/11/21 12:20～13:50	北幼稚園	子どもの生きる力を 育むキャリア保育			21				21
高石中学校	2011/12/10 10:00～12:00	高石中学校	プリザーブドフラワーの講習会		1	3	25	3		32
高石幼稚園	2012/1/16 13:15～13:50	高石幼稚園	「子どもの運動あそびについて」～親子であそぼう～			16	5			21
高石小学校	2012/2/3 13:00～14:30	高石小学校	「ヨガ」自分の身体を知っていきましょう			6	8	1		15
高陽幼稚園	2012/3/7 10:30～12:00	高陽小学校	すっきりボディになる秘訣			4	9			13
										0
										0

16	21	240	217	15	1	510
----	----	-----	-----	----	---	-----

おおさかふみんネット

堺市・泉大津市・和泉市・高石市・忠岡町

テーマ

泉州歴史探訪

事業期間

平成23年11月17日(木)～12月1日(木)の全3回

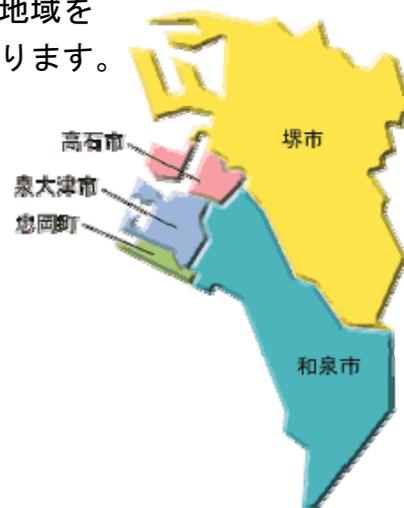
☆事業概要 各市町から講師を迎え、講座形式で、泉州・泉北地域をクローズアップし、さまざまな視点から歴史を探ります。

☆募集定員 100名・申込者多数の場合は抽選

☆対象者 原則として全3回参加可能な方

☆参加費 無料

☆申込期限 平成23年10月25日(火)【必着】



申し込み方法

往復はがきに、住所・氏名(フリガナ)・年齢・電話番号・返信用宛先を明記の上、平成23年10月25日(火)【必着】までに、お住まいの市町の下記担当課(泉北以外にお住まいの方は高石市)、「泉州歴史探訪Ⅶ」係へお申し込みください。(1人1枚に限る)

申し込み先

- ① 〒590-0078 堺市堺区南瓦町3-1 堺市市民人権局・生涯学習課 TEL. 072(228)7631
- ② 〒595-8686 泉大津市東雲町9-12 泉大津市教育委員会・生涯学習課 TEL. 0725(33)1131
- ③ 〒594-8501 和泉市府中町2-7-5 和泉市教育委員会・生涯学習課 TEL. 0725(41)1551
- ④ 〒592-8585 高石市加茂4-1-1 高石市教育委員会・生涯学習課 TEL. 072(265)1001
- ⑤ 〒595-0805 忠岡町忠岡東1-34-1 忠岡町教育委員会・生涯学習課 TEL. 0725(22)1122

おおさかふみんネットとは

大阪府と府内市町村が実施する生涯学習連携事業(広域講座)のことをいいます。

府内を8ブロックに分け、ブロックごとに各自治体が公開講座や見学会などを行っています。

どなたでも、どのブロックの事業でも参加申し込みができます。

■ふみんネットについてのお問い合わせは、大阪府文化課(Tel. 06-6944-9140)まで。

■ふみんネットの各ブロックの事業は、大阪府文化課ホームページ(<http://www.pref.osaka.jp/bunka/>)の講座情報をご覧ください。

平成23年度運動施設月別利用状況

(生涯学習課所管分・市立体育館を除く。)

施設名 月	総数		高師浜野球場		高砂公園野球場		高師浜運動広場		高砂公園運動広場		高師浜テニスコート (4面)		新公園テニスコート (3面)	
	利用 件数	利用 人数	利用 件数	利用 人数	利用 件数	利用 人数								
4	780	12,812	94	3,152	25	1,060	66	3,024	21	1,050	292	2,855	282	1,671
5	694	11,067	55	1,904	34	1,275	54	2,387	28	1,372	271	2,503	252	1,626
6	596	9,873	49	2,300	14	590	53	2,289	16	850	243	2,312	221	1,532
7	751	12,845	69	2,334	36	1,465	72	3,345	30	1,495	304	2,570	240	1,636
8	714	12,869	70	2,591	36	1,533	69	3,156	29	1,345	275	2,785	235	1,459
9	659	10,289	61	2,064	23	874	53	2,443	26	1,230	277	2,278	219	1,400
10	749	11,230	62	2,069	28	1,072	66	2,618	17	808	330	3,075	246	1,588
11	682	10,243	45	1,577	20	860	60	2,650	18	900	319	2,818	220	1,438
12	655	10,476	43	1,645	21	923	58	2,696	21	1,050	286	2,701	226	1,461
1	626	9,371	33	1,221	26	1,040	56	2,309	19	950	270	2,370	222	1,481
2	592	9,595	48	1,671	21	850	50	2,292	21	963	254	2,344	198	1,475
3	672	9,427	45	1,576	15	690	56	2,461	17	820	307	2,578	232	1,302
計	8,170	130,097	674	24,104	299	12,232	713	31,670	263	12,833	3,428	31,189	2,793	18,069

平成23年度 市立体育館室別月別利用状況

室名 月	総 数		体 育 室		卓 球 場		剣 道 場		柔 道 場		トレーニング室	
	利用 件数	利用 人数										
4	985	5,360	114	2,180	145	459	71	1,459	248	855	407	407
5	1,049	5,711	123	2,329	154	465	77	1,631	234	825	461	461
6	1,045	6,300	127	2,624	143	418	91	1,805	264	1,033	420	420
7	993	5,311	131	2,036	170	501	81	1,504	201	860	410	410
8	903	4,354	100	1,403	173	516	67	1,310	210	772	353	353
9	927	5,557	116	2,121	123	385	64	1,560	253	1,120	371	371
10	1,008	5,749	107	2,387	152	458	77	1,581	281	932	391	391
11	935	5,660	114	2,463	138	424	81	1,470	249	950	353	353
12	907	5,024	104	1,898	140	442	64	1,362	248	971	351	351
1	859	5,042	102	2,213	129	400	69	1,256	213	827	346	346
2	971	5,673	119	2,255	172	536	75	1,531	242	988	363	363
3	1,123	6,367	133	2,346	215	651	81	1,938	287	1,025	407	407
計	11,705	66,108	1,390	26,255	1,854	5,655	898	18,407	2,930	11,158	4,633	4,633

平成23年度 ふるさと村（キャンプ場）利用状況

月	区分	日 帰 り			宿 泊												合 計		
					1 泊			2 泊			3 泊以上			小 計					
		市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計
6	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	件数	1	0	1	26	3	29	0	1	1	0	0	0	26	4	30	27	4	31
	人数	9	0	9	472	50	522	0	210	210	0	0	0	472	260	732	481	260	741
8	件数	1	0	1	57	11	68	9	0	9	0	0	0	66	11	77	67	11	78
	人数	6	0	6	816	354	1,170	231	0	231	0	0	0	1,047	354	1,401	1,053	354	1,407
9	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	件数	2	0	2	83	14	97	9	1	10	0	0	0	92	15	107	94	15	109
	人数	15	0	15	1,288	404	1,692	231	210	441	0	0	0	1,519	614	2,133	1,534	614	2,148

平成23年度 野外活動センター（キャンプ場）利用状況

月	区分	日 帰 り			宿 泊												合 計			
					1 泊			2 泊			3 泊以上			小 計						
		市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	
4	件数	3	0	3														3	0	3
	人数	58	0	58														58	0	58
5	件数	6	1	7														6	1	7
	人数	403	15	418														403	15	418
6	件数	4	3	7														4	3	7
	人数	69	49	118														69	49	118
7	件数	3	2	5	5	0	5			0			0	5	0	5		8	2	10
	人数	51	41	92	654	0	654			0			0	654	0	654		705	41	746
8	件数	3	0	3	2	1	3			0			0	2	1	3		5	1	6
	人数	110	0	110	34	80	114			0			0	34	80	114		144	80	224
9	件数	3	0	3														3	0	3
	人数	159	0	159														159	0	159
10	件数	2	2	4														2	2	4
	人数	51	58	109														51	58	109
11	件数	4	1	5														4	1	5
	人数	82	5	87														82	5	87
12	件数	2	1	3														2	1	3
	人数	32	32	64														32	32	64
1	件数	1	0	1														1	0	1
	人数	160	0	160														160	0	160
2	件数	2	0	2														2	0	2
	人数	40	0	40														40	0	40
3	件数	5	0	5														5	0	5
	人数	155	0	155														155	0	155
合計	件数	38	10	48	7	1	8	0	0	0	0	0	0	7	1	8		45	11	56
	人数	1,370	200	1,570	688	80	768	0	0	0	0	0	0	688	80	768		2,058	280	2,338

H23年度 学校開放の使用状況

運動場

※ 空は、開放した件数

※ 申は、申込みのあった件数

		高石中		高南中		取石中		高石小		羽衣小		高陽小		取石小		東羽衣小		清高小		加茂小	
		空	申	空	申	空	申	空	申	空	申	空	申	空	申	空	申	空	申	空	申
4	午前	0	0	4	4	0	0	6	4	5	5	7	6	1	1	10	10	5	5	2	2
	午後	3	3	9	9	2	2	6	5	5	4	5	5	1	1	10	9	10	10	4	4
5	午前	2	2	3	3	2	2	9	5	7	5	7	6	10	10	8	4	6	4	6	3
	午後	6	2	10	10	2	2	9	5	7	5	6	3	10	10	8	7	8	7	8	5
6	午前	2	2	3	3	2	2	8	7	4	4	4	3	6	6	5	5	3	3	4	4
	午後	5	4	7	7	2	2	8	6	4	3	3	3	6	6	6	6	6	6	8	8
7	午前	0	0	3	3	0	0	4	3	6	6	9	9	10	10	5	5	6	6	6	6
	午後	6	6	8	8	0	0	4	3	6	6	6	6	10	10	8	8	11	11	11	11
8	午前	2	1	3	3	2	2	0	0	0	0	5	5	0	0	5	5	4	4	6	6
	午後	2	2	8	8	2	2	0	0	0	0	3	3	0	0	5	5	6	6	7	7
9	午前	0	0	4	4	2	2	3	3	6	6	6	6	10	9	6	6	6	6	5	5
	午後	0	0	7	7	2	2	3	2	6	6	4	3	10	10	8	7	9	9	9	9
10	午前	2	2	4	4	2	2	5	0	4	4	7	7	5	5	8	7	5	5	5	5
	午後	3	2	7	7	2	2	5	1	4	4	5	5	5	5	9	8	8	8	9	9
11	午前	0	0	1	1	2	2	5	0	5	5	5	5	6	6	5	5	6	6	5	5
	午後	0	0	5	5	2	2	5	0	5	5	4	4	6	6	6	6	8	8	8	8
12	午前	0	0	4	3	1	1	8	3	5	5	5	3	8	8	6	4	6	5	5	4
	午後	0	0	7	6	1	1	9	4	5	4	6	6	8	8	9	9	9	9	8	7
1	午前	0	0	4	3	0	0	8	3	5	4	7	6	8	8	7	6	6	5	5	5
	午後	0	0	5	4	0	0	8	5	5	4	5	3	8	8	8	8	9	9	6	5
2	午前	2	2	3	3	2	2	8	4	1	1	6	6	2	1	5	5	5	5	4	4
	午後	2	2	7	7	2	2	8	4	1	1	6	6	1	1	8	8	7	7	7	7
3	午前	0	0	0	0	0	0	8	7	5	5	6	6	10	10	6	6	7	7	5	4
	午後	0	0	0	0	0	0	8	7	5	5	3	3	10	10	7	7	9	9	10	10
合計		37	30	116	112	32	32	145	81	106	97	130	118	151	149	168	156	165	160	153	143

H23年度 学校開放の使用状況

体育館

※ 空は、開放した件数
 ※ 申は、申込みのあった件数

		高石小		羽衣小		高陽小		取石小		東羽衣小		清高小		加茂小	
		空	申	空	申	空	申	空	申	空	申	空	申	空	申
4	午前	6	3	0	0	10	3	3	2	6	2	2	1	2	1
	午後	6	4	0	0	10	5	2	1	6	3	4	1	4	2
	夜間	6	6	/		3	3	0	0	10	4	/		4	4
5	午前	10	5	0	0	8	2	7	4	5	1	6	1	6	3
	午後	10	7	0	0	11	3	6	2	6	2	8	2	8	4
	夜間	7	5	/		4	3	1	0	6	3	/		5	4
6	午前	6	5	4	0	6	2	4	4	4	0	4	2	4	4
	午後	6	6	4	2	8	2	4	0	5	0	6	2	8	8
	夜間	8	7	/		5	3	0	0	8	4	/		8	8
7	午前	10	6	6	0	9	2	5	4	0	0	6	3	6	5
	午後	10	6	6	2	11	3	5	0	0	0	11	2	11	6
	夜間	9	7	/		4	2	0	0	10	5	/		10	9
8	午前	5	4	0	0	8	4	7	2	5	0	2	1	6	3
	午後	6	5	0	0	8	3	3	1	5	0	5	2	7	4
	夜間	8	6	/		4	2	0	0	7	2	/		8	6
9	午前	9	4	0	0	6	2	6	4	0	0	6	3	5	3
	午後	9	5	0	0	8	1	6	2	0	0	9	3	9	5
	夜間	8	7	/		4	2	1	0	9	4	/		9	8
10	午前	4	4	0	0	6	2	5	5	1	0	5	1	5	3
	午後	5	5	0	0	8	1	5	1	1	0	8	4	9	8
	夜間	7	6	/		4	2	0	0	7	4	/		7	6
11	午前	5	2	0	0	3	1	3	3	0	0	6	4	5	3
	午後	6	4	0	0	4	1	3	1	0	0	8	5	7	4
	夜間	7	3	/		4	2	0	0	4	2	/		7	7
12	午前	8	2	0	0	7	3	6	4	1	0	5	1	6	2
	午後	9	5	0	0	9	1	5	2	1	0	8	2	9	4
	夜間	7	4	/		4	2	1	0	8	3	/		8	5
1	午前	8	5	2	0	6	2	5	3	1	0	6	1	5	3
	午後	8	2	2	1	9	1	5	0	1	0	9	2	8	4
	夜間	7	5	/		3	2	0	0	8	4	/		7	5
2	午前	4	2	1	1	6	6	4	4	0	0	5	3	4	2
	午後	4	4	1	0	8	3	4	2	0	0	8	2	8	6
	夜間	6	5	/		3	2	0	0	8	4	/		8	8
3	午前	0	0	1	0	1	1	3	3	0	0	4	3	3	2
	午後	0	0	1	1	1	1	3	1	0	0	4	3	6	2
	夜間	0	0	/		2	2	0	0	4	2	/		5	5
合計		234	156	28	7	215	82	112	55	137	49	145	54	237	166

スポーツ推進委員 主要事業

実施日	事業名	場所	参加者数	スポーツ推進委員
5/8(日)	チャレンジ・ザ・ウォーク	浜寺公園	285名	16名
6/11(土)	ニュースポーツ教室	市立体育館	36名	11名
8/1(月)	親と子の軽体操教室	加茂小学校 体育館	111名	10名
8/2(火)			104名	9名
8/3(水)			110名	7名
8/4(木)			109名	7名
8/5(金)			115名	10名
10/1(土)	ファミリーバドミントン講習会	市立体育館	28名	9名
11/26(土)	ファミリーバドミントン交流会	市立体育館	24名	10名
3/10(土)	市民ハイキング	柳生街道	42名	9名

平成23年度図書館郷土資料室展示

会 期	題 名	概 要
3月30日(水)～ 6月 6日(月)	故吉永孝雄氏蔵書展	高石市に長く住まれた、江戸時代文学研究家の故吉永孝雄氏は小説家の執筆原稿の収集家としても知られる。ご遺族から寄贈を受けたそれら資料の中から、近現代の 小説家・文学者の原稿 貼り込み本・署名本などを展示。
6月 8日(水)～ 6月29日(水)	中 野 隆 夫 展	(図書館事業)
7月 1日(金)～ 8月29日(月)	高石市内出土の 古墳時代須恵器展	古墳時代の技術革新、また在来の住民と渡来系の人々が共に暮らす古墳時代高石の歴史を写し出す大園遺跡・水源地遺跡から出土した須恵器を展示。
9月 1日(木)～10月30日(日)	絵図・地図に見る高石の移り変わり展	江戸時代の高石の村絵図や大坂町絵図など、近世・近代の絵図・地図を展示。
11月 2日(水)～12月26日(月)	文化財保護強調週間事業 大 園 古 墳 展	古墳時代の5世紀終わり～6世紀初めに高石周辺を支配した首長の墓と考えられる大園古墳から出土した埴輪・須恵器などを展示。
1月 4日(水)～ 2月20日(月)	高石に伝えられた昔の道具展	飲食のための漆器・陶磁器や暖房具・明かりの道具など、郷土高石に伝えられたの近世から近代にかけての少しなつかしい道具類を展示。
3月 2日(金)～ 5月28日(月)	写真に残る近代高石・大阪の情景展	往時ののどかな風景と人びとの暮らし、また近代化への足跡が写し出された、明治から大正時代の高石と大阪各地の写真を展示。

vol.8

なんでも 高石学入門

設問

松林が美しく、四季を通して、市民のみならず多くの人々の憩いの場となってきた「浜寺公園」ですが、一時は耕作地となってしまう危機に瀕したことがあります。しかし、明治維新の立役者のひとりがある松林を公園にするために尽力しました。その人物は誰でしょうか？

①大久保利通 ②坂本龍馬 ③伊藤博文

☞ 正解は次のページ

なんでも高石学入門

解説 正解 ①大久保利通

「浜寺公園」となった一帯は、江戸時代に田安藩の領地となります。同藩は明治元年（1868年）に、松林を切り開き、耕作地とする計画を立てましたが、周辺の村の人々の反対を受け、いったんは中止されました。翌年に再び計画が再燃した時は、高石や堺の近隣5ヶ村が2500両で田安藩から松の木を払い下げてもらい、一部の松は田安藩への代金回収のために伐採されたものの、松林は残りました。その後、税所篤が堺県知事となると伐採を再開しましたが、内務卿大久保利通が浜寺の地を訪れた時、濫伐の惨状を見て嘆き、伐採を即時中止させて、太政官に公園設置の出願をし、明治6年（1873年）に許可が出て、堺県により「浜寺公園」が設置されました。

（参考文献）「高石市史」第1巻・第4巻

郷土史研究委員 西居 元之

高石市内出土の 古墳時代須恵器展

期間 8月29日まで
場所 図書館郷土資料室
問合先 図書館本館

※開館時間・休館日は図書館本館と同じです

郷土資料展



高石市立図書館利用状況

累計 平成23年 4月 1日～ 平成24年 3月31日

(開館日数 290日 前年比 16)

1. 全館個人利用統計

	今年利用者数	前年利用者数	(前年比)	今年貸出冊数	前年貸出冊数	(前年比)
一般	72,659	77,016 人	(-4,357)	173,715	173,164 冊	(551)
児童	20,502	22,072 人	(-1,570)	108,255	110,056 冊	(-1,801)
合計	93,161	99,088 人	(-5,927)	281,970	283,220 冊	(-1,250)

2. 全館団体利用統計

	今年利用団体数	前年利用団体数	(前年比)	今年貸出冊数	前年貸出冊数	(前年比)
一般	356	100 団体	(256)	1,263	1,000 冊	(263)
児童	726	933 団体	(-207)	11,905	10,985 冊	(920)
合計	1,082	1,033 団体	(49)	13,168	11,985 冊	(1,183)

3. 本館個人利用統計

	今年利用者数	前年利用者数	(前年比)	今年貸出冊数	前年貸出冊数	(前年比)
一般	65,828	69,176 人	(-3,348)	156,919	155,353 冊	(1,566)
児童	18,365	19,239 人	(-874)	95,027	95,225 冊	(-198)
合計	84,193	88,415 人	(-4,222)	251,946	250,578 冊	(1,368)

4. 本館団体利用統計

	今年利用団体数	前年利用団体数	(前年比)	今年貸出冊数	前年貸出冊数	(前年比)
一般	356	94 団体	(262)	1,263	948 冊	(315)
児童	614	838 団体	(-224)	8,322	8,712 冊	(-390)
合計	970	932 団体	(38)	9,585	9,660 冊	(-75)

5. 分館個人利用統計

	今年利用者数	前年利用者数	(前年比)	今年貸出冊数	前年貸出冊数	(前年比)
一般	6,831	7,840	人 (-1,009)	16,796	17,811	冊 (-1,015)
児童	2,137	2,833	人 (-696)	13,228	14,831	冊 (-1,603)
合計	8,968	10,673	人 (-1,705)	30,024	32,642	冊 (-2,618)

6. 分館団体利用統計

	今年利用団体数	前年利用団体数	(前年比)	今年貸出冊数	前年貸出冊数	(前年比)
一般	0	6	団体 (-6)	0	52	冊 (-52)
児童	112	95	団体 (17)	3,583	2,273	冊 (1,310)
合計	112	101	団体 (11)	3,583	2,325	冊 (1,258)

7. 総 合 計

	今年利用者数	前年利用者数	(前年比)	今年貸出冊数	前年貸出冊数	(前年比)
一般	73,015	77,116	人 (-4,101)	174,978	176,164	冊 (-1,186)
児童	21,228	23,005	人 (-1,777)	120,160	121,041	冊 (-881)
合計	94,243	100,121	人 (-5,878)	295,138	297,205	冊 (-2,067)

年	月	日	公演名	施設	予想	結果	傾向と対策
23	4	2	アブラ Saturday Jazz Time Vol. 94	小H	100	61	今回94回目となり、今回はよく知られたポピュラーソングなども演奏され観客も満足した様子が見えらる。演奏計画を立ててもらい、事前告知の内容を充実させることで裾野を広げ、各回100名を超える集客をキープさせたいが、結果は前回の7割と落ち込んだ。
		9	アブラ名画鑑賞会「武士の家計簿」（2回上映）	大H	800	996	来場者の年齢層は比較的高めであった。アンケートを見ても、現代の世相と比較して、国政に対する不満や感想が多く見受けられたのが印象的だった。リクエストも多かった作品だったこともあり、終演後のお客様の反応も非常に良かった。
		16	アブラご百緑ライブ 「わたなべゆう〜ゆめ心地ギター〜」	大H ホワイエ	100	89	小ホールから大ホールホワイエへ会場変更しての開催となったが、当日券での来場も多く二度目の来場者も見受けられた。本人のMCも好感度が高く、ライブ終了後のCD販売でも、初めて聴いた方に購入いただき概ね好評だった。
		30	ゆったりウィークday 「My Dream Concert Vol.2」	小H	120	150	入場無料ということもあり、敷居が低かったようで、初めての来場や、会館広報誌アプローズを見ての来場など有料イベントに比べて多かった。アンケートでの反響は良好で、一般公募出演者への激励なども見られた。
	5	5	アブラ子ども祭り 上映会「トイ・ストーリー3」（2回上映）	大H	800	1190	一回目の上映会には9時から並ぶ家族連れもいた。未就学児童連れの方が多く、上映中飽きてホールに出でくる親子も見られたが、映画の雰囲気は楽しんでた様子。 また、この映画がきっかけで初めてホールに来たという家族連れもあり、文化施設の認知にも一役買った様で今後もこのように、敷居を下げる企画も重要だと感じた。昨年同様、二回目の集客が少なくなる傾向にあるので、来場をうまく分散させる仕掛けが必要ではないかと思う。
		7	アブラ Saturday Jazz Time Vol. 95	小H	100	96	今回95回目となった。入場も、前回よりも多く、会員以外の入場も多かった。アップテンポなナンバーが多く、楽しかったという声が多く聞かれた。初めての来場者も見受けられたので、リピートして貰うための工夫も必要ではないかと思う。
		8	ゆったりウィークday 「第4回 たかいしフレッシュコンサート」	大H	150	86	高石市および周辺地域在住の新人演奏家の発表の場として期待される催しではあるが、集客結果は厳しいものとなった。広報方法の見直しや、出演者自身によるより一層の観客動員努力など、来年度の開催時には改善できるように考えていく。
		14	アブラ名画鑑賞会「オカンの嫁入り」（2回上映）	大H	800	740	今回、観客のマナー（話し声や上映中の入退場、携帯電話の音など）にたいする意見が多く、今後の運営の検討材料となった。作品に対しては、一度観てみたかったという感想が多く、制作年度が浅い作品の方が観客全体の反応はよいと感じた。
		21	アブラご百緑ライブ 「あぶらぐ」	小H	100	104	ワンコインで落語が聞けるという企画が好評であった。高石駅周辺、堺市駅周辺のマンションや団地にチラシのポスティングを行い、集客した。日IFでのチラシ配布でも来場につながり、とくに年配の男性の反応が良かった。アンケートへの記入も多く、呼んでほしい落語家の記載が多かった。
		22	びあの10♪ スタインウェイ試弾会	大H	200	178	申込者の方が、高槻市、吹田市、和歌山県など遠方の方の参加も見受けられ、回を重ねるごとに参加への周知は出来たと思う。出演者からはまた参加したいとの声もあった。次回の課題として、ギャラリーの確保に努めたい。
	6	5	第6回 アブラ合唱祭	大H	750	750	今年も小学生から大人まで幅広い参加団体が集り、日頃の練習成果を発表。各団体の美声と迫力に観客は感動していた。中学校の合唱部の参加により、観客の層も幅が広く昨年より来場数も伸びた。 例年、高石市合唱連盟が主体となって実施しているため、運営などもスムーズに行われた。来年も合唱連盟の自主性を尊重し、アブラホールが催事をバックアップする形で実施した。
		11	小林桂 ジャズライブ	大H	600	496	普段の公演に比べて、40代以下の観客が多く見受けられた。また、生協での販売により、今回アブラホールに初めて来たという方がアンケート結果からもうかがえた。出演者側の厚意によりCD購入者へのサイン会があり、終演後も賑わった。
		18	アブラ Saturday Jazz Time Vol. 96	小H	100	88	ビッグバンドで迫力のあるジャズをコンセプトに毎回テーマを変えて構成される。今回は映画音楽ということで、特に本公演のターゲット層に合った選曲で大いに盛り上がった。来場数に関しては、固定客がほとんどであるため、大幅に減少することはないが、来場目標100名が維持できないところが今後の課題となる。出演者を含めて、今後の方針を検討する必要がある。
		19	いずみのくに音楽祭2011 「しっかりクラシック！スーパーファミリーコンサート」	大H	400	117	第1部は一度は耳にした曲の演奏となり、クラシック初心者の方も聴き入る内容となっていた。第2部は、モーツァルトが23歳の時に出来たミサ曲を演奏。微妙なタッチで奏でる音色に来場者は聴き入っていた。
		25	アブラ名画鑑賞会「かもめ食堂」（2回上映）	大H	800	768	いまだに若い女性に人気の高い作品ということもあり、20代の女性の来場が各回とも見受けられた。
		26	アブラご百緑ライブ「60分間世界一周」	小H	100	150	出演者の田中裕介さんが合唱団の指導をされている関係で、小学生から年配の方まで幅広い客層となった。また、ピアノ演奏の橋本美千恵さんからの紹介で堺市外からの来場も多く見受けられ、初めてアブラホールに来たというアンケートが通常より多かった。
	7	3	公共ホール音楽活性化事業 「Dual KOTO×KOTOコンサート～ The 雅 ～」	小H	100	103	出演者の関係者の来場が多く、会場としては賑わっており、観客は聴き入っていた。日頃から華や邦楽に馴染みのある方々へのPRは行き届いていたが、初めて邦楽に触れていただくという機会には結びつかず、今後の課題となった。
		9	アブラご百緑ライブ 「うたとも♪ ～ あの名作映画の音楽を～」	大H ホワイエ	100	65	いつもの「うたとも」と趣向を変え、第1部では海外の歌（洋画の主題歌）をプログラムに取り入れたが、予想以上に好評を頂くことができた。今後の開催についても、出演者とよく内容を詰め、新鮮なプログラムとなるよう心がけていきたい。
		9	アブラ Saturday Jazz Time Vol. 97	小H	100	89	前回から集客が変わらず、当日券での来場者は他公演よりも多く、前売り券の販売が緩やかであっても100名弱の集客で固定しつつある。安定はしているものの、小ホール定員の150名を満たすよう、広報活動を検討する必要がある。
		16	アブラ名画鑑賞会「小さな命が呼ぶとき」（3回上映）	大H	800	1295	啓発的要素の強い作品であったが、アンケートの結果などを見ても概ね好評であった。当日は、日本医師会からレッドノーズの配付や、高石障害者作業所の手作りパン・クッキーの配付・販売が行われた。販売については、2回目の上映後、ほぼ商品が売り切れるほど好評であった。
		17	高石市吹奏楽フェスティバル2011	大H	700	880	毎年恒例イベントとして成功をおさめた。今後も定期的に発表の場を設けて、各合唱団のレベルアップにつながるよう、サポートする。来場頂いたお客様からも安い入場料でレベルの高い演奏を聞く事ができ満足された声を多く頂いた。開場の際に入場口が2か所になり、先に並ばれたお客様が後に入場いただく事があった。開場時の観客誘導を徹底し、柔軟な対応を出来るよう対策を考えていく。

平成23年度 事業実績書（ホールその他）

年	月	日	公演名	施設	予想	結果	傾向と対策
		23	音波—SOUND WAVE—（ピアチェレ）	大H	150	230	国内外で活躍する音楽家による、本格的なクラシックコンサート。今回は、先の東日本大震災の緊急支援を目的としたチャリティコンサートとして開催され、完成度の高い演奏や歌声に会場全体が包まれて、ひとときの楽しい時間を提供できた。
	8	13	アブラエコフェスタ2011（武田康男講演会）	大H		455	大ホールで開催された講演には、テレビでおなじみの講師ということもあり、幅広い年齢層の来場が見られた。また、会場からの質問には、好奇心旺盛な子どもたちから質問が上がり、会場内の雰囲気も和やかなものとなった。実際に南極から持ち帰った氷を触る体験コーナーや写真の展示など、遠い世界がより身近に感じられる場を提供できた。
		20	アブラ夏休み子どもアニメ劇場「劇場版ヤッターマン」（2回上映）	大H		851	開催当日、アブラ商店会による緑日なども開催されており、子どもだけの来場も目立った。子どもたちの出入りも激しく、映画観賞という雰囲気ではなかったが、大画面で映画を見て楽しかったとの声があった。また、一般の映画館に連れていくにはまだ早い小さなお子さまに劇場の雰囲気を味わわせる機会になったと仰るお客様もいた。
		20	アブラ Saturday Jazz Time Vol. 98	小H	100	99	今期、初めて100名を超す来場があった。定期公演が定着している感はあるが、定着しているからこそいつでも行けるという常連客も多いように見受けられる。毎回、来場したくなるような企画ないし仕組みが必要と思われる。
		27	アブラ名画鑑賞会～西日本大震災復興支援上映「フラガール」（2回上映）	大H	800	633	当ホールで二度目の上映となるが、今回は東日本大震災の復興支援の一環で上映を実施。入場者数は若干落ち込んだものの、作品力もあり、良い映画は環境でも良いとの声も上がった。アンケートでは、上映中の観客同士のマナーについての記載が目立ち、今後の対応を検討する必要がある。
	9	3・4	OSK日本歌劇団 第四回高石チャリティ公演 < 計3回公演 >	大H	700	1200	協力事業と言う事でチケット販売、広報で協力させてもらい、3公演で1000人のお客様に来場いただいた。招待の入場者もあり、広くアブラホール周知いただけたと思う。また、東日本大震災のチャリティ募金に出演者が立会い計163,514円を10/31付けで日本赤十字社を通じて被災地へ送金した。一部、被災者や母子家庭家族などに向けた招待券があった。
		10	アブラ名画鑑賞会「ゲゲゲの女房」（2回上映）	大H	800	842	NHKで同じ原作がドラマ化され、人気が高かったため、テレビドラマと比較して評価される声が多かった。映画化にあたり、割愛されたエピソードも多かったのかわかりにくかったとの評が多く聞かれた。
		17	アブラご百線ライブ「想い出のコンチネンタルタンゴ」	大H ホワイエ	100	204	前売りの売れ行きも好調で、当日券も立ち見を了承の上入場してもらった。選曲がキャッチーであったこと、一曲づつにバンドネオン奏者の大橋氏の解説があり、ライブそのもののクオリティが非常に高く、料金が高くてもよいのでホールで聴きたいという意見が複数アンケートに記載されていた。
		18	第3回 アブラニューウェーブコンサート	大H	700	655	合唱の盛んな高石市のイベントとして広く周知もでき、成功をおさめた。今後も定期的に発表の場を設けて、アブラフィルハーモニー合唱団および各合唱団のレベルアップにつながるようサポートする。
		23	アブラ文化まつり 懐かしの昭和の思い出	大H	500	436	懐メロを歌う第一部が好評で、もう少し長い時間歌いたかったといった声があった。映画に関して、男女ともに「懐かしかった」と楽しそうにしていたのが印象的だった。画面サイズが通常のフィルム上映より小さいことを指摘する声もあったが、古い映画の上映の需要も上がる結果となった。
		24	アブラ Saturday Jazz Time Vol. 99	小H	100	91	常連客による来場がほとんどであり、100名に満たなかった。幅広いジャンルにわたり、観客に人気の高い選曲をしたということもあり、反応は上々だった。100回記念のチケットを買い求める来場者も多く、PRと言う面では功を奏した結果となった。来場が100名を超えないという課題は引き続き残る。
		24	舞踏へのお誘い ～ アブラdeシャルウィダンス！？IV ～	大H	600	300	各々ドレスアップをして、日頃の練習の成果を発揮して楽しげに優雅に踊る姿が見受けられた。パートナーを持たない「リボン」をつけた男女が、初めてのパートナーを相手に思の合った踊りを見せるなど、催しの回を重ねることに充実したもとなっている様子がうかがえる。
	23	10	菅原洋—コンサート2011	大H	500	344	歌とピアノのデュオで往年の名曲を披露。曲間のトークも盛り上がり、笑いながら一緒に歌いながら大いに楽しんで観賞する観客が目立った。通常を大きく下回るチケット料金設定もあり売売を予想していたが届かず。同時に小ホールで開催された催し（ロミタ市姉妹都市提携30周年記念式典）による影響（こちらに出席する為観賞できないという方が多数）が残念である。
		15	アブラご百線ライブ「ピアノデュオRaffine連弾コンサート」	小H	100	84	定員には満たなかったが、小さな子どもを連れた祖父母の姿も多く見受けられ、クラシックの導入という面では非常に良かったと思う。集客を出演者に頼る部分が大きかったため、実動員につながらなかったため効果的な広報を次回は検討しなければならない。
		15	アブラ Saturday Jazz Time Vol. 100 100回記念特別企画	中H	100	362	定員の300名を超す来場で盛況であった。また、100回記念ということもあり、今までの事業協力に対してアブラホール館長からの感謝状が授けられた。飲食スペースを設置して楽しむスタイルに、アンケートの反響、来場者からの反響も非常に良かった。
	11	5	アブラご百線ライブ「アイリッシュ音楽への誘い」	小H	100	138	軽快なリズムの民族音楽やアイリッシュタップなどに、観客から手拍子がおきて会場が一体となったコンサートとなった。関係者による来場も多かったが、それに加えて一般の関心も高く、ほぼ満席に近い入りとなった。
		12	アブラ名画鑑賞会「毎日あさん」（2回上映）	大H	800	860	会員限定上映ということもあり、当日の来場者を受け入れることができなかったため、動員は伸びなかったが、観賞後の反応はとても良く、男女ともに受けが良かった。
		12	アブラ Saturday Jazz Time Vol. 101	小H	100	69	100回記念公演のあとということもあり、来場の落ち込みは予測していたがいつも以上に落ち込み、勢いを維持するのが難しい状況が見られる。固定ファンが多い利点を活かして、出演者による集客協力を期待して、今後の方針を再度すり合わせる必要がある。
		23	La Violette ～夢、あふれる憧れの舞台～	小H	100	146	0Gとはいえ、集客も広域となっており、日頃アブラホールを利用しない層の来場も多く見受けられた。券売数と実際の来場者数に若干の乖離があり、雨天が影響したものと思われる。
		12	アブラご百線ライブ「うたともし」	大H ホワイエ	100	95	リクエストが多岐にわたり、大いに盛り上がった。高音域の歌が多く、男性には少し歌いづらいものもあったが、合唱を楽しんでいる様子が見受けられた。歌本を活用しましょう、という出演者からの呼びかけで早速アンケートにリクエストが記入され、参加者の期待の高さがうかがえる。
		17	アブラ Saturday Jazz Time Vol. 102	小H	100	82	来場数は伸びなかったものの、特集の効果もあり、楽しかったとの声も聞かれた。次回以降の特集も打ち出し、事前告知を行い、前売り券を買い求める方も見受けられた。団員からの声かけもお願いし、来場者数アップに期待したい。

年	月	日	公演名	施設	予想	結果	傾向と対策	
		18	お筆ワークショップ発表会	小H		54	10回足らずの練習であったが、課題曲をこなしホールで演奏を行うことができた。保護者、ご家族以外にも一般の観覧者も見受けられ、会場からは温かい拍手を受けた。任意で参加を呼び掛けた和太鼓WSとの合同発表会も全員が参加を希望し、伝統楽器に慣れ親しみ、演奏する楽しさを知ってもらえたものと思う。	43
		21	クリスマスゴスペルナイト	大H ホワイエ	100	45	讃美歌やクリスマスソングなど誰もが聞いたことのある歌を、歌詞やメロディの丁寧な解説を交えながら披露。出演者からの質問に大きな声で返答したり、幼児2~3人が一緒に踊りながら観賞していたりと、終始アットホームの中で思い思いにクリスマスの雰囲気を楽しんでいた。	44
		22	横山幸雄 ピアノリサイタル（協賛）	大H	700	800	2階バルコニー席まで隙間なく埋まった観客数に主催者も驚くほどの大盛況となった。小学生からお年寄りまでかなり幅広い年齢層が来られたが、どなたも真剣に聴き入る姿が印象的であった。終演後のサイン会も長蛇の列ができるなど、改めて出演者の人気を強く感じさせる結果となった。	45
		22	クリスマスバラードナイト	大H ホワイエ	100	150	地元高校生シンガーによる、コンサートで多くの来場が見られた。また、高石市市外からも級友が駆け付けるなどにぎやかなライブとなった。無料ということもあり、気軽に立ち寄った買い物客も最後まで観覧し、まだ若いシンガーの歌唱力に魅了されていた。	46
		23	クリスマスキャンドルナイト	駅前広場			高石駅前広場の噴水をLED照明でライトアップ。廃油を利用したエコキャンドル300個と、市内小学校や専門学校に制作してもらったペーパーバッグ行燈50個を噴水周りに設置し、17時~20時まで開催した。立ち止まって噴水前で記念撮影したり、キャンドルの光や行燈の絵柄に見入ったりと、予想以上の賑わいを見せた。	47
		24	クリスマスコンサート	中H	150	225	毎年恒例で、楽しみにしている来場者も多い中、ティータイムの準備に時間がかかり、開場が遅れてしまった。開場間際の混雑を踏まえた人員配置の検討が必要である。コンサートは、会場の雰囲気盛り上げながらバラエティに富んだ演奏で観客を楽しませた。	48
		24	クリスマスハンドベルコンサート	大H ホワイエ	100	50	実施時間が遅いことや告知が十分でなかったり、ハンドベルの認知度が低いことなどが手伝い、集客は十分には得られなかった。回を重ねるごとに、すこしづつハンドベルの魅力が浸透してゆくのを期待する。	49
		25	クリスマスコーラス デイコンサート	1F	100	60	1Fのオープンスペースで、小さな子どもたちが歌うということもあり、ご家族以外にも比較的年配の買い物客などが足をとめて耳を傾けていた。途中、トナカイの耳をつけたり、鈴をならしたりと、短い時間の中でも工夫がされており見学者も飽きずに、手拍子などで場を盛りあげていた。場所の都合上、事前の音合わせが十分にできず、後ろの方の観覧者に聞こえづらいのが残念だった。	50
		25	人形劇団ゆめ クリスマス公演	プレイルーム		80	小さな子どもたちの扱いに長けた団員たちによって盛り上がり、普段小さな子どもたちと触れ合う機会が少なそうなお父さんたちもぎこちないながらも参加している様子が微笑ましかった。祖父母の姿も見られ、参加者たちにとって楽しいクリスマスになった。	51
24	1	14	アブラ名画鑑賞会 「小川の辺」 (2回上映)	大ホール	800	797	「重厚な内容で素晴らしい」「また見たい」などアンケートでも好評をいただいた。配給元都合で今回は日本語字幕付フィルムでの上映となったが、これも年配の方には喜んでいただけたようである。	52
		21	アブラご百練ライブ 「こころに響く、日本のうた」	小ホール	100	132	リクエストに応じて今年度2回目の開催。山田耕柞作曲メロデーや童謡など、古くから日本で歌い継がれる名曲を選曲したプログラムで実施した。前回同様満席となり、安定した集客力がある出演者である。予想通り年配の方が多く、ほとんどの曲を一緒に歌って楽しむ姿が目立った。	53
		21	アブラ Saturday Jazz Time Vol.103	小ホール	100	98	新春にふさわしい、人気の高いグレンミラー特集。年明けに気合いの入った演奏で観客の反応も非常に良かった。ステージと会場が一体となり盛り上がる良い公演となった。	54
		22	お祭りタップ2011 — 鼓舞 —	大ホール	700	455	軽快な音楽とともに軽やかなステップを次々と披露して、会場を引き込んでいた。子供とは思えないダンスやプロの息継ぎ間もないステップで魅了されていた。体験コーナーでは、基本的なステップの組合せと音楽でタップダンサーの気分になって楽しむ様子が伺えた。アイリッシュバンドによる生演奏もステージに花を添えて、時間を忘れるエネルギー溢れる公演となった。	55
		29	新春落語 — 贅沢三人会 —	大ホール	500	486	今回、混雑が予想されたため整理券配布を行ったが、年配の方を中心に整理券がないと鑑賞できないと勘違いしている方も多かった。公演自体は、テレビなどでも見慣れたベテラン落語家たちの話術に引き込まれている様子がうかがえた。女道楽という、あまり見慣れない芸も披露され、巧みな話術と三味線さばきに会場が笑いで包まれていた。	56
	2	4	アブラ名画鑑賞会 「うさぎドロップ」 (2回上映)	大ホール	800	790	今が旬の出演者たちの影響もあり、通常よりも幅広い年齢層、特に小さな子どもとともに来られた観客が目立った。子ども料金設定が無いことに対する不満が聞かれ、今後の検討課題と感じたが、上映内容に関しては大好評。劇場公開終了から近い新作は、やはり高い評価を得やすいので、今後の映画選定に反映させたい。	57
		11	アブラ Saturday Jazz Time Vol.104	小ホール	100	76	特集はバレンタイン。バレンタイン月にちなんで恋人たちのナンバー、愛のナンバーを選曲。ボーカルに目代佳子氏を迎えて、コンボスタイルで演奏。先月との間隔が短いため集客が懸念され、実際に影響が見られた。アブラ商店会開催のバレンタイン似顔絵募集の特別賞としてペアチケットをプレゼントし、新たな客層へのアプローチを試みた。	58
		13	公共ホール現代ダンス活性化事業 新たな自分と出逢う ココロとカラダのコミュニケーションワークショップ	大ホール	20	5		59
		15	公共ホール現代ダンス活性化事業 ママが安らぐ こどもとスキミング ぬくもりを感じながら	大ホール	20	22	財団法人 地域創造との共催事業。コンテンポラリーダンサー・山田つ子氏と他ダンサー、高石市民音楽団 吹奏部とのコラボレーションが実現した公演。広報不足もあり集客には苦労したが、名前の通りプラスとダンスの魅力あふれる共演となり、感動の公演となった。来年度も実施が決まっている為、さらに広報や集客に目を配れるよう努力したい。	60
		18	公共ホール現代ダンス活性化事業「プラスでオドル」	大ホール	100	105		61
		18	アブラご百練ライブ 「想い出のコンチネンタルタンゴ」	小ホール	100	145	前回の大好評を受けて、今回は小ホールに場所を移しての開催。前売開始時から好調で、当日券を合わせてほぼ満席となった。ホワイエ開催より音響や照明が良くなったことを喜ぶ声が多く、前回は観に来られた方からも楽しんで頂けたようである。再度の開催を望む意見も多数で、今後もレギュラー化して開催できる人気企画であると感じる。	62

年	月	日	公演名	施設	予想	結果	傾向と対策
		19	びあの10♪	大ホール	200	211	昨年5月に開催した試弾会の第4弾。前回、参加者から好評をいただき開催を決定。高級ブランド「スタインウェイ」の試弾による、一般参加のリレーコンサート。様々な年齢層、ピアノ歴には関係なく参加できる楽しい発表の場となった。クラシック以外の演奏や、合唱など、演奏者の個性も発揮され、終始和やかな雰囲気で行われた。また、出演者の関係者以外の人場や親子連れの人場も見られ発表会ではなくコンサートとしての演出も功を奏した。
3	3		～和太鼓と箏で奏でる～ 倭の響き	小ホール	100	150	和太鼓・箏など日本伝統芸能楽器の共演コンサート。アブラ和太鼓教室参加者の成果発表や高石市主催「ふれあい健康フェスティバル」関連企画「健康コーナー～声を出してみんな元気！」も開催する。
		11	たかいし市民ミュージカル劇団アブラ 「0zの魔法使い」	大ホール	800	564	メンバーの入れ替わりや練習時間の確保など、市民劇団としての課題を抱えながらの公演であったが、観覧者からは盛大な拍手を送られ、第10回へ向けての弾みとなった。集客に関しては昨年より落ち込み、告知期間やチケット料金など検討する時期に来ているようにも思われる。ここまで継続できていることを称賛する声は多かった。
		17	アブラ Saturday Jazz Time Vol.105	小ホール	100	112	ラテンナンバー特集。寒さの緩み始めた時期にふさわしい軽やかなナンバーが多く、いつもより女性や若年層の来場が多かった。4月以降の開催は未定との告知を出演者が行っていた為か、最後の公演と思っただけの方々による来場が目立ち、いつも以上に好調な結果となった。来期開催を望む声も多かった為、5月開催決定を喜ぶ方々が多く見受けられた。
		20	チャリティーコンサート	中ホール	150	166	東日本大震災から1年…。今、私たちに出来ることとして、高石音楽家クラブと共にコンサートを開催。チケット売上の全額を義援金として寄付した。

20,310 22,445

平成23年度 事業実績書（ワークショップ）

年	月	日	公演名	施設	予想	結果	その他	
23	4	7	ゲーチャキパー あそびのひろば	プレイルーム	30	32	月1回	1
		14・28	ゲーチャキパー つどいのひろば	プレイルーム	30	61	月2回	2
		水曜	人形劇団ゆめ 公開練習	プレイルーム	40	16	4月は3回	3
		25	アブラこどもスマイル「はじめてのキッズタップ！」	こどもスタディ	30	15		4
			タップワークショップ	こどもスタディ	50	88	4月は7回	5
5	5		アブラこども祭り バルーンアート	駅前広場	500	500		6
		12・26	ゲーチャキパー つどいのひろば	プレイルーム	30	58	月2回	7
		12・26	アブラ陶芸教室（春期）	会議室2	30	22	月2回	8
		13	ほっとスペース 移動ライブラリー	プレイルーム	30	13	奇数月に1回	9
		水曜	人形劇団ゆめ 公開練習	プレイルーム	40	19	5月は3回	10
			タップワークショップ	こどもスタディ	50	71	5月は7回	11
6	2		ゲーチャキパー あそびのひろば	プレイルーム	30	28	月1回	12
		9・23	ゲーチャキパー つどいのひろば	プレイルーム	30	56	月2回	13
		9・23	アブラ陶芸教室（春期）	会議室2	30	20	月2回	14
		19	アブラこどもスマイル「初夏のフラワーアレンジメント～苔玉づくり」	こどもスタディ	30	35		15
		水曜	人形劇団ゆめ 公開練習	プレイルーム	40	59	6月は5回	16
			タップワークショップ	こどもスタディ	50	105	6月は8回	17
7	7		ゲーチャキパー あそびのひろば	プレイルーム	30	21	月1回	18
		14・28	ゲーチャキパー つどいのひろば	プレイルーム	30	93	月2回	19
		8	ほっとスペース 移動ライブラリー	プレイルーム	30	18	奇数月に1回	20
		7・21	アブラ陶芸教室（春期）	ギャラリー	30	18	月2回	21
		3・24	アブラこどもスマイル「夏のこども陶芸教室」（形づくり）	ギャラリー	30	374		22
		水曜	人形劇団ゆめ 公開練習	プレイルーム	40	19	7月は3回	23
		17	人形劇団ゆめ 夏公演	プレイルーム	40	74		24
		24	こどもお箏ワークショップ（第1回目）	こどもスタディ	30	8	第1期（1回目）	25
			タップワークショップ	ギャラリー	50	93	7月は8日	26
8	4		ゲーチャキパー あそびのひろば	プレイルーム	30	28	月1回	27
		25	ゲーチャキパー つどいのひろば	プレイルーム	30	27	月1回	28
		1・5	アブラこどもスマイル「夏のこども陶芸教室」（色付け）	こどもスタディ	30	243		29
			タップワークショップ	こどもスタディ/ギャラリー	50	107	8月は8回	30
		18・30	みんなでたたこう！ アブラ和太鼓教室（第1期）	音楽室	30	34	第1期（1・2回目）	31
		7・21	こどもお箏ワークショップ（第2・3回目）	こどもスタディ	30	22	第1期（2・3回目）	32
9	1		ゲーチャキパー あそびのひろば	プレイルーム	30	25	月1回	33
		8・25	ゲーチャキパー つどいのひろば	プレイルーム	30	69	月2回	34
		9	ほっとスペース 移動ライブラリー	プレイルーム	30	24	奇数月に1回	35
		水曜	人形劇団ゆめ 公開練習		40	11	9月は2回	36
			タップワークショップ	こどもスタディ/ギャラリー	50	84	9月は7回	37
		6・20	みんなでたたこう！ アブラ和太鼓教室（第1期）	音楽室	30	32	第1期（3・4回目）	38
		4・25	こどもお箏ワークショップ（第4・5回目）	こどもスタディ	30	14	第1期（4・5回目）	39
10	6		ゲーチャキパー あそびのひろば	プレイルーム	30	22	月1回	40
		13・27	ゲーチャキパー つどいのひろば	プレイルーム	30	45	月2回	41
		30	アブラこどもスマイル「ハロウィンクッキーのミニフレームをつくろう！」	こどもスタディ	30	40		42
		13・27	アブラ陶芸教室（秋期）	こどもスタディ	30	25	月2回	43
		水曜	人形劇団ゆめ 公開練習	プレイルーム	30	22	10月は3回	44
		2・16	こどもお箏ワークショップ（6・7回目）	こどもスタディ	40	16	第1期（6・7回目）	45
		4・18	みんなでたたこう！アブラ和太鼓教室（第2期）	音楽室	40	29	第2期（1・2回目）	46
			タップワークショップ		30	96	10月は8回	47

平成23年度 事業実績書（ワークショップ）

年	月	日	公演名	施設	予想	結果	その他	
11	10	24	ゲーチャキパー つどいのひろば	プレイルーム	30	57	月2回	48
	10	24	アブラ陶芸教室（秋期）	こどもスタディ	30	22	月2回	49
	水曜		人形劇団ゆめ 公開練習	プレイルーム	30	27	11月は3回	50
	11		ほっとスペース～移動ライブラリー～	プレイルーム	30	4	奇数月に1回	51
			タップワークショップ	こどもスタディ/ギャラリー	50	45	11月は4回	52
	15	29	みんなでたたこう！ アブラ和太鼓教室（第2期）	音楽室	30	22	第2期（3・4回目）	53
	20	27	こどもお箏ワークショップ（8・9回目）	こどもスタディ	30	14	第1期（8・9回目）	54
12	1		ゲーチャキパー あそびのひろば	プレイルーム	30	31	月1回	55
	8	22	ゲーチャキパー つどいのひろば	プレイルーム	30	104	月2回	56
	水曜		人形劇団ゆめ 公開練習		40	24	12月は3回	57
	8	22	アブラ陶芸教室（秋期）	こどもスタディ	30	24	月2回	58
	18		アブラこどもスマイル「クリスマスリースをつくろう！」	こどもスタディ	30	40		59
			タップワークショップ	こどもスタディ/ギャラリー	50	42	12月は4回	60
	6	20	みんなでたたこう！ アブラ和太鼓教室（第2期）	音楽室	30	20	第2期（5・6回目）	61
	11		こどもお箏ワークショップ（10回目）	こどもスタディ	30	7	第1期（10回目）	62
1	12	26	ゲーチャキパー つどいのひろば	プレイルーム	30	85	月2回	63
	13		ほっとスペース 移動ライブラリー	プレイルーム	30	18	奇数月に1回	64
	12	26	アブラ陶芸教室（冬期）	スタディ	30	21		65
	水曜		人形劇団ゆめ 公開練習	プレイルーム	40	21	1月は3回	66
	17	31	みんなでたたこう！ アブラ和太鼓教室（第3期）	音楽室	30	28	第3期（1・2回目）	67
	30		タップワークショップ	スタディ	20	20	1月は1回	68
2	2		ゲーチャキパー あそびのひろば	プレイルーム	30	19	月1回	69
	9	23	ゲーチャキパー つどいのひろば	プレイルーム	30	37	月2回	70
	9	23	アブラ陶芸教室（冬期）	スタディ	30	22		71
	19		アブラこどもスマイル「春のお花でリース作り！」	スタディ	30	33		72
	水曜		人形劇団ゆめ 公開練習	プレイルーム	40	45	2月は4回	73
	7	21	みんなでたたこう！ アブラ和太鼓教室（第3期）	音楽室	30	25	第3期（3・4回目）	74
			タップワークショップ	ギャラリー/スタディ	50	70	2月は6回	75
3	1		ゲーチャキパー あそびのひろば	プレイルーム	30	22	月1回	76
	8	22	ゲーチャキパー つどいのひろば	プレイルーム	30	61	月2回	77
	9		ほっとスペース 移動ライブラリー	プレイルーム	30	20	奇数月に1回	78
	1	8	アブラ陶芸教室（冬期）	ギャラリー/スタディ	30	21		79
	水曜		人形劇団ゆめ 公開練習	プレイルーム	10	6	3月は1回	80
	2		みんなでたたこう！ アブラ和太鼓教室（第3期）	音楽室	30	11	第3期（5回目）	81
			タップワークショップ	ギャラリー/スタディ	50	64	3月は7回	82

3,210 4,063

平成23年度 事業実績書（ギャラリー展示等）

年	月	日	公演名	施設	結果入場者数	その他
23	10	22・23	MOA美術館	ギャラリー	1,060	
24	1	4～9	日本と中国の「書」の世界展	ギャラリー	631	
	2	10～12	50代からの絵画展	ギャラリー	497	
	3	16～18	アプラ陶芸展	ギャラリー	338	

1
2
3
4

2,526

平成23年度 事業実績書（駅前広場・サブギャラリー展示等）

年	月	日	公演名	施設	結果入場者数	その他
23	4		お絵かきコーナー（こいのぼり）			
	5		お絵かきコーナー（母の日）	2F・3F		
	6		お絵かきコーナー（父の日）	2F・3F		
	7		七夕ウィーク お絵かき ふうりん展	1F・2F 2F		
	10	24～29	MOA美術館 優秀作品展 高石だんじり写真展	サブギャラリー 2F	1,047	
	11		第56回高石市民体育大会PHOTO展	2F		
24	2	13～20	50代からの絵画展 優秀作品展	サブギャラリー	1,281	
	3	20～31	アプラ陶芸展	サブギャラリー	3,329	

5,657

平成23年度 事業実績書（アプラminiミュージアム）

年	月	日	公演名	施設	結果入場者数	その他
23	4		アプラミニミュージアム	サブギャラリー	5,469	
	5		アプラミニミュージアム	サブギャラリー	5,029	
	6		アプラミニミュージアム	サブギャラリー	5,370	
	7		アプラミニミュージアム	サブギャラリー	6,544	
	8		アプラミニミュージアム	サブギャラリー	5,101	
	9		アプラミニミュージアム	サブギャラリー	5,997	
	10		アプラミニミュージアム	サブギャラリー	5,401	
	11		アプラミニミュージアム	サブギャラリー	4,581	
	12		アプラミニミュージアム	サブギャラリー	5,575	
24	1		アプラミニミュージアム	サブギャラリー	4,337	
	2		アプラミニミュージアム	サブギャラリー	4,226	
	3		アプラミニミュージアム	サブギャラリー	5,216	

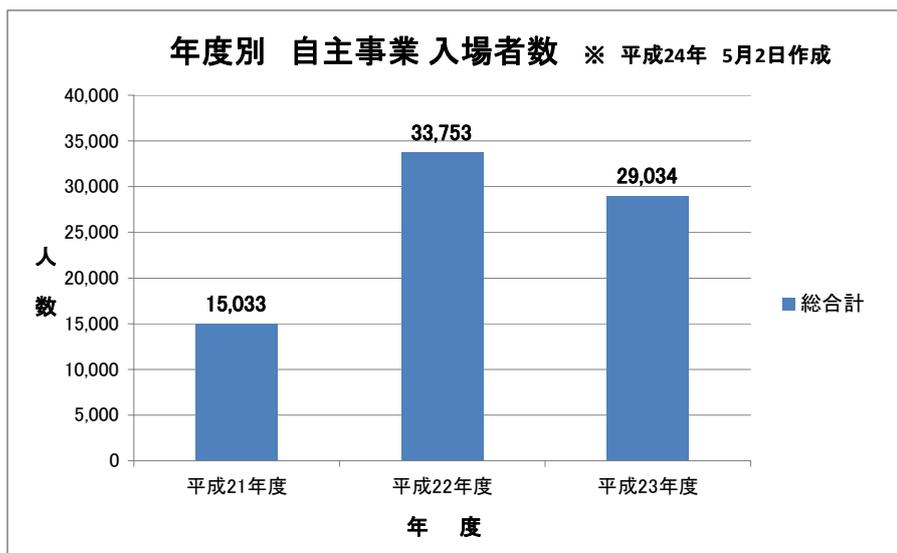
62,846

平成23年度 アプラminiミュージアム 実施状況

催事名称	展示期間
フォトカルチャー高石	3月26日～4月11日
フォトグループ高石	4月13日～25日
高石市文化協会	4月27日～5月9日
日本画教室	5月11日～23日
彩画会	5月25日～6月6日
やよい俳画会	6月7日～20日
パステル画	6月21日～30日
パステル画同好会作品展	6月21日～7月4日
ふれあい絵画クラブ作品展	7月5日～18日
千代田公民館	7月19日～8月1日
高石美術研究会展	8月1日～15日
白馬会絵画展	8月16日～8月29日
虹の会水彩画展	8月30日～9月12日
高石・洋画会展	9月13日～26日
高石詩吟連盟展	9月28日～10月10日
翠山流工芸盆栽展	10月12日～10月23日
慶翠苑・手芸クラブ展	11月9日～11月21日
押し絵展	11月23日～12月5日
パッチワークキルト展	12月6日～12月26日
清和会書道展	12月28日～1月16日
くれない展	1月17日～30日
ふれあいプラザ やさしい手織	1月31日～2月12日
ちぎり絵	2月21日～3月5日
着付同好会	3月6日～19日

	ホール		ワークショップ		ギャラリー		総合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
平成21年度	45	13,436	30	791	3	806	78	15,033
平成22年度	72	27,494	72	4,000	3	2,259	147	33,753
平成23年度	67	22,445	82	4,063	4	2,526	153	29,034

入場者数	平成21年度	平成22年度	平成23年度
総合計	15,033	33,753	29,034



件数	平成21年度	平成22年度	平成23年度
ホール	45	72	67
ワークショップ	30	72	82
ギャラリー	3	3	4

